



Unity



Index

- 02 学長からのメッセージ
- 04 東京学芸大学の5つの魅力
- 06 教職の魅力ってなんだろう？
- 08 教育支援課程 学生座談会
- 10 せんせいのーと
- 12 さあ東京学芸大学で学ぼう
学校教育系って何？
教育支援系って何？
どんな免許や資格がとれるの？
どんなことを学ぶの？
- 15 学校教育系 専攻・選修の特色
- 16 学校教育系についての説明
- 47 教育支援系 コースの特色
- 48 教育支援系についての説明
- 64 卒業後の進路
- 66 もっと学びたい人は
- 67 東京学芸大学でできること
- 68 取得可能な免許・資格
- 70 国際交流と留学
- 74 キャリア（教職・教育支援職）支援
- 80 東京学芸大学で学んだこと
- 82 学生生活支援
- 84 学芸大の自主ゼミ
- 85 サークル図鑑
- 88 学芸いいとこ MAP
- 90 学芸大の学食サーチ
- 91 東京学芸大学概要
- 95 大学までのアクセス
- 96 学生募集要項等の請求方法・授業料
- 97 ノート型パソコンの必携について・
問い合わせ



学長からのメッセージ

東京学芸大学長 出口 利定

高い知識と教養を備えた創造力と実践力に富む 有為の教育者を養成する

東京学芸大学は日本の教員養成を担う中核的な大学として、知識基盤社会の進展、グローバル化の拡大、いじめ、貧困、学力格差、少子高齢化などの教育的課題の多様化や、地域社会の疲弊という現代社会の諸課題に対して、「協働して課題を解決する力」、「多様性を尊重する力」、「自己を振り返り、自己を表現する力」、「新しい社会を創造する力」という4つの力を持った次世代の子どもを育成する人材を養成することを使命としています。

本学はこれまでも初等・中等教育におけるさまざまな教育実践や教科教育に関する有為な教

育者を養成してきた教育の総合大学ですが、さらに次世代育成教育を主導する全国拠点大学となるとともに、広く海外に日本の教育成果を発信する大学をめざします。

さらに、教育現場の様々なニーズに応えうる人材の育成を目指して、学校の外部にありながら学校現場と協働して、現代的教育課題の解決を支援する意欲と能力を備え、自ら考え行動できる教育支援者を養成する「教育支援課程」を平成27年度から設置しました。教員養成系大学・学部においては初めての試みです。

大学生の教養崩壊については、多くの大学人

が声をそろえて指摘している問題です。しかし、本学は教育の総合大学と言われているように、教育学や教科指導法、学級経営などを専門とする教員はいうまでもなく、人文社会科学系、自然科学系、芸術系、スポーツ科学系の幅広い第一線で活躍する多くの教員も一緒になって学生の学習を支えています。この恵まれたスタッフの中で、厚みのある、柔軟な思考をもった人間力の形成をめざしています。



り駅まで30分足らずという東京都内にありながら、日比谷公園の二倍ほどの広さを持ち、豊かな緑に恵まれています。

キャンパス中央にある食堂を兼ねたコミュニケーションホールは学生の交流の場として大いに活用されています。また、正門正面には2014年3月に完成した2,500平米のウッドデッキ（けやき広場）があり、学生のみならず地域の方々の憩いの場にもなっています。

附属図書館は2015年3月に改修工事が終了し、学生の主体的な学修をサポートし、共同学習、活発な討論ができるスペース「ラーニングコモンズ」の確保、学外者や地域との交流を目的としたカフェの設置など、従来の図書館とは一味違う空間を生み出しています。

このキャンパスでこれからの日本の教育を担うタフでしなやかな思考と、豊かな感性をもつ教育者を育てたい、と教職員一同が皆さんを待っています。大学も変わります。日本の教育も変わります。この東京学芸大学で、私たちと一緒に新しい日本の教育を創りましょう。

グローバルな教員養成

本学は、香港、バンコクにある日本人学校と2019年6月までにそれぞれ協定を締結し、海外の日本人学校で教育実習を受けられるように体制を整備いたしました。

これは、小学校外国語教育の導入、増大する外国人児童生徒への対応等を踏まえ、教師自らのグローバル化が必要との観点から、文部科学省が省令を改正し、在外教育施設による教育実習を可能としたことを踏まえ、本学といたしましてもいち早く対応したものです。

これにより、2020年度の教職課程から附属学校で行う3年次の教育実習（必修）とは別に、公立学校で行う4年次の教育実習（選択）の実習先として日本人学校を選択することが可能となりました。これからの教育のグローバル化に対応できる有為な人材となっただけのよう、多くの学生にチャレンジしてほしいと考えています。

日本の教育を創る 東京学芸大学

大学のある小金井キャンパスは新宿から最寄



Welcome!

東京学芸大学の 5つの魅力



「学校の先生」になるなら、 東京学芸大学です！

「学校の先生といえば東京学芸大学」。誰もが思い浮かべる言葉です。明治6年の創基以来、「有為な教育者」を本学は送り出し続けています。新制大学として現在の姿となった昭和24年以降でも、すでに7.9万人もの卒業生が巣立ち、全国の学校や教育委員会などで活躍してきました。同じ学校に勤める校長先生、学年主任の先生、同じ教科の同僚の先生など、みんなが東京学芸大学卒ということも珍しくはありません。本学では、先生としての力を支える、豊かな教養、教科等の専門的な力、教職に必要な力、そして様々な教育課題に応じていく実践力を、バランスよく育てていきます。教員養成における日本の中心として、並ぶもののない伝統を有し進化し続けています。



未来の教育を切り拓こう！ 「教育支援」がキーワード

幼稚園（保育園）、小学校、中学校、高校、特別支援学校のほか養護教諭まで、教員を目指す学生が集まるのが本学ですが、学校教員以外にも、企業・行政（公務員）・地域（団体・NPO等）などで、広く社会にあって教育の未来を創造する職業を通し活躍することを目指す学生のために「教育支援系」があるのも本学の大きな特徴で、全国の教員養成学部を見ても数少ない例です。

教育支援系では、「生涯学習」「ソーシャルワーク」「カウンセリング」「多文化共生教育」「情報教育」「表現教育」「生涯スポーツ」の7コースに別れており、活躍したい分野や興味関心に応じて、多様な領域で学ぶことができます。また本学では、学校教員を目指す学校教育系の学生と、学校以外の場所で教育の未来を創造しようとする教育支援系の学生が、ともに関わり合って学ぶことで、より多角的に教育への知見と経験を育むことを目指しています。

3 ようこそ！「教育ダイバーシティ」へ

教育専門の大学、というイメージが強い本学ですが、実は国立の中堅総合大学と同じ規模の、多様な学問領域を抱えており、人文科学、社会科学、自然科学、芸術・スポーツ科学の4分野のすべてにわたる、多彩な課程、類、選修、専攻、コースが設置されており、なんと39もの領域の教員や学生が集まっています。東京の国立大学で、これほど多様な分野を抱える総合大学は、東京大学と本学以外にはありません。

「教育」という関心を持って集まったという「共通性」と、多様な専門領域の集まりという「総合性」の2つの側面を有する国立大学であるということは、本学にしかない大きな特徴です。共通の関心と様々な個性を持つ多彩で多様な人たちと出会い、交流し、ともに育つことができることが、本学の大きな強みの一つです。


4 はじまります！「教育イノベーション」


本学では、日本や世界の最先端の教育の在り方をリードする研究や教育活動が行われています。そして、全国から集まった学生がこれらの研究や教育活動に参加しています。例えば、OECDと協働して進めている、これからの社会における学校教育のあり方を研究する「Education2030 プロジェクト」や、全国で初めて教育における「オープンイノベーション」を進めるために企業と協働して進める「EXPLAYGROUND 推進事業」などがあります。さらに、全国で最大規模を誇る総合型の「教職大学院」がいち早く設置されるとともに、AIと教育の未来、教育のグローバル化、教育の社会的ネットワークなどについて研究する日本で初めての「修士課程」などもあります。このように、日本や世界の「教育の最先端」が本学にはたくさん集まっています。


5 教員一人当たりの学生数が「3.3人」！


国立大学の強みの一つは、教員一人当たりの学生数が少なく、手厚く親身になった指導を受けることができることです。本学においても教員一人当たりの学生数は、3.3人となっており、学生の求めに応じた、丁寧で親身になった指導が行われています。また、通常の講義等においても、大人数のクラスは少なく、講義以外のゼミ活動やその他の活動においても、少人数が基本です。教員と学生、学生同士が密にコミュニケーションをとりながら、活き活きとした時間を過ごしています。


大学時代に出会った人との関わりは、一生涯の財産になります。大学卒業後も折に触れてアドバイスをもらったり、困ったときには頼ることができる仲間がいることは、掛け替えのない宝物になります。本学は、他の国立大学や私立大学と比べて、教員のみならず職員の方との関係性や友人との関係性を築きやすいところに、社会的な評価を受けています。


 小学校 全科 1～5年
勉強が苦手な子が少しずつできるようになり、「先生のおかげで算数できるようになった。」「1年間担任でありがとう。」といった言葉。先生って本当に子供から学ぶことが多く楽しい。


 小学校 数学教育 6～10年
クラスみんなで考えをつないで新しい発見をしていく。教科を問わず楽しい時間です。


 小学校 全科 1～5年
修了式の日、子どもたちが教室の黒板にメッセージを書いてくれた。日々、子どもと全力で対峙する分、様々なことを学べる職業だと思ふ。自分が考えた授業を楽しそうに受け、子どもがたくさん考えてくれた。


 小学校 理科 1～5年
教員は子どもをやる気にさせる仕事だと思っています。子どもたちが何度も何度も挑戦している、それを一番近くで応援することができるのが教員の魅力だと思います。


 小学校 全科 6～10年
「今まで運動は苦手だったけど、先生の体育で、こんなに運動が楽しいんだと思いました。体育が大好きになりました！」と言ってもらった。


 小学校 理科、書写、体育、外国語 6～10年
教師として現場で働くことは、辛いことといは唾になるけれど幸せです。子どもたちのために少しいだって役に立つ心がけています。次世代を担う子どもたちと一緒に成長していきたいです。


 小学校 全科 1～5年
保護者の方から、「先生のお陰で娘は勉強が好きになりました。ありがとうございます。」というメッセージを頂いて嬉しかったです。


 小学校 国語 6～10年
学校は人生の通過点。社会に出るための準備期間。そこに携わるという責任感は大変。でも何より大人になっても本気で感動できるのもこの職の魅力だと思う。


 小学校 全科 10年以上
初めての「できた！」の感動を、一番近くで観られる、そして一緒に喜べる。

 小学校 図画工作 10年以上
子供達と共に学び合うだけでなく、同僚と共に題材や単元を練り合う日々は刺激的で新鮮。


 小学校 全科 1～5年
子どもの小さな成長を感じるのが喜びです。


 小学校 全科 1～5年
同じ日は二度とない。毎日変化のある楽しい仕事です。

 小学校 全科 1～5年
クラス替えがない進級だけど、私は別の学年を受け持つことになりました。けれど、修了式の日には子供たちから「ありがとうございます」メッセージ集をもらい、嬉しい思い出になりました。


 小学校 美術 6～10年
美術は心を耕す教科!!と生徒に気付かされました☆5教科ではないからこそその子らしさが出せる、無心になれるそんな素敵な教科が美術だと今、働いて感じています。現場には毎年発見があって楽しいですよ!!


 小学校 全科 10年以上
初めての「できた！」の感動を、一番近くで観られる、そして一緒に喜べる。

 小学校 小学校全科 10年以上
1日たりとも同じ日がない刺激のある日々を過ごせます。


 小学校 全科 1～5年
もちろん、日々忙しく辛いことがありますが、子供達が成長していく姿を見た時や子供達が楽しそうに話しかけてくる時、保護者の方に「先生で良かったです。」と言われた時にはなんて素晴らしい職業なんだと感じます。


 小学校 全科 10年以上
1日たりとも同じ日がない刺激のある日々を過ごせます。

 小学校 国語 6～10年
「嬉しい泣き」が沢山できる職業!人と関わりながら成長を共にし、自分も成長できる。職業として終わりや完璧がない楽しさがあります。


 小学校 全科 1～5年
毎日、何かしら起こるので、飽きません。なにより子どもってかわいい。


 小学校 全科 10年以上
1日たりとも同じ日がない刺激のある日々を過ごせます。

 小学校 家庭科 10年以上
ずっと若くいられます。


 小学校 小学校英語 6～10年
教科を教えるだけでなく、クラブを教えることができ、自分の経験を生かすことができる。自分がやってきた新体操、ダンスを教えるという事は会社勤めではできない経験。夏休みが1ヵ月ある。


 小学校 全科 10年以上
ずっと若くいられます。

 中学校 社会 6～10年
先生のクラスになって良かったと言ってもらえるかけがえのない生徒に出会えた。


 中学校 家庭科 10年以上
卒業式を迎えるたびに嬉しいような悲しいような複雑な気持ちになります。子どもたちと一緒に濃密な時間を過ごし、泣いたり笑ったりした日々を思い出だけで泣けてきます。


 中学校 社会 6～10年
先生のクラスになって良かったと言ってもらえるかけがえのない生徒に出会えた。

 中学校 数学 6～10年
①子どもが変わる瞬間、成長する瞬間を間近で見られること。


 中学校 理科 1～5年
生徒たちはいつも真っ直ぐな眼差しを向けてくれる。全力で向き合えば、全力で応えてくれる。


 中学校 数学 6～10年
①子どもが変わる瞬間、成長する瞬間を間近で見られること。


 中学校 数学 10年以上
分からなかったことが分かるようになる、できなかったことができるようになることを支え、励まし、伸ばす仕事です。子供が少しずつ成長し、大人になっていく姿を実感できる時が、やりがいを感じるときです。


 中学校 音楽 6～10年
合唱コンクールにむけて、学校全体が熱を帯びていく様子に感動します。生徒の成長はもちろんですが、先生方が自分のクラスを応援するために試行錯誤したり、生徒が担任の先生に感謝したりする姿に心打たれます。


 中学校 数学 10年以上
分からなかったことが分かるようになる、できなかったことができるようになることを支え、励まし、伸ばす仕事です。子供が少しずつ成長し、大人になっていく姿を実感できる時が、やりがいを感じるときです。


 中学校 社会 1～5年
大変なこともたくさんあるけれど、それが吹っ飛ばすくらいうれしいことがたくさんある職業です


 中学校 社会 1～5年
「これまで社会が一番苦手だったけど、先生の授業を受けて、少し楽しいと思えるようになった!」と言われた。


 中学校 国語 10年以上
日々色々な驚きや発見があること、そして生徒たちのそばで共に学び、成長できること。もちろん大変なこともあるけれど、何かを達成した時の生徒の笑顔や、目標に向かう姿をそばで見られることも教職の醍醐味です。


 中学校 美術 10年以上
子供から大人への成長過程に毎日関わり合えることができる。その日々の中に感動があり、毎日が感動。


 中学校 社会 6～10年
子どもや保護者の方、同僚の先生、地域の方などいろいろな人や出来事から一生学び、成長し続けることができ、そしてそれは仕事というよりも生きる上での喜びであると思います。


 中学校 家庭科 1～5年
大変なこともあるけれど、理想を言い続けられる、求められる数少ない仕事だと思う


 中学校 社会 10年以上
信じられないくらい成長する生徒にたくさん出会える。人間の可能性を信じていることができる。

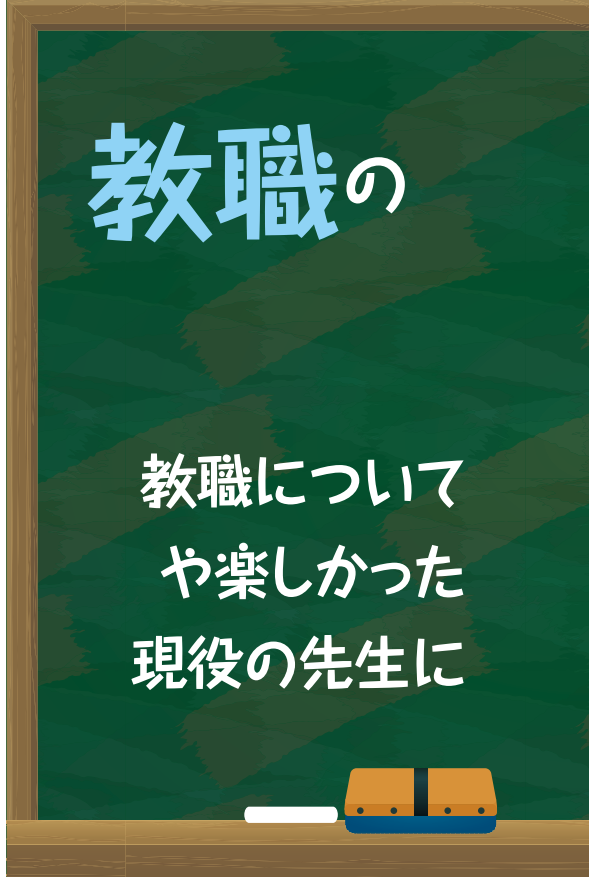
 中学校 社会 1～5年
全校生徒 30人の小さな学校で大変なことだらけですが、子どもたちが黒板いっぱいメッセージを書いて私の誕生日を祝ってくれました。小規模校も捨てたもんじゃない!!

 中学校 英語 1～5年
1年ぶりに授業を受け持つようになった生徒たちが「待ってました!」と言ってくれて、嬉しいとともに改めて気が引き締まった。

 中学校 英語 1～5年
誕生日にサプライズで、寄せ書きを作ってくれていた。終業式の日、いつもはシャキッとしたクラスだったのに、先生の話をしっかり聞いて笑顔で終わることができた。

 中学校 英語 10年以上
子どもたちの成長を支え、見守る仕事はとてもやりがいがあります。子どもたちのために一緒にがんばりましょう。

 中等教育学校 数学 1～5年
「先生の授業は、考えることが多くて、よくわからなくなるけど、面白い!」と言われた。



魅力って なんだろう？ うれしかったこと エピソードなどを 聞いてみました。



高校
理科(生物)
1～5年

担任としての卒業式は何にも変えられない思い出深い1日になります。それまでの大変さや辛さが全部、唾のように消えてしまいます(笑)寂しいけれど、教員として1番嬉しく幸せな日だと思います。



高校
数学
1～5年

卒業式の日まで最後ひたすら冷たい態度をしてきたのに、卒業式で3年間1番指導した生徒から感謝の手紙をもらった。



高校
理科
1～5年

多くの人と出会い、笑ったり、泣いたり、色んな話をしたりすることができて楽しい。



高校
理科(生物)
1～5年

生物は暗記科目だと思っていたけど先生の授業でそうじゃないことがわかりました！と言ってもらえた！



高校
数学
10年以上

子どもたちの成長に関わることで、自らも成長できます。



高校
地歴公民
(世界史)
10年以上

生徒から世界史を学んで良かった。と言われたり、担任した生徒たちからのクラスで良かったと言われたりした時が嬉しい。



高校
保健体育
6～10年

教え子が、大学卒業後、理学療法士になり、「部活のサポートをしたい」と、母校でもない学校の、自分がやっていた部活でもない子達を診てくれた。そうやって繋がるのかと思ったら、嬉しくなった！



高校
保健体育
10年以上

6年間の民間企業を経て、教職の道へ転職し12年が経ちました。教師になり大変な事がありますが、生徒の反応や成長など日々の生活が新鮮で楽しく、民間で働いていた頃と比べると格段充実しています。



高校
数学・情報
6～10年

私の授業や宿題をちゃんとこなしていれば、力がつく生徒自身が感じて卒業してくれたことがとても嬉しかった。また、進路指導や特別活動を通して、「やればできる」を生徒自身に教えられることが嬉しい。



高校
数学
1～5年

今年卒業する子たちが、卒業式の時に、「数学は苦手だったけど先生の授業は好きでした」「一年生の時から先生の授業を受けたかったです」と言いに来てくれて、頑張ってたかったと思いました。



高校
数学
10年以上

先生みたいな教員になりたいと学芸大を第一志望で受験をしてくれた。



高校
数学
1～5年

自分の言動や行動が、たくさんの人に喜ばれたとき、こんなにやりがいのある仕事はないと思う。毎年幸せな気持ちになる。



高校
数学
6～10年

一生青春でいられます。子どもたちと共に好きなことをして成長できる素晴らしい仕事です。



高校
日本史
1～5年

「日本史って『おもしろい!』」その言葉が聞いただけで教員をやっている本当に良かったなと思いました。



高校
美術
1～5年

生徒がたくさん未来を見せてくれる



高校
数学
6～10年

「人間を作る」正解がなくて、一生挑戦できる仕事



高校
英語
10年以上

中高一貫校で勤務している時、中1の始めのHRで書いたことを今でも覚えているという手紙を高3の卒業式に書いてくれた生徒がいた。成長ぶりと昔のことを覚えてくれていることに身の引き締まる思いがして涙が出た。



高校
家庭科
10年以上

食物の分野を学んで、日々の食事もとても大切だと気づいてくれたこと！



高校
国語
1～5年

教師として働き始めてまだ数日だけど、宝物として取っておきたいような出来事に溢れる日々！



高校
地理歴史
(日本史)
10年以上

教育は共育です。生徒とともに学び、成長し、未来への扉を開いていく仕事。教師となり24年目の春。毎年魅力が増しているような気がします。



高校
英語
10年以上

教育は非常にクリエイティブな仕事です。人を創る、未来を創る、同時に新しい自分を創ることができます。



高校
英語
10年以上

教師の仕事は未来を創る仕事、天然資源に恵まれない日本が世界と対等に付き合うためには結局は人材作りしかない！それに関わるのが教師！



高校
英語
10年以上

教科では、考えなかったような、はっとする質問を受けて刺激されます。更に先生の姿を見て英語教師になったと言われたのも嬉しい。また部活やクラスの生徒が成長して、その近況を知らせに来てくれるのも嬉しいです。



高校
英語
1～5年

生徒に「先生のおかげで英語ができるようになった」と言われたこと。



高校
英語
10年以上

卒業生が、「先生あの時の言葉があったから頑張れた」と言ってくれたこと。それはやってみて良かったと思えた瞬間でした。



高校
英語
1～5年

子どもたちを支えているようで、子どもたちの澄んだ心や笑顔、彼らの成長のそばに居られることによって救われることがたくさんあります。



高校
英語
10年以上

在学中は扱いに苦労するような生徒でも、卒業して成長した姿を見ると、人間の一生に携わっている仕事だと思ひ、やりがいを感じる。



高校
英語
10年以上

10年やってもまだまだゴールが見えず、もっともっと成長したい、できるはず！と思わせてくれる仕事。



高校
数学
6～10年

自分が生徒の時に味わった感動や思い出以上の出来事がたくさんあり、やりがいのある仕事です。楽な仕事ではないですが、人の人生を大きく変えることができる可能性を持った素晴らしい仕事だと思います！



高校
英語
6～10年

近い将来の日本を背負っていく中高生の成長を近くで支援できること。おかげさ言えば、教育に従事することは究極の社会貢献ではないかと感じる。



大学
幼児造形
6～10年

人の夢を応援できる仕事が教職。具体的にサポートできることは嬉しい。



大学
外国語
1～5年

多くの人の人生や価値観に影響を与えられるという点で、とても魅力的で責任のある仕事だと思う。私は、教科そのものの知識よりもその学習を通した思考力の育成をより意識しています。



幼稚園
幼稚園
10年以上

「保護者に依存しなければ生きていけなかった子供達が、だんだんと自立していく過程に関わって、幸せだと思ふ。



特別支援学校
小学校全科
10年以上

毎日そばで子どもの成長を見られて、感動できる仕事



特別支援学校
小全
10年以上

保護者や生徒に「先生に会えて良かった」と言ってもらえるときが一番嬉しいです！



補習授業校
全科
1～5年

担任するクラスは国際色豊かでも思えないような意見や感想がたくさん出ます。大人でも気が付かない視点を得ることは多様性と可能性いっぱいの子どもの中でしか味わえない最高の楽しみです！



特別支援学校
家庭科
6～10年

毎日の変化は少ないけど、毎日コツコツ積み重ねて、できるようになった時の感動は凄い!!



特別支援学校
美術
10年以上

卒業生に会った時、学校での学びが自立や社会参加に役立っていることと実感した時、彼や彼女の人生の大事な時期や岐路に携われた事を誇りに思っています。

教育支援課程

★ 学生座談会

E類教育支援課程の先輩に、
あれこれ語ってもらいました!



村井 佑美佳

- ① 表現教育
- ② 株式会社ツクルバ
- ③ 私立鎌倉女学院高等学校



- 人と接するのが好きで、人を笑顔にできるような仕事に就きたいと思っていたから。
- クラスメイトに学芸大のパンフレットをもらったことがきっかけ。

野崎 信吾

- ① 生涯スポーツ
- ② 東京都障害者スポーツ協会
- ③ 宮崎大宮高等学校



- 地域づくりやボランティア活動に関わりたと思ったから。
- 幅広くスポーツ分野の職を見たいと思ったから。
- 文化人類学に興味があり、専門的に学べる近隣の国立大学だったから。

Q 教育支援課程に進学した理由は?

- 学校でも家庭でもない学びが持つ居場所に興味を持っていたから。
- 演劇ワークショップのような教育と演劇のことが学びたかった。
- 高校の情報の授業がきっかけで関心をもった。
- 学校の中での心理支援職に関心があり、スクールカウンセラーになりたかったから。
- 大学のウェブサイトで見た「求める学生像」を読んで魅力を感じた。

松澤 柚季

- ① 多文化共生教育
- ② 東京大学(職員)
- ③ 国立高校



●: コース ②: 進路 ③: 出身高校



教育支援課程の魅力や特徴って？

- 教育支援についての客観的な視点、幅広い知識を得ることができる。
- 様々な専門分野の学生と一緒に学び、活動することができる。
- めざす職に就く前に、いろいろな領域の観点を知り学ぶことができる。
- いろいろな教育支援職について学べる。将来スクールカウンセラーとして働いたときに、自分が支える側というだけではなく、さまざまな人と支えあえると実感できた。
- 教育に関心が高い学生や、教員を目指す学生との交流ができる。
- E類の様々なコースの学生との学びを通して、いろいろな専門の人と一緒にできることがあるということを知った。

諏訪ひかり

- ① 生涯学習
- ② 常葉大学(職員)
- ③ 静岡県立清水東高等学校



三國こもも

- ① カウンセリング
- ② 東京学芸大学大学院(臨床心理)
- ③ 新潟県立新潟高等学校



- 学校の中や生徒に対してだけではない支援をすることができる。(例えば体育の授業だけではなくおとなや高齢者、障害者など幅広く、スポーツの魅力を伝え支援できる)
- 多様なコースの学生との交流を通して、自分の専門の活かし方が広がる、視点が広がる。
- まだ確立していない、いい意味であいまいな教育支援職だからこそ、これから自分たちでつくっていく魅力がある。



学びがどう進路につながった？

- 大学での4年間の学びを通して、困っている人が最初に頼る行政機関で働くことが自分に向いていると思い、公務員になった。
- 未来を見据えた支援、教育を支援する人を支える仕事をしたいと思うようになった。
- 学んだことを地元を持ち帰って活かしたい。たいした悩みではなくても気軽に相談しやすく、本当に何か相談したいときにはすぐに力になってあげられるスクールカウンセラーになるために、大学院に進学する。

向井 怜奈

- ① ソーシャルワーク
- ② 東京都(福祉職)
- ③ 鹿児島県立甲南高校



泉澤 惇

- ① 情報教育
- ② 株式会社 ジャストシステム
- ③ 東京学芸大学 附属国際中等教育学校



- 「どんな人でもスポーツはできる、好きになれる」という生涯スポーツで学んできたことを最も活かせると思って障害者スポーツ協会に決めた。多くの人に障害者スポーツを知ってもらいたい。
- 研究室で活動してきたことが就職に生きた。今の学校で求められる主体的・対話的で深い学びをICTを使ってどう教育していくのか、そういう支援に関わりたいと思い、教育とIT両方やっている企業をさがした。
- 実習の授業を通して、自分のやりたいことが見えるようになった。地元の私立大学が地域貢献や地域連携に力を入れていて、学んだことが活かせると思って大学法人への就職を決めた。



大森 直樹

特別支援教育・教育臨床サポートセンター

専門について教えてください。

教育政策と教育実践です。教育政策の1つに授業時数の問題があります。1980年代における平日の授業時数は5時数でした。2020年から小学6年生の1日あたりの授業時数は平均すると5.8時数になります。子どもの生活と学習への影響と今後の課題をどう考えたらよいか。教育実践の歴史をふりかえることが大切と考えています。

今の教育に一言！

教育よりは学習が中心になるといいなと思います。教育に

も歴史的な意味はあるのですが、あまりに教育が過剰になってしまうと子どもたちが息苦しくなるのではないのでしょうか。既存の学問だけでは解けない問題を意識的にとりあげる。具体的には、東北地方太平洋沖地震と原発事故後の社会をどうつくるか。東アジアの歴史問題をどう解決するか。教員が一方的に教え込むことができない問題をとりあげて、子どもや学生や教員と一緒に考える。そうした学習が全国の学校で重ねられていることに可能性を感じています。



南浦 涼介

日本語・日本文学研究講座 日本語教育学分野

専門について教えてください。

そもそも「専門」って、何ですかね(笑)? 学生への教育としては日本語教育です。ただ、「教育」は色々な分野をまたぐものです。なので、「専門」という感覚で教育学部や教師の仕事をつかえない方がいいですよ。ちなみに、日本語教育というのは、外国人に対して日本語を教えるという分野です。外国につながりを持つ子どもたちを含めて、言語や文化の背景の多様さを含みこみながら、教室や社会の中でどうやっていけるか、そのために教育に何ができるのかを日本語教育に込めてやっています。

学生に伝えたいことはありますか？

教師の世界は面白いことを考えていけるクリエイティビリティが大切です！

関西弁には「オモロイ」という概念があります。学生達には「オモロがる自分」を育ててほしいです。それが、幅広い外へ向かう力をつくり、やがて「複数の強み」をもった分厚い人になっていくはずですよ。ことばも、専門も、「複数」が価値を持つ時代なんです！



西村 圭一

教職大学院 教育実践創成講座
(数学教育サブプログラム担当)

専門について教えてください。

数学教育学です。最近、次世代の子どもたちに必要な算数・数学の学びは何か、その実現のためには何が必要かを考えています。小学校でも中学校でも高校でも「やり方」「解き方」をすぐに教えてしまう先生がいます。そうすると、子どもは解き方を覚えればいんだと思うようになってしまいます。中学校で同一の単元の授業を撮影し、質の違いを国際比較するという OECD の研究の一環で、日本の授業を分析しましたが、教師の授業力によって子どもの学びが大きく変わってくることをひしひしと感じました。

学生に期待することは？

これまでの経験をもとに、ああいう先生になって、ああいう学校で働きたいと思って入学してくる学生が多いように思います。でも、これからの時代の教師はそれだけでは不十分です。あそこは直そう、新しい時代に合うように変えていこうというパッションや創造力が求められます。同じ志の仲間と、何を大事にしていけばいいのかを語り合い、アクティブに行動できる力をつけてほしいと思っています。



森尻 有貴

教職大学院 教育実践創成講座
(音楽教育サブプログラム担当)

専門について教えてください。

専門は音楽教育学です。東京学芸大学に来る前はイギリスで音楽心理学と言われる分野の研究をしていて、帰国後はイギリスの音楽教育を改めて日本からの視点で研究しています。海外の音楽教育の内容を、日本でも活用できたら良いなと思っています。

音楽心理学というのは、どのように楽譜を読んでいるのか、などの認知的な側面から、音楽を聴くとどういう気持ちになるか、など心情面に着目した研究等、幅広い分野があります。その中でも私は主に演奏評価の研究をしていて、人はどのように自分自身の演奏や他人の演奏を評価しているのか、という視点で研究しています。

音楽に関する研究をしていて楽しいことはなんですか？

やはり、音楽のある生活ができるということですね。実験であっても協力者の人が演奏してくれるものは素晴らしく、音楽に対して色々な話をしてくれたり…。音楽と人が一緒にある環境で研究できるところがとても楽しいです。

せんせいの一との
フルバージョンはこちらから





さあ 東京学芸大学で学ぼう

東京学芸大学には、学校教育系と教育支援系があります。

学校教育系って何？

学校教育系は学校の先生をめざす人のための課程です。

全4課程から成り、それぞれで幼稚園教諭、小学校教諭、中学校・高等学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭を主として養成します。

教育支援系って何？

教育支援系では学校と連携したり協働して教育にたずさわる、教育支援職（48・49ページ参照）をめざす人のための課程です。全7コースから成り、それぞれで博物館、劇場、図書館などや海外で様々な支援をする公務員などを主として養成します。

どんな免許や資格がとれるの？

学校教育系の全ての選修・専攻では、卒業と同時にその専門に応じた教員免許に必要な要件を満たすことができます。また、教育支援系の一部のコースでは、単位を積み上げることによって、その専門に応じた教員免許取得をめざすことができます。（詳しくは68ページをご覧ください。）

教員免許以外の資格として、学校図書館司書教諭や学校司書、公民館・図書館・博物館などの社会教育施設、教育委員会で学校教育を支援するための資格（司書、学芸員、社会教育主事・社会教育士）の取得をめざすことができます。また、幼児教育選修では保育士の資格の取得、ソーシャルワークコースでは社会福祉士の資格の取得及びスクールソーシャルワーカーの認定をめざすことができます。（詳しくは69ページをご覧ください。）

東京学芸大学・教育学部

学校教育系



初等教育教員養成課程

国語選修（日本語教育コースを含む）・社会選修・数学選修・理科選修・音楽選修・美術選修・保健体育選修・家庭選修・英語選修・学校教育選修・学校心理選修・国際教育選修・情報教育選修・環境教育選修・ものづくり技術選修・幼児教育選修



中等教育教員養成課程

国語専攻・社会専攻・数学専攻・理科専攻・音楽専攻・美術専攻・保健体育専攻・家庭専攻・技術専攻・英語専攻・書道専攻



特別支援教育教員養成課程

聴覚障害教育専攻・言語障害教育専攻・発達障害教育専攻・学習障害教育専攻



養護教育教員養成課程

養護教育専攻

教育支援系



教育支援課程

教育支援専攻

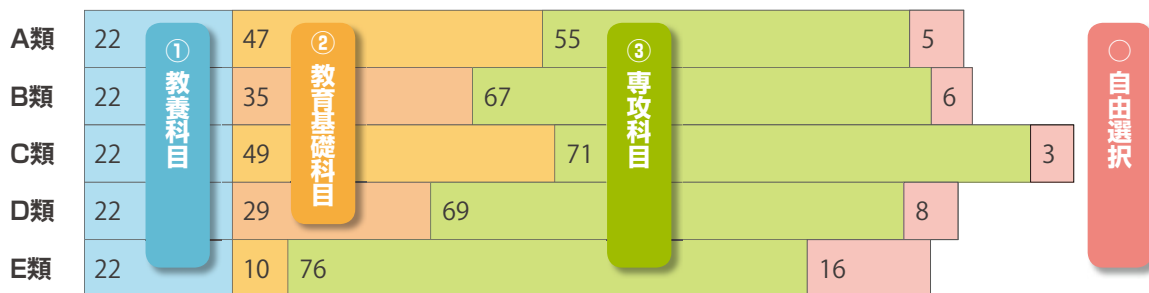
- 生涯学習コース（生涯学習サブコース・文化遺産教育サブコース）
- カウンセリングコース
- ソーシャルワークコース
- 多文化共生教育コース（多言語多文化サブコース・地域研究サブコース）
- 情報教育コース
- 表現教育コース
- 生涯スポーツコース

どんなことを学ぶの？

東京学芸大学では、学校教育系も教育支援系も「教養科目」、「教育基礎科目」、「専攻科目」という3つの科目群を通して広く深く学んでいきます。

入学した課程によって、4年間で学ぶ科目の割合が異なります。授業科目の詳細については東京学芸大学ウェブサイトの、「授業ガイド」でご覧いただけます。

卒業に必要な単位数と科目群



※専攻（選修・コース）により単位数は異なる場合があります。

① 深い教養を身に付ける「教養科目」

広い視野、深い教養、豊かな人間性を養うための科目です。教養科目には3つの領域があります。

1 総合学芸領域

現代社会に生き、将来の日本・世界を創造する役割を担う学生のために多様な視点から学修の素材を提供する領域で、「日本国憲法」、「人権教育」、「情報」をはじめ、「心の科学」や「現代の企業」、「メディアリテラシー」、「身近な現象と化学」、「古典文学」、「心の健康とストレス管理」など、様々な科目を学ぶことができます。

2 健康・スポーツ領域

身体に関わる教養と技能を身に付け、大学生活の充実を図る領域で、「スポーツ・フィットネス実習」と「ウェルネス概論」が必修です。

3 語学領域

語学領域では、英語での発表を通し意見交換を行うことを目的とする「英語コミュニケーション」や各種外国語科目（ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語、イタリア語、スペイン語）を学ぶことができます。

② 教育について学ぶ「教育基礎科目」

学校や社会で「教育」に携わるために必要な基礎を学ぶ科目です。人は何をどのように学び成長していくのか、学びをサポートするためにはどのような考え方や技術が必要なのか、教育の制度はどのようにになっているのかなど、様々な角度から「教育」への理解を深めていきます。

学校教育系では、教師とは何か、教職とは何かについて理解し、教師としての心構えを準備する「教職入門」や、教育心理について学ぶ科目、子どもを取り巻く「こころ」の問題に対応するための知識の獲得やカウンセリングマインドの育成をめざす「教育相談の理論と方法」、大学での教職についての学びの集大成として、4年間を振り返り、教師として働くための最後の準備を行う「教職実践演習」などを学びます。

教育支援系では、「教育」という人間の営みに関わる理念や思想を学ぶとともに、現代教育の諸課題についてその歴史的経緯をも含めて構造的に捉えることを企図する「教育基礎論」や、現在の学校教育の現状を踏まえて、教育心理学の視点から教育の問題をいかに分析し、いかに解決を図っていくかについて考察する「教育と発達の心理学」など、教育支援を学ぶための土台となることについて学びます。

また、教育実習も教育基礎科目の中に含まれており、教員免許を取得する上でもとても大切な科目となります。

③ 専門分野について学ぶ「専攻科目」

国語や数学などの教科や、特別支援教育、養護教育、カウンセリングなど、各選修・専攻・コースの専門分野について、深い知識、高い技能、そして自ら考え実践する力を身に付けるための科目です。

学校教育系に開設している「授業観察演習」では上級生の教育実習の録画映像を視聴し、グループワーク・ディスカッション等を行います。これにより、教育実習に行く前に実際の様子を知ることができます。

また、教育支援系に開設している「教育支援演習」では、各コースの学生が討論や観察を通して共に学ぶ授業となっており、教育現場をめぐる課題解決に取り組む力を身につけることができます。

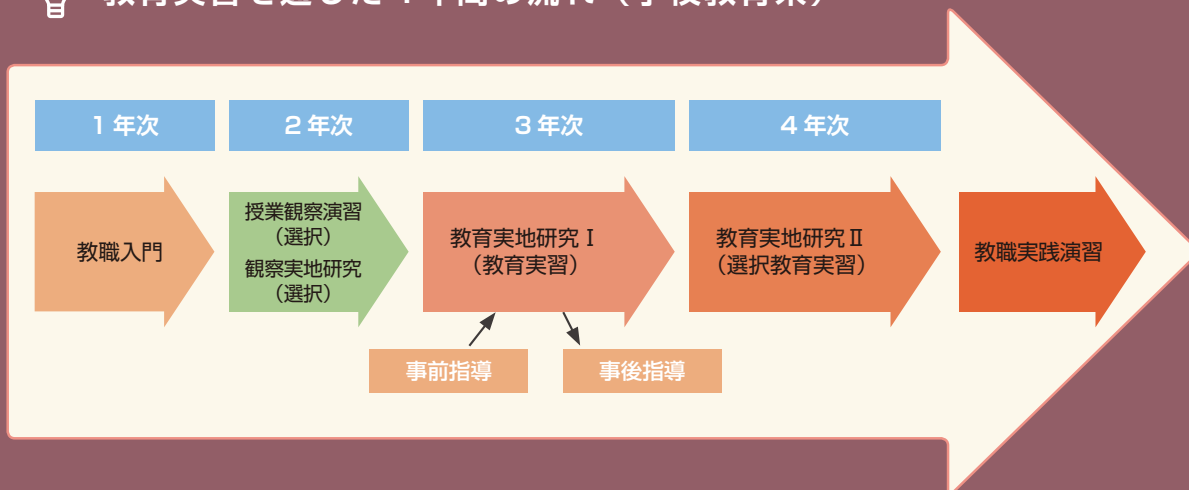
A類の学生は小学校の教科を学んだ上で、自身の所属する選修の専門分野について学びます。B・C・D・E類の学生も自身の所属する専攻・コースにおいて、専門分野について深く学びます。

また、4年間の学びの集大成として「卒業研究」を行います。

○ 学びの裾野を広げる自由選択

自身の選修・専攻・コースの分野を超えて、幅広い知識や技術を身に付けるために、他の選修・専攻・コースで開設している授業を受けることも可能です。

💡 教育実習を通じた4年間の流れ（学校教育系）



教育実習を実際に行うのは3年次ですが、それまでには授業の中で学校参観を行う「教職入門」や、実際の学校現場において教育実習生が授業を行っている映像を視聴し、グループワークやディスカッションを行う「授業観察演習」や、附属学校で教育実地研究 I の様子を参観し、次年度の教育実習への問題意識を高める「観察実地研究」により、教育実習の様子を知ることができます。また、各教科の指導法なども学び、1・2年次から準備を行います。

3年次には「事前指導」として、指導計画を作成したり、実際に模擬授業を行ったりしたうえで、附属学校で行う教育実習「教育実地研究 I」に臨みます。また、「事後指導」でフォローアップを行ないます。

4年次には公立学校等で行う教育実習「教育実地研究 II」があり、最後には4年間の総まとめとして「教職実践演習」を行います。「教職実践演習」ではすでに教職についている先輩方の講話や、教科についての更なる深化などを、グループディスカッション等を通して行います。



学校教育系

専攻・選修の特色

初等教育教員養成課程《A類》

- 18 国語選修（日本語教育コースを含む）
- 19 社会選修
- 20 数学選修
- 21 理科選修
- 22 音楽選修
- 23 美術選修
- 24 保健体育選修
- 25 家庭選修
- 26 英語選修
- 27 学校教育選修
- 28 学校心理選修
- 29 国際教育選修
- 30 情報教育選修
- 31 環境教育選修
- 32 ものづくり技術選修
- 33 幼児教育選修

中等教育教員養成課程《B類》

- 34 国語専攻
- 35 社会専攻
- 36 数学専攻
- 37 理科専攻
- 38 音楽専攻
- 39 美術専攻
- 40 保健体育専攻
- 41 家庭専攻
- 42 技術専攻
- 43 英語専攻
- 44 書道専攻

特別支援教育教員養成課程《C類》

- 45 聴覚障害教育専攻
- 言語障害教育専攻
- 発達障害教育専攻
- 学習障害教育専攻

養護教育教員養成課程《D類》

- 46 養護教育専攻



これからの学校を創る先生をめざす



学校教育系の目的

学校教育系は、幼稚園・小学校の先生をめざす人のための初等教育教員養成課程（A類）、中学校・高等学校の先生をめざす人のための中等教育教員養成課程（B類）、特別支援学校の先生をめざす人のための特別支援教育教員養成課程（C類）、養護教諭（保健室の先生）をめざす人のための養護教育教員養成課程（D類）の4つの課程から成ります。広い範囲での先生を養成していますので、将来、学校の先生として働きたいと思っている人に最適な課程群です。学校教育系では、そのために教員免許の取得が卒業の条件となっています。



東京学芸大学ならではのポイント

東京学芸大学の学校教育系は、全国の国立教員養成系大学・学部の中で最も定員規模の大きい教員養成課程となっており、広い範囲での教員免許種に対応した課程構成となっています。

学校教育系でのカリキュラムは、卒業後にすぐに自信をもって教壇に立てるように、多くの実践を経験できるものになっています。教育実習については、3年次に教育実地研究Ⅰ（必修科目）として東京学芸大学附属学校・園での実習を、4年次には、教育実地研究Ⅱ（選択科目）として、都内の公立学校・園、母校等での実習を行うことができます。また、複数の教員免許の取得を希望する学生に対しては、4年次の後半に選択実習（選択科目）として、基礎実習や応用実習と異なった学校種の実習を行うこともできます。このような豊富な実習カリキュラムにより、高い実践力のある先生を養成しています。

A類においては、小学校の教科を学んだ上で、自分の所属する選修についての専門分野を学びます。それらの専門分野には、国語・数学・理科・社会・音楽・美術・保健体育・家庭・英語・ものづくり技術など全教科に対応する専門分野が揃っています。このように小学校の先生でも、いずれかの教科についての専門性も兼ね備えることで、小中一貫校においても活躍できる先生の養成を目指します。また、A類で学べる専門分野には、学校教育・学校心理・情報教育・国際教育・環境教育などもあります。これらは、学校教育現場での現在抱える課題に応じた分野であり、それらについての専門性をもつことにより、高い教育課題対応能力を備える小学校の先生も養成しています。さらに、A類の幼児教育選修では、専門性の高い幼稚園の先生も養成しています。

B類、C類、D類においては、教員養成系大学ならではのカリキュラムにより高い実践力を獲得するとともに、自分の所属する専攻に関する専門分野について深く学ぶことで、専門性の高い先生を養成しています。また、東京学芸大学には多くの大学教員が在籍し、それぞれ異なった専門分野をもつため、選択できる専門分野が非常に多様です。

以上のようなカリキュラムを学生に提供することにより、高い実践力と専門性を持ち、教育現場においてリーダー的存在になれる先生の養成を、東京学芸大学では行っています。



学校教育系

学校の先生として働きたいと思っている人のための課程群

初等教育教員養成課程（A類）

幼稚園・小学校の先生を養成する課程です。
全教科の幅広い知識・技能、優れた実践力に加え、特定の教科や横断的領域に関する専門性の習得をめざします。

中等教育教員養成課程（B類）

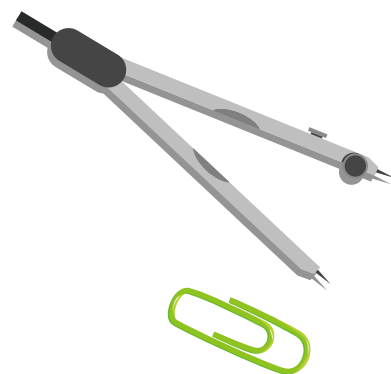
中学校・高等学校の教科の先生を養成する課程です。
教科に関する高度な専門性の習得や優れた教育実践力の習得をめざします。

特別支援教育教員養成課程（C類）

特別支援学校の先生を養成する課程です。
特別支援教育に関する高い専門性と優れた実践力の取得や習得をめざします。

養護教育教員養成課程（D類）

養護教諭（保健室の先生）を養成する課程です。
健康相談や健康教育、保健指導等が実践できる専門的知識と技術の取得をめざします。





初等教育教員養成課程

国語



国語科の講義では学生同士で話し合いながら授業を進める授業が多くあります。

ことばの森を探索し、真の教育力を培う。

国語を得意とする小学校教員の養成をめざしています。日本の言語文化に対する広範な教養と高い言語能力・豊かな言語感覚を備えた指導力あふれる教員を育成します。2年次からは国際化する教育現場に即した日本語教育コースも設けられています。中学校・高等学校国語の教員免許も取得できます。

4年間の学び

A類国語の学びは、教科教育学としての国語科教育学の領域と、それを支える基礎科学としての日本語学、日本文学（古典文学・近代文学）、中国古典学、日本語教育学の全6領域で構成されています。これら6領域の授業のどこに比重をかけるかは基本的に自由です。それらの履修の仕方によって自分なりの国語教育観がつけられ、その国語教育観によって次の履修科目が決まってきます。1年次では諸領域の基本的な概念と枠組を、日本語学概論、日本文学概論、日本文学史、中国古典文基礎、日本語教育概論の講義で学びます。2年次からは、より専門性を深めるために、1年次の基礎をふまえて自らが調査研究してきたことを発表する演習科目が6領域で開設されています。特に日本文学は上代・中古・中世・近世・近代・現代のように時代別の演習の授業を履修できます。他にも、日本語文法、日本語音声、日本語教育と言語学、言語習得と発達など、日本語に関する科目も豊富です。あわせて、それらの知識に基づきつつどのように指導するかを「国語科教材論」「初等国語科教育法」などで体系的に学びます。3年次からは自分が属する研究室で卒論に向けての準備が始まるので、2年次後半までにどの領域のどのようなテーマを深く究めたいか決めることになります。そして、4年次では4年間の学びの集大成として研究室の教員の指導を受けながら卒業論文をまとめます。

先輩からのメッセージ

国語選修では、A類としての小学校教員になることを見据えた勉強に留まらず、国語や国語科教育の専門性を高

めることができます。また、教科内容を深めるのみに留まらず、国語科教育法の授業で「いかに教え、学んでもらうか」を学習することができます。模擬授業やディスカッション、協働等を通してアクティブに学んでいます。さらに、国語選修では、自主ゼミの活動が積極的に行われており、1年生の早い段階からゼミに所属して、学びを深めている学生が多いです。私も、1年生の頃から所属している国語科教育の自主ゼミにおいて、仲間との協働や議論、顧問の先生からの助言から多くを学び、教育実習や卒業論文の礎を築くことができました。

(中野舞香 4年)



A類国語科では自主ゼミを通して、自らの研究を主体的に深めています。

特色ある科目

国語選修入門セミナー、国語科教材論、児童文学、国語科と情報、日本語文法、日本語音声、中国古典文学概論、中国古典文献概論、言語習得と発達、日本語教育と言語学、日本語教育教材開発論



初等教育教員養成課程

社会



巡検風景（木更津市）：地理学の臨地研究の授業でかつての街の様子について説明を受ける場面。

身近な生活から社会を知ろう。

本選修には歴史学・地理学・哲学・法学政治学・経済学・社会学・社会科教育学の7分野があり、それらを幅広く学べます。2年生からいずれかの分野に所属して勉強を深めます。そこで学んだ知識や考え方等は、児童が主体的に取り組む学習を創造するなど、教員としてのバックボーンになります。

4年間の学び

1年次：社会選修入門セミナーで高等学校までとは異なる大学での勉学の方法について学びます。あわせて7つの各分野の必修・選択必修の概論科目を履修し、社会科の基礎的な概念や考え方を学びます。

2年次：7つの分野のいずれかに所属し、各分野の特色ある専攻選択科目を中心に履修していきます。これは基礎知識に基づいて応用力を獲得し、「社会に強くなること」を目的とします。これと並行して教職科目の初等社会科教育法等を履修し、社会科の考え方や教育・教材開発に関わる方法論、授業研究などに関して学びを深め、「社会科に強い」小学校教員として応用できる実践力を養います。

3年次：所属分野でのより進んだレベルの演習等に参加し、体系的な学修を深めていきます。9月には附属小学校での教育実習があります。それまでに学んだ知識やスキルを活かして授業を創っていきます。その経験・反省を基に、「社会科教材論」を通して教材研究を深めます。

4年次：学生生活の集大成となる質の高い卒業論文の完成をめざします。なお、公立小学校での教育実習を履修できます。

本選修の重要な特色は、演習を中心とする少人数教育です。教員や仲間とともにを行う社会や社会科に関する議論を通じて学問の楽しさを実感できるでしょう。

先輩からのメッセージ

突然ですが質問です。なぜ学校で社会科を学ぶ必要があるのでしょうか？私は元々「暗記力や教養をつけるため」「実生活とは関係がない」と思っていました。しかし目の前

の事象に対して「なぜ？」と問うてみると歴史学や地理学、法学、政治学、経済学、社会学、哲学、様々な分野の問題が繋がっていることに気づくことができるのではないのでしょうか。そのつながりの中で生きる子どもを主権者に育てること、これが社会科教育の目的だと今は思っています。本選修では各分野の専門性を高めることからスタートします。そして実践を通して指導技術も3年次から本格的に高めていきます。ぜひ私たちと一緒に「考える社会科」を追求しませんか？

（別木萌果 4年）



模擬授業：教科教育法の授業で防災をテーマに模擬授業をする場面。

特色ある科目

社会選修入門セミナー、社会科と情報、社会科カリキュラム論、社会科教材論、社会科地域教材論、地域調査法、臨地研究、哲学と宗教、心の哲学と知識論、歴史学文献講読、日本史研究、教育と法、刑法、経済学基礎演習、経済学基礎、地域を探る社会調査、ジェンダーの社会学



初等教育教員養成課程

数 学



数学科の学生の解答例の発表

学ぼう、伝えよう、美しい数学の世界。

学生の数学的能力の育成と、小学校教員としての資質の養成を目的とする。小学校算数の内容を考察し、数学教育の理論と実践についての素養を身につけ、数学に対する興味と理解を深め、自然や社会に対して自らの頭で論理的に考える態度を育てる。

4年間の学び

大学の数学は、高校までの直観的な説明とは異なり、一步一步階段を上るように緻密な論理を積み重ねて学習していく。物事を論理的に理解し、他人に明快に表現できるように努力でき、物事に対し自分の言葉で考え、表現できるように養成する。大学の数学の基礎となる基礎数学、線形数学、微分・積分学を1年次で学ぶ。基礎を踏まえて代数学I、II、幾何学I、II、解析学I、II、確率・統計I、IIのそれぞれの専門分野の基本を2年次で勉強する。1、2年次で学んだ基礎的な数学の内容を踏まえて、数学分野においては、代数学各論、幾何学各論、解析学各論、確率特論、統計特論など現代数学の内容を3年次に勉強する。数学教育分野においては、初等算数科教育法、算数科教育臨床といった算数の授業をどのように行うかという実践の基本を学び、算数科教育研究、初等算数科教材論で、小学校での算数をどのように体系的に教えているかを学ぶ。その上で、自分がより深く学びたいものを選び、卒業研究として4年次に学ぶ。

先輩からのメッセージ

算数や数学を学ぶことの魅力は、知識や技能を身に付けられることだけではないと思います。算数数学の世界には、現実の世界と密接したおもしろくて不思議な現象が多くありますが、本当におもしろいことはそれ自体ではありません。自分の持っている知識や技能を最大限に活用し、根拠を持ってその不思議な現象を解明できたときの喜びや感動はほかの何にも代えられないのです。この選修ではそのような感動体験を何度もすることがで

きます。さらにこの感動を自分一人で終わらせるのではなく、児童生徒に伝えていく「術」を学ぶこともできるのです。この選修を卒業するころにはあなたも、算数数学のおもしろさを子供たちに伝えていくことができるようになってはいるはずです。

(高松優海 4年)



ゼミでの議論風景

特色ある科目

線形数学、微分・積分学、基礎数学、位相数学I、II、代数学I、II、幾何学I、II、解析学I、II、確率・統計学I、II、代数学各論、幾何学各論、解析学各論A、B、確率特論I、統計特論I、数学カリキュラム論、初等算数科教材論、算数教育臨床



生物学実験：DNA塩基配列の違いでイネの品種を見分ける実験

感じよう自然の不思議さ、育てよう科学する心。

自然科学を理解し、子どもにわかりやすく伝えるとともに、子どもから理科の力を引き出せる能力をもつ教員を養成します。理科教育の本質を学び、仲間とともに科学のおもしろさを伝えるためにはどうすればよいかを考えることができます。

4年間の学び

自然科学の学習は、基礎から始め徐々に高度な内容へと段階を経て学び、専門性を高めていきます。この特質を考慮して、理科に関わる自然科学の全領域と理科教育学にわたる充実した科目群が、1年次から4年次の各学期に順を追って開設されています。理科教育学・物理学・化学・生物学・地学の各教室に所属して、それぞれの専門性を高めながら教員としての資質を養います。講義以外に実験・実習・演習という形態の授業科目があり、より能動的に関わって学ぶことが求められています。1年次には、物理学・化学・生物学・地学の基礎となる講義と実験を履修します。2年次には、教職に関する科目とそれぞれの専門性を高める専攻に関する科目の学習が本格的に始まります。3年次には、教職に関する科目・専攻に関する科目ともに、1、2年次の学習事項を基に発展的な内容を学習します。ゼミや実験等、研究室での活動が本格化するのもこの時期です。また、秋には附属学校での教育実習があります。理科教育の指導法や技術を生かし、科学的な見方・考え方を子どもに伝える機会となり、それまで学んだことを実践し振り返ります。4年次には、指導教員の下で卒業研究を行います。未知の領域で自ら真理を探究する中で、自然科学への理解と科学的な見方・考え方をさらに深めます。

先輩からのメッセージ

児童からの素朴な疑問に答えるために、教師は豊富な知識と技能を持つことが必要不可欠です。本選修では、2年次に自然科学の基礎を学び、3、4年次では物理、

化学、生物、地学、理科教育に分かれ卒業研究を行います。卒業研究は、科学現象について予想を立て実験を行い、結果を考察することで問題解決型学習になります。問題解決型学習は思考力、判断力、表現力を培う上で重要であり、今教育現場で強化している取り組みの一つです。授業で使う教材を開発することを研究目的にする人もおり、将来教師となった時に生かすことができるかもしれません。また、興味があることを主体的に研究することで専門分野を持つことができるので、指導に自信を持つことができます。

(宮地由梨 4年)



科学教材開発研究論：小学生を対象とした実験教室の立案と準備

特色ある科目

理科選修入門セミナー、基礎物理学、基礎化学、基礎生物学、基礎地学、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験



初等教育教員養成課程

音楽



「入門セミナー」におけるアレクサンダー・テクニーク実習

心を育む音楽の力、音楽の世界を広げる。

本選修では、小学校全教科の学習内容や指導法を学ぶとともに、音楽の専門的な知識や技術を習得することができます。音楽に対する深い愛情、豊かな感受性、柔軟な社会性を備えた小学校教員の養成を目的としています。

4年間の学び

本選修では、音楽の基礎的な知識と技能を幅広く学ぶと同時に、小学校全科の学習指導に関する内容を学べるようにカリキュラムが組まれています。1、2年次には小学校の音楽科教員としての土台となる音楽的資質、知識を高めるための授業として、一つの専門に特化する形態ではなく、声楽・ピアノ・管弦打楽器・作曲・音楽学・音楽科教育の基礎的な科目を幅広く学びます。更に初年度春学期には音楽科選修入門セミナーとして、4年間の学びに必要な文献の探し方や楽曲解釈、ピアノの構造や扱い方、発声法、演奏における体の使い方など、適宜外部より専門家を招き学びます。また興味に応じて和楽器・邦楽歌唱法・民族音楽などの科目も選択できます。2年次からは、音楽以外の教科に関する科目の履修を開始します。3・4年次では教育実習関連の授業が始まり、音楽科を中心とした小学校教育の理論・実践的な学びを深めます。並行し多くの学生が中学校・高等学校の音楽教員免許取得を希望し履修しております。3年次には声楽・ピアノ・管弦打楽器・作曲・音楽学・音楽科教育の実技と理論に関する6つの分野から自分の興味のある専門分野一つを選択し、4年次秋学期に行われる卒業演奏、または卒業論文発表に向けて取り組んでいきます。本選修の特色は、レッスンなど演習と中心とするものが多く、教員との距離が近いことが挙げられます。4年間を通して、音楽の楽しさを実感できることと思います。

先輩からのメッセージ

私たちは小学校教諭一種免許状の取得を卒業要件として日々学んでいます。学科の人は教育と音楽に対して非常に熱心で、多くの学生が副免許として中学、高校の一種免許

状（音楽）を取得します。更に意欲がある人は幼稚園教諭や司書教諭などの免許も取得します。一方、ピアノ、声楽、管弦打など実技の授業は少人数で行われ、学生と教授の距離は非常に近いです。先生方は音楽家としても、教育者としても非常に熱心で、演奏や学業、進路の相談にも親身になってくれます。各門下における勉強会や、学生主体のゼミや演奏会の活動も活発に行われています。このように、本選修は音楽、教育を個人の裁量でどこまでも学ぶことのできる環境が魅力だと思います。（阿藤麻友 4年）



「音楽科特別研究B」では様々なリコーダーを学習します。

特色ある科目

音楽選修入門セミナー、基礎声楽実技Ⅰ、基礎声楽実技Ⅱ、合唱、ソルフェージュⅠ、基礎ピアノ実技Ⅰ、基礎ピアノ実技Ⅱ、基礎管弦打実技Ⅰ、基礎管弦打実技Ⅱ、作曲法Ⅰ、作曲法Ⅱ、指揮法、音楽学概論A、音楽学概論B、音楽学概論C



特別支援と美術の出会いから生まれた「ふれる・もつ・かんじる展」

図画工作で教員になる、未来をつくる。

本選修では、美術の専門的な技能や理論を学ぶことを通して、豊かな発想力や高い指導力を備えた図工を得意とする小学校教員や、図画工作専科の教員の育成をめざしています。また、中学校美術、高校美術、高校工芸の教員免許も取得可能です。

4年間の学び

1年次には美術の基礎力を養うための必修科目と図画工作科及び美術科教育に関する科目を履修して、図工及び美術科教育に対する興味、関心及び理解を深めてもらいます。この間に、自分が絵画、彫刻、デザイン、工芸、造形芸術学、美術科教育のどの領域に興味や関心が持てるかを探ることが重要です。2年次には1つの領域を選び、必修科目である「美術演習Ⅰ・Ⅱ」を履修します。この授業は美術の専門的な知識や技能を段階的に積み上げていくことが目的となっています。また、それぞれの領域の選択科目を履修することで、教員としての幅広い視野を持つこともできます。3年次には「美術演習Ⅲ・Ⅳ」を履修し、卒業研究を行うために更なるスキルアップを目指すことも可能です。また、1、2年次に学んだ知識や技能を基盤として教職科目を履修していきます。3年次の後期には附属学校での教育実習があり、今までの成果を生かして授業に取り組みます。4年次には卒業研究に取り組みます。4年間の集大成として相応しい卒業制作および論文発表を行います。美術の造形活動や理論研究を通じて図画工作科及び美術科教員としての資質や能力を磨き、創造的な視野を持った教育実践を行えるような人材になって欲しいと考えています。

先輩からのメッセージ

この選修では、絵画・彫刻・デザイン・工芸・造形芸術学・美術科教育などを受講することができます。高校時代デッサンに明け暮れていた私は、この選修に入って図工・美術の広さや深さに圧倒されました。自分を表現するツ

ルは何かと考え、今では油彩で私の身長より大きいキャンバスに、自分の思いを描いています。

講義では「図画工作」の授業目標や評価基準などを記載する指導案作成を学んだり、「アート」や「デザイン」の定義を考えたりしています。これは教育する者としても大切なことです。

図画工作には、未来ある子どもたちの心を豊かにする役目があります。その魅力とは何か、私たちと一緒に学んで考えてみませんか。

(菊地あやの 3年)



3年の教育実習前に開設される「事前・事後の指導」の授業

特色ある科目

図画工作・美術科と情報、図画工作科教材論、図画工作科カリキュラム論、美術選修入門セミナー、図画工作科基礎、絵画基礎Ⅰ、彫刻基礎Ⅰ、デザイン基礎Ⅰ、工芸基礎Ⅰ、西洋美術史概論、美術演習Ⅰ、美術演習Ⅱ、日本東洋美術史概論



初等教育教員養成課程

保健体育



器械運動 A：本時で扱う技についての説明。

体育を核にして小学校教育を考える。

小学校で教えるさまざまな教科の中から、特に体育を専門的に学ぶことを柱にして小学校教員を養成しているのが本選修です。講義と実技の双方からなる多種多様な授業を通じて、小学校における教育全体の理解へ迫り、教員としての資質を磨き、指導力を養成することがこの選修の特徴となります。

4年間の学び

1年次：専門的な体育実技や保健体育分野における基礎学問を学習し、「教職入門」で教職の世界へ第一歩を踏み出します。2年次：「運動生理学概論」「スポーツ社会学」などより多くの保健体育分野の基礎学問を学習します。また、「保健体育科教材研究」「保健体育科模擬授業演習 A」などの授業を通して、保健体育の教材研究や授業方法の学習や教育実習の準備が始まります。さらに、体育を含め各教科の指導法の学習が始まります。夏季休暇中には、2日間の集中授業で3年次の教育実習の映像を観察する「授業観察演習」があり、翌年の教育実習の具体的なイメージを持つ機会があります。3年次：「保健体育科演習」など教育実習に直接関わる科目を履修し、教育実習の「事前指導」を通じて研究課題を決めていきます。初めての教育実習は附属小学校で行い、教材研究や授業実践を行う力を高めていきます。実習終了後には「事後指導」で実習の振り返りをし、4年次の選択実習での課題を設定します。4年次：それまでに得た知識や視点からテーマを決め、卒業研究として論文作成と発表を行います。また、選択で公立小学校での教育実習を履修できます。秋学期には4年間の学びの集大成である「教職実践演習」を受講し、社会に出るための最後の準備をします。以上のように、4年間を通して教育全体の理解へ迫るといふ本選修のめざす学習活動を行います。

先輩からのメッセージ

「生涯スポーツ」が注目を集めています。私は、小学校体育の大きな目標として運動の能力を向上させることも大切ですが、まずは運動の楽しさを子どもたちに感じてもらうことが大事だと思います。保健体育選修の学生は、比較的体育が得意な人が多いですが、できることと教えることは違います。できることを生かして、子どもたちに運動の楽しさを教える授業をするにはどうしたら良いか、いかにすれば子どもが切実感をもって運動の世界を広げていけるかを追究すること

が、この選修の特徴です。部活動は関東・全国で活躍する人も多くいるとても刺激的な環境です。高校と比べて自由度が高く主体的に取り組むことが求められる中で、改めて自分と向き合う良い機会になります。また、私の研究室ではゼミ活動として発達障害の子どもたちにスポットを当てた、ゆるスポ DeCo というスポーツ開発と実践をするプロジェクトを進めています。研究室の先輩後輩、先生だけでなく、現職の先生方や大学外の企業の方々、地域の子どもたちとつながることができるのも、このゼミ活動の魅力のひとつです。4年間学び、考え、実践することを通して体育科教育の専門性がある教師をとともに目指しましょう。（田中明香里 3年）



保健体育科模擬授業演習 A：小学校の授業を想定して学生が指導案を考え、模擬授業を行います。

特色ある科目

保健体育選修入門セミナー、保健体育科演習、人体解剖生理学、学校保健学概論、衛生・公衆衛生学、体育・スポーツ心理学、野外環境教育学、体づくり運動 A、器械運動 A、陸上 A、水泳 A、表現運動、ソフトバレーボール、サッカー A、ソフトボール A、バスケットボール A



小学校家庭科のオリジナルカリキュラムを提案



初等教育教員養成課程

家庭

生活の自立を支援できる教員になろう。

本選修では、家庭科を中心とした専門的な知識や技能の修得を通して、子どもの生活自立を支援できる小学校教員を養成します。衣食住をマネジメントし、家族や地域と連携して、自立して生活できる力を育成する家庭科の専門性を、小学校での指導に活かすことができます。

4年間の学び

1年次では、入門セミナーで、大学での学びや家庭科を専門とする小学校教員となる意義を学びます。専門科目としては、衣、食、家庭経営学に関する科目を履修し、被服の機能と被服材料や歴史的変遷や基礎的縫製技術（含む被服製作）、食品の調理性（含む実習）、人生をデザインするための意思決定論の基礎や消費者問題の現状を学びます。2年次には、教職に関する科目が始まり、初等家庭科教育法では、小学校家庭科の内容や指導法について学びます。専門科目としては、住居と保育に関する科目も開講され、住居の役割や機能、歴史的変遷と生活の変化、住まいの管理、乳幼児の発達や生活（含む家庭支援センターへの訪問）についても学びます。衣と食については、1年生での学びを基に、被服管理や洗剤の特性（含む実験）、日本の伝統文化としての和裁の技能（被服製作演習）、栄養学（含む実習）を学びます。また、教育の情報化についての基礎的な事項や家庭科でのICT活用についても実践的に学びます。3年次には、教育実習に向けて、事前指導での授業参観などを通してより具体的に実習に臨む準備をします。2年から3年にかけて、小学校で学ぶ各教科の指導法や教科の内容に関する科目も学んでいきます。4年次には、卒業研究に取り組みます。各々のテーマに沿って、4年間の学びの集大成として論文を仕上げます。

先輩からのメッセージ

A類家庭選修コースは、衣食住だけではなく、保育・生活経営学・家庭看護学・家庭工学など幅広い分野について学ぶことができます。だからこそ自分の知らない世界を垣間見ることができます。また、すでに家庭科の中で好きなことや得意

なことがあるという方にもおすすめです。例えば料理が好きな方は、実習だけでなく、調理学・食品学・栄養学と様々な面から食について学ぶことができます。食の中でも、自分がどの部分に興味を持っているのか、何を学びたいのかをじっくりと考えることができます。やりたいことを見つけたい、好きなことを深めたいという方はぜひA類家庭選修コースへ！！みなさんの入学を心よりお待ちしております。

(中川初保 4年)



家庭科の教材を検討

特色ある科目

家庭選修入門セミナー、家庭経営学、栄養学概論、被服学I、住居学、児童学I、家庭科と情報、家庭科教材論I、家庭科教材論II、家庭科カリキュラム論



初等教育教員養成課程

英語



マザーグースをリズムよく言えるよう練習中

英語と出会う楽しさを小学生に。

小学生の学び方の特徴を理解し、その力に寄り添う英語の授業ができる人材を育てます。カリキュラムは英語学、英米文学文化、英語教育学を含む多様で体系的な科目から構成されています。在学中に中・高の英語の免許も無理なく取得することができます。

4年間の学び

1年次には主に英語運用能力を高めるための科目と、英語学、英米文学文化、英語教育の基礎を学ぶための科目を履修します。2年次から小学校英語に関する科目の履修が始まります。合わせて他教科の指導法や教科内容についての学習も始まります。3年次には小学校英語に関する学びをさらに深め、言語学習に関する理論を学びながら高い実践的な指導力も身に付けることを目指します。また、附属小学校での教育実習があり、ありのままの児童の学習や学校生活の様子を観察し、教員生活の実際を経験します。4年次には、東京都の公立小学校での教育実習の機会があります。また、これまでの学びの集大成として卒業論文を英語で執筆します。卒業論文は英語学、英米文学文化、英語教育学の中から分野を選び、自ら決めたテーマで書き上げます。

小学校の英語教育は新学習指導要領で大きく変わる分野と言われていますが、流行に流されることなく、言葉の教育の本質を見つめ、専門性の高い指導力をつけることを目指しています。

先輩からのメッセージ

小学校教師として児童の成長を支えたい、英語教授の技能を高めたい、外国語と異文化理解の関係について考えたい、英語の仕組みを深く知りたい…本選修は一人一人がこのような目標をもち、日々学んでいます。

授業はそれらの問いを共有し、実践への道を開く場となっています。1・2年次には英語の基礎、3・4年次は教育理論や実践に関わる科目が中心となるのですが、その多く

が少人数で開講されます。そのため先生方との距離が近く、感じた疑問や研究テーマについて、気軽に相談することができます。

このように「Interactionを通しての学び」が、本学科には溢れています。ここで過ごす4年間は、みなさんの目標に近づく大きな一歩になるはずです。

(別府崇善 4年)



子どもに英語で話すのは思っているほど簡単ではありません。

特色ある科目

英語読解、英会話、英作文、英語音声学概論、現代英語学、イギリス文化概論、アメリカ文化概論、英米文学概論、英語科と情報、小学校英語教育概論、小学校英語教育演習、英語科と異文化理解、初等英語科研究



アクティブ・ラーニングの模擬授業とその観察

子どもと学ぶ、子どもに学ぶ。

学校教育選修では、教科指導の能力に加えて、古今東西の教育事情や教育のあり方に影響を及ぼす学校内外の諸要因について高い見識を持ち、現在の学校に適應するのみならず、新たな学校のあり方を模索・構想・提言・実現できる教師の養成をめざしています。

4年間の学び

1年次は、学校教育選修の学修の中心となる教育学の5領域（教育哲学・教育史・教育方法学・教育経営学・教育社会学）の基礎を学びます。また、教職・教育実践研究への入門となる授業を履修します。2年次は教育学の基本文献をゼミ形式で読むことで、研究の基礎的能力や協働する力を身に付けます。3年次は「特講」と「演習」と呼ばれる教育学の専門授業に参加し、研究室での活動も開始します。附属小学校での教育実習にも取り組みます。4年次は卒業論文作成のための主体的な探究が中心となります。公立小学校での教育実習を経験することで、教職で必要とされる知識や技能をさらに身に付けることも期待されます。こうして、学校教育選修の学生は4年間で次のことを身に付けることができます。

- (1) 個々人の能力や性格の把握にとどまらず、子どもたちがどんな社会（時代）を生活している（生きてゆく）のかを知って授業に反映させる、視野の広い子ども理解。
- (2) チャイムが鳴ったら席に着く、教師の指示に従う、といった授業の前提条件を意図的に整えるための原理や技術。
- (3) 各教科の独自性を尊重しつつ、必要に応じて教科の枠を超える授業づくりの発想・構想力。
- (4) 教科教育に含まれないが学校教育を支える大きな力を発揮している諸活動（学校行事や給食・清掃など）に注目してその意義を正当に評価するセンス。
- (5) 学校を広く社会の中に位置付けてとらえ、子どもの成長を見守る大人の協働を実現するマネジメント力。

先輩からのメッセージ

「どうして勉強をしないといけないのだろう?」「よい教育って何なのだろう?」私は、この選修に入ってそのようなことを改

めて考えるようになりました。学校教育選修では、特定の教科を中心に学ぶのではなく、その土台となる教育学について学ぶことができます。具体的には、教育哲学・教育史・教育方法学・教育経営学・教育社会学といった領域がありますが、それぞれの視点を通して教育を見ていくことで、自分の中の教育に対する考えがだんだんと作られていきます。そうして今まで教育に抱えていたモヤモヤを少しずつ晴らしていくことができるのがこの選修の最大の魅力であると思います。とにかくこの選修に集まる人たちは教育に対する情熱を持った人たちばかりです。そしてみんな子どもが大好きです。そんな仲間と切磋琢磨しながら学ぶことで、教育の本質を考え続け自分の中の教育観を持つことができると感じています。

（伊藤弘輝 4年）



円の面積も実技で学ぶぞ！

特色ある科目

学校教育選修入門セミナー、教育学研究入門、教育基本文献講読Ⅰ、教育基本文献講読Ⅱ（外国語活用科目）、教育実践研究、教育実験観察法、教育調査法



初等教育教員養成課程

学校心理



学校心理を学んだ教員の強みについて考える学生（グループディスカッション）

心を知る教師が教育を変える。

学校心理選修では、学習や生活全体にわたる、児童生徒の「生きる力」を育むために教師として必要な心理学の専門知識を学習します。学力を高め、発達障害を含む発達の個人差に対応し、いじめや不登校のないクラスづくりを進めるなど、多様な教育課題に取り組むために役立つ心のしくみについての専門知識と実践力を育成します。

4年間の学び

学校心理選修では、人の記憶・学習・理解・動機づけのメカニズムを解明する「教授・学習、認知心理学」により、子どもが学習につまずいたときに、具体的な支援の方法を示すことができます。「社会心理学」により、子どもが互いに尊重し合い、個性の輝くクラスをつくることができます。「発達心理学」により、学年に応じた心の成長を理解することができます。「臨床心理学」により、子どもが悩んでいるときに、心の声に耳を傾けることができます。

小学校教員免許への道のりは、1年次の「教職入門」、2年次からの各教科の「教科教育法」、「授業観察演習」、3年次で「教育実地研究Ⅰ」（附属学校での教育実習）、さらに4年で「教育実地研究Ⅱ」（協力学校での教育実習）へと続きます。学校心理学の道のりは、1年次の「心理学概論」と「心理学統計法」に始まり、2年次には、「授業実践の心理学」や心理学各領域の概論、さまざまな心理学研究技法の授業があります。3年次には各心理学の演習科目と「教育心理学実験」があり、研究室配属、そして、4年での卒業研究と続きます。2つの道のりはお互いに独立ではなく、1年次からの学校見学や教育実習などで問題意識を育み、それを解決する心理学の研究手法と専門知識を学び、さらに、教育実習などに生かして行くという、「スパイラルな学び」により実践的な力をつけることができます。

先輩からのメッセージ

学校心理選修では、小学校教員に必要な資質・能力を身に付けること、そして子供たちの理解を深める様々な視点・考えを身に付けることが目指されています。

4年間の授業で、心理の知識を一から学び、学んだことを活かして、子供たちの学習方法や評価方法、支援方法等を認

知・発達の側面から考えたり、児童理解を深めたりすることができるようになります。学校心理が得意とする児童理解は学級経営・授業作り・保護者対応…様々な分野の基盤となるものです。子供たちを理解することはとても難しいことですが、目の前にいる子供の性格や特性を尊重し受け入れる力、さらに子供たちが抱える見えない問題や背景についても気づき、対応を考える力を養うことができます。「子供たちにとっていい先生になりたい!」という方はぜひ、学校心理で学んでみてください。

（竹内美智子 2019年3月卒業生）



学校心理を学んだ教員の強みについて考える学生（全体共有）

特色ある科目

3年春学期の「教育心理学実験」では、1年次より学んだ「教授・学習、認知心理学」「社会心理学」「発達心理学」「臨床心理学」の各領域からテーマを選び、1年次に学んだ統計法や実験法、2年次の質問紙調査法などの技法を駆使して自分たちで研究を仕上げます。



自由な発想でお互いを刺激する

世界的視野にたって日本の教育にとりくむ教師。

本選修では、国の内外を問わず、すべての子どもたちが、お互いを尊重し協力しつつ、ともに生きることができるような人間形成に取り組む教員の養成をめざします。そのために人間の多様性と共通性を踏まえた教育実践を、国際的視野から追及します。

4年間の学び

1年次、「国際教育選修入門セミナー」「国際教育基本文献講読」「国際理解教育論」などで、教育学・心理学の学問的基礎を身に付け、Cross-cultural Ideas and Activitiesなどの選択科目で、留学生と英語での共習体験をします。2年次は、「国際教育交流史」「比較教育思想論」「国際教育政策論」「国際教育とプロジェクト」「海外・帰国児童生徒教育論」「異文化間心理学」などの専門科目を学び、「国際教育臨床」においてプレゼンテーション能力を向上させます。3年次は、「国際教育演習A～F」において研究法を学び、「国際教育特別研究」で各自の基礎研究を卒業論文にまとめます。附属学校での教育実習とその「事前・事後の指導」において、教育実践力を身に付けていきます。3・4年次は、「比較教育学研究」「教育開発と教育協力」「日本教育史特講」「外国人児童生徒教育」などで、専門的な議論を深めます。4年次は、「卒業研究」「教職実践演習」や、選択実習において、教育の理論研究と実践研究の総まとめをします。思考力、表現力の基礎を備えた人、他人の意見や情報を鵜呑みにしないで疑問を問いかけながら、自分の考えを確立し、その考えを仲間と共有できる人に、この選修に来てもらいたいと思います。

先輩からのメッセージ

「国際教育」と聞いて、どんなことを学ぶのかピンとくる人は少ないと思います。実際のところ私達は、日本の教育のみならず海外の様々な国の教育を知ること、より多角的な視点から教育を学んでいます。また授業を通じて、国際社会に起きていることに向き合い、深く考える

力をつけることができました。その時の葛藤や意見を仲間と共有することで、新たな価値観や考えを見出すことができたと感じています。少人数だからこそ、自らの考えのみに捉われず、物事を多角的に見ることや広い視野を持つことの重要性を学ぶことができます。私たちは「国際教育」の持つ可能性は無限であると思っています。皆さんと一緒にその可能性を見つけに行きましょう！

(2年生一同)



多彩なアイデアから新たな発想を

特色ある科目

「国際教育選修入門セミナー」「国際教育基本文献講読」「国際教育特別研究」「国際教育とプロジェクト」「異文化間心理学」「比較教育思想論」「国際教育政策論」「国際教育交流史」「国際教育演習A～F」



初等教育教員養成課程

情報教育



教育実習における電子黒板を活用した授業

デジタルネイティブな子どもたちのために。

変化の激しい社会の中でも創造的に未来を自ら築くための情報活用能力を児童に身につけさせる教育力や、教育の情報化を学校内で指導・推進できる実務能力などをもつ教員になるために、情報科学・情報工学・教育工学の知識や技能を体系的に学ぶことができます。

4年間の学び

次期学習指導要領では言語能力に並んで情報活用能力の育成やそのために必要なICT環境の整備が謳われています。また、小学校ではプログラミング教育も開始されます。このような動向の中で、教育の情報化を先導する教員の必要性がますます高まっています。

情報教育選修では、小学校の先生になるために必要な知識や技術と共に情報工学・情報科学・教育工学分野を教育の視点から学びます。1年次からE類情報教育コースの学生と共に計算機システムの仕組み、プログラミングやアルゴリズム、情報工学・情報科学・教育工学の基礎となる数学を学び、また、教育の情報化の三要素である情報教育、授業におけるICT活用、校務の情報化について学んでいきます。

3年次からはE類情報教育コースの学生と共に研究室に所属し、研究室それぞれの専門分野を学んで、4年次には卒業研究に取り組みます。

また、3年次に附属学校で、4年次の地域の公立学校で行う教育実習では、ICT活用を実践するプログラムが用意されています。教育実習それぞれを振り返る授業を通して、ICT活用と情報教育の総まとめをしていきます。

先輩からのメッセージ

パソコンやスマートフォンが普及し、日常生活に欠かせないものとなっていますが、学校現場においても電子黒板やタブレット端末といったICT機器の導入・活用が進んでいることをご存知ですか。私たちは、ICT機器の有効活用によって教育の可能性がさらに広がると考え、豊

富な経験・知見をもつ先生方のもとで教育の情報化について学び、仲間とともに必要な知識・スキルの習得に励んでいます。コンピュータやインターネット技術に興味をもつ人はもちろん、ICTを活用したより良い授業づくりに挑戦したいと考える人にも、ICTを介してすべての教科へのアプローチが可能な情報教育選修をおすすめします。2020年にはよいよ小学校におけるプログラミング教育が始動します。私たちと一緒に、情報教育選修で学びませんか。
(岡崎彩華 4年)



コンピュータを用いた授業の様子

特色ある科目

教育情報化教材論、教育情報化臨床、教育と情報、授業におけるICT活用、情報教育概論、情報数学基礎、計算機システム概説、プログラミング、プログラミング演習、ソフトウェアシステム概論、情報メディア論



武蔵野の雑木林の中で育まれた地域の文化・歴史を学ぶ

フィールドから環境を探る。

文系・理系の枠を超えて、領域横断的・総合的に「環境」について学ぶことができます。座学だけでなく、様々なフィールドで実物に触れ、手足を動かし、心と頭を働かせた観賞・観察・測定・調査を通して、体験的に環境リテラシーを身につけ、1人1人の個性に応じた環境マインドを養うことをめざします。

4年間の学び

1、2年次では、教職に関する科目に加えて、「環境」を理解するために自然科学と社会科学の基礎的な知識を学びます。生態系生態学、河川生態学、魚類生理学、植物生態学、保全生態学、景観生態学、環境経済学、自然地理学、環境教育学などの環境に関わる幅広い分野の基礎を学びます。また、野外に出て自然環境を自ら観察・測定・分析し、環境を理解する方法を学び、環境問題を解決するための手段を考えていきます。3、4年次では、それまでの学びを基礎とした実験や実習を通して、さらに環境について理解を深めます。また、3年次には教育実習があります。学び、身につけた知識を教育現場で実践し、「環境を教える」ことについて自分なりの答えを模索する機会になります。そして4年次には、環境教育選修における学びの集大成として卒業研究に取り組みます。

環境教育選修における実践の場は教育実習だけではありません。知識や経験を基に、地域の人達に自然環境を伝える技術・方法を考え、実践する機会もあります。また、子どもたちと触れあい、環境を保全する仕組みについて考える場など、実践する機会には困りません。環境教育選修は、豊富な教育環境を活用して多くを感じ、考え、そして身につけることで、魅力的・個性的な環境教育観を持った人に成長してもらうことを期待しています。

先輩からのメッセージ

この選修では、「環境教育とは何か」、そして「自分は環境教育にどうアプローチするのか」を勉強します。その答えは多様で、人それぞれの答えが見えてきます。授業は座学をはじめ、野外での作業や観察、実験などがあり

ます。授業内容は幅広いですが、文理を超えて集まった仲間と助け合いながら学んでいきます。さらに授業以外にも、環境に関する企画や学会に参加する機会が多くあり、様々な人との出会いがあります。環境教育を通して、環境に関することだけでなく、新たな考え方や生き方に触れることができます。4年間ともに学んだ仲間はもちろん、ここで出会う人々や経験が必ず未来のあなたの糧になるはずです。環境教育の中で何ができるのか、一緒に考えてみませんか。

(吉家萌 2019年3月卒業生)



新入生研修で訪問した野外学習施設でのキノコの駒打ち（菌の植え付け）作業体験

特色ある科目

自然環境調査法 A/B、社会環境調査法、地域の環境学と農的体験 I/II、地球環境論、河川環境論、展示論、環境と産業社会、環境保全生態学、都市環境論、環境教育概論、自然体験学習論、自然体験、エコスクール論、環境教育実習 I/II、博物館と展示の活用



初等教育教員養成課程

ものづくり 技術



ものづくり教育と教材の授業におけるはしづくりによるモノ、コト、バづくりの設計

豊かな“ものづくり力”をもつ教師になろう。

主体的なものづくり技術におけるテクノロジーやサイエンスを活用し、豊かな学校生活や社会生活を工夫・創造することができる小学校教員を育てることを目標とする選修です。この目標を達成するため、ものづくり技術の基礎的な科目を、広範囲に学習するカリキュラムとなっています。

4年間の学び

1年次には、製図、木材加工、金属加工等の授業を通して、工学的デザイン（設計）プロセスに基づいた設計・試作・製作に関するものづくり技術、また情報技術に関する基礎的な能力を身につけます。希望する場合は、中学校の技術科教員になるための基礎知識である数学・物理学・情報工学についての基礎知識に関する学習も行います。2年次には、1年次の学習内容を踏まえ、小学校の教員になるため、幅広い知識を習得します。小学校で教える各科目の教育方法や教育内容に関する科目も履修するようになります。3年次には、2年次の学習内容を発展させ、小学校教員になるために必要なさらなる学習を行います。2年次・3年次では各専門科目の基礎事項を学ぶと共に、実験・実習により、基礎的な知識・技能を活用し、企画・創造力を高めることができるようなプロジェクト型・問題解決型の授業を行います。また3年次初頭に、卒業研究のために研究室への配属が行われ、研究室のゼミ等により卒業研究に向けての準備が始まります。3年次の9月～10月には附属学校での教育実習があります。4年次には卒業研究が実施されます。設定した卒業研究の課題に関し、約1年をかけてじっくりと研究します。卒業研究は究極の課題学習です。自主性を発揮して挑んで下さい。

ものづくり技術特有の問題解決型の学習や卒業研究を通して、主体的に企画・創造力を高めていくことができる人になって欲しいと考えています。

先輩からのメッセージ

私は、ものづくりと様々な教科を連携することができ、そして教えるための知識や技能を持った教師になりたいと強い思いを持ってこのものづくり技術選修に入学しました。実

際に、3年間ものづくり技術選修での学びを振り返ってみると、木材・電気・情報・栽培など多くの分野の学びがあり、自ら考え、活動する機会が多く、学生それぞれが目標に向かって成長できる選修なのではないかと感じます。また、1学年約10名という少人数だからこそ、先生方の手厚いサポート、そして学年を超えた教え合い・学び合いの場があり、一人では乗り越えられなかった壁も突破できたように感じます。ぜひ、春にもものづくり技術選修の仲間としてお会いできるのを楽しみにしています。

（柳原みず季 4年）



ものづくりの基本となる様々な加工方法を身に付けます

特色ある科目

ものづくり技術入門セミナー、工業数学Ⅰ、工業物理学Ⅰ、情報とものづくり、ものづくり教育臨床、ものづくり教育と教材、電気とものづくり



3年次には附属幼稚園で教育実習を行い、専門職としての教育職のあり方を学びます

幼児教育の未来を創る保育者になろう。

幼児教育選修では、幅広く、深い理論の学びと、豊かな実践の学びを融合し、高い力量を持つ保育者を養成します。幼児教育の不易の課題と今日的課題に対応できる専門性を備えた保育者、幼児教育の未来を創る保育者の養成をめざしています。

4年間の学び

1年次には主に幼児教育や発達の基礎的な理論を学ぶための科目と、音楽、造形、運動などの基礎的な知識や技術等を身に付けるための科目を履修します。附属幼稚園にも訪問し、幼稚園の環境づくりを実地で学びます。2年次には、保育内容（健康、人間関係、言葉など）の専門的な科目の履修が増えます。これらの科目は1年次の秋学期から3年次の春学期にかけて履修し、遊びや生活における幼児の姿を理解し、具体的な活動を通して総合的に指導するための知識や技術等を学びます。また、附属幼稚園のクラスに入り、グループで実習を行う授業もあります。保育を参観し、幼児の興味を捉えて自分たちで教材を開発し、それを使って実際に保育を行います。3年次の春学期には附属幼稚園での観察実習があり、数日かけて幼児と保育の様子を記録し、それをもとに多面的に幼児を理解する手法を学びます。幼児教育のカリキュラムや発達心理学の理論など、教職の高度な専門的学習も同時に進められます。秋期には3週間の教育実習があり、小金井園舎と竹早園舎に分かれて、それまでに学んだ知識や技術等を生かして自ら日々の保育を構想し、実践する機会があります。4年次には卒業研究で卒業論文に取り組みます。幼児や保育に関わるテーマを設定し、研究室に入って1年かけてじっくり探求し、論文にまとめます。4年間を通して、幼児の世界や保育の営みの豊かさを深く知り、他者と経験を交流して協同的に学んでいく保育者になってほしいと思います。

先輩からのメッセージ

幼児期は、人やものとかかわり遊ぶ中で、学びの基礎を作る大切な時期です。その育ちを支えるために、私たちは「理論の学び」と「実践の学び」をしています。講義を通して自分の理想の保育を形作ったり、特別支援や小

学校との繋がりを考えたりします。また、附属幼稚園実習を始め、模擬保育や未就園児への保育活動など、フィールドワークも充実しています。保育者が何を考えて子どものやりたい気持ちを引き出しているのかを学び、自分なりの方法で実践をすることができます。子どもが遊びに夢中になり目を輝かせたとき、私は保育者になると強く心に決めました。みなさんも幼児教育選修で学び、子どもと時に笑い合い、共に考えながら、一緒に子どもの成長を支えていきませんか。

(吉野満里恵 2019年3月卒業生)



1年次の「幼児教育選修入門セミナー」では、子どもと一緒に遊ぶなかで保育を学びます

特色ある科目

幼児教育選修入門セミナー、乳幼児心理学、幼児教育学、音楽表現Ⅰ／Ⅱ、保健体育Ⅰ／Ⅱ、美術Ⅰ／Ⅱ、ピアノ基礎Ⅰ／Ⅱ、保育内容「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現A/B/C」、幼児教育と情報、保育内容総論、幼児教育史、幼児教育心理学、幼児教育臨床、幼児体育特講



中等教育教員養成課程

国語



中等国語科教育法では実際に授業体験をしながら具体的に指導法を学んでいます。

ことばの森を探索し、真の国語力を培う。

本専攻は、中学校・高等学校の教育現場で活躍できる、高い専門性をもった国語科教員の養成を目的としています。中等教育における学習内容と指導法を学びつつ、日本語、日本文学、中国古典などの日本の言語文化に対する認識を深め、高い言語能力と豊かな言語感覚を備えた指導力あふれる人材を育成します。

4年間の学び

B類国語の学びは、教科教育学としての国語科教育学の領域と、それを支える基礎科学としての日本語学・日本文学（古典文学・近代文学）・中国古典学の全5領域から構成されています。これら5領域の授業のどこに比重をかけるかは基本的に自由です。それらの履修の仕方によって自分なりの国語教育観がつくられ、その国語教育観によって次の履修科目が決まってきます。1年次ではこれら諸領域の基本的な概念と枠組を、日本語学概論、日本文学概論、日本文学史、中国古典文学概論、中国古典文献概論の講義で学びます。2年次からは、より専門性を深めるために、1年次の基礎をふまえつつ自らが調査研究してきたことを発表する演習科目が5領域で数多く設けられています。特に日本文学は上代・中古・中世・近世・近代・現代のように時代別の演習の授業を履修できます。他にも、日本語文法、日本語音声、日本語教育と言語学、言語習得と発達など、日本語に関する科目も豊富です。あわせて、それらの知識に基づきつつどのように指導するかを「国語科教材論」「中等国語科教育法」などで体系的に学びます。なお、3年次からは自分が所属する研究室で卒論に向けての準備が始まるので、2年次後半までにどの領域のどのようなテーマを深く究めたいか決めることとなります。そして、4年次では4年間の学びの集大成として研究室の教員の指導を受けながら卒業論文をまとめます。

先輩からのメッセージ

B類国語科では、国語の専門性を高めることができる環境が整っています。一重に〈国語〉と言っても、現代文・

古文・漢文の他、日本語学・国語科教育学・近代文学など、非常にたくさんのジャンルがあります。これらの様々な〈国語〉を究めていくのが、一年次より入ることのできるゼミ活動です。国語科には20を超えるゼミがあり、自分に合ったゼミを選んで入ることができます。私は二つのゼミに所属していますが、ゼミでしか培えない経験が豊富にありました。また、演習授業では、発表者が研究してきた内容を基に受講者が議論します。自分の専門とは異なる研究をする良い機会であり、実に多くの知識・経験を得ることができます。（足立直也 4年）



B国では自主ゼミに複数入って研究を主体的に深める人も多いです。

特色ある科目

国語選修入門セミナー、中国古典文基礎、国語科と情報、国語科教材論、現代日本語文法、日本語教育教材開発論、言語習得と発達、異文化間教育、日本語音声、児童文学、中学書写



中等教育教員養成課程

社会



授業風景：社会学の社会調査法の授業で、インタビューデータの分析を行う場面。

深い知識と思考力で社会を探究しよう。

本専攻には歴史学・地理学・哲学・法学政治学・経済学・社会学・社会科教育学の7分野があり、それらを幅広く学べます。2年生からいずれかの分野に所属して研究を深めます。そこで学んだ知識や考え方を踏まえて、生徒が多面的・多角的に追究する学習を創造するなど、専門に強い教員になることをめざします。

4年間の学び

1年次：社会専攻入門セミナーで、高等学校までとは異なる大学での勉学の方法について学びます。あわせて7分野の必修の概論科目を履修し、社会科の基礎的な概念や考え方を学びます。

2年次：7つの分野のいずれかに所属し、各分野の特色ある専攻選択科目を中心に履修していきます。これは基礎知識に基づいて応用力を獲得し、「社会に強くなること」を目的とします。これと並行して教職科目の中等社会科教育法等を履修し、社会科の考え方や教育・教材開発に関わる方法論、授業研究などに関して学びを深め、「社会科に強い」教員として応用できる実践力を養います。

3年次：所属分野でのより進んだレベルの演習等に参加し、体系的な学修を深めていきます。9月には附属学校での教育実習があります。それまでに学んだ知識やスキルを活かして授業を創っていきます。その経験・反省を基に、「社会科教材論」を通して、教材研究を深めます。また、中等社会科・地理歴史科教育法や中等社会科・公民科教育法の授業で、実践力をさらに養います。

4年次：学生生活の集大成となる質の高い卒業論文の完成をめざします。なお、公立中学校・高等学校等での教育実習を履修できます。

本専攻のカリキュラムの重要な特色は、演習を中心とする少人数教育です。教員や仲間とともに行う社会や社会科に関する議論を通じて学問の楽しさを実感できるでしょう。

先輩からのメッセージ

B類社会専攻では多くの学生が中学・高等学校の教員を志望しています。そのため、教育に対する考えを深め、高い専門性を身につけることを目指し、日々研鑽を積んでいます。2年次からは、それぞれの分野にて専門的知識

や指導方法を学びます。私は地理学分野に所属し、3年次には、本学地理学分野の大きな特徴の1つである「臨地研究Ⅰ・Ⅱ」の授業にて、仲間と共に4泊5日をかけて調査を行い、進級論文を作成しました。その経験を活かすことで、質の高い卒業論文の執筆を目指すことが出来るようになっていきます。また、3年次と4年次に教育実習があり、失敗を重ねながら実践力をつけていきます。教員になる覚悟と熱意を高められる専攻です。

(原田怜於 4年)



模擬授業：教科教育法の授業で北アメリカ州をテーマに模擬授業をする場面。

特色ある科目

社会専攻入門セミナー、社会科と情報、社会科カリキュラム論、社会科教材論、社会科地域教材論、自然環境、臨地研究、哲学と宗教、心の哲学と知識論、日本史演習、西洋史基礎講義、教育と法、刑法、経済学基礎演習、経済学基礎、地域を探究する社会調査、ジェンダーの社会学



中等教育教員養成課程

数 学



目指すべき授業について、小学校と中学校の授業ビデオを見て議論しています。

学ぼう、伝えよう、美しい数学の世界。

学生の数学的能力の育成と、中学校・高等学校教員としての資質の養成を目的とする。中学校・高等学校の数学の内容、数学教育の理論と実践についての素養を身につけ、数学に対する興味と理解を深め、自然や社会に対して自らの頭で論理的に考える態度を育てる。

4年間の学び

大学の数学は、高校までの直観的な説明とは異なり、一步一步階段を上るように緻密な論理を積み重ねて学習していく。物事を論理的に理解し、他人に明快に表現できるように目指し、物事に対し自分の言葉で考え、表現できるように養成する。1年次に、大学の数学の基礎となる基礎数学、線形数学、微分・積分学を学ぶ。2年次に、基礎を踏まえて代数学 I, II、幾何学 I, II、解析学 I, II、確率・統計 I, II のそれぞれの専門分野の基本を勉強する。3年次に、基礎的な数学の内容を踏まえて、数学分野においては、代数学特論 AI, AII, BI, BII、幾何学特論 AI, AII, BI, BII、解析学特論 AI, AII, BI, BII, C, D, E、確率特論 I, II、統計特論 I, II 等現代数学の内容を勉強する。数学教育分野においては、中等数学科教育法 I, II, III, IV、数学科教育臨床といった数学の授業をどのように行うかという実践の基本を学び、数学教育研究、数学カリキュラム論で、中学、高校での数学をどのように体系的に教えているかを学ぶ。その上で、自分がより深く学びたいものを選び、卒業研究として4年次に学ぶ。

先輩からのメッセージ

数学を「教える」ということは「解く」ということより、深い知識が必要となります。この専攻では、数学をいくつかの分野に分け厳密に扱うところから始めて基礎から応用までを四年間かけて学ぶことで「教える」ために必要な数学の知識を深めます。数学教育では、数学教育の歴史を学び、現代の教育について考え議論します。また、中等数学の問題について条

件を変え発展させたり、多様な解き方を考え議論したりすることによって定理の本質を見抜く力を養うことができます。

数学の魅力を伝えたい、いい授業をしたいということを目指して仲間たちと切磋琢磨しながら勉学に励んでいます。教師になるための環境は整っており、良い教師になりたいという夢をしっかりサポートしてくれます。

(増井慎吾 4年)



4年次の卒業研究では、お互いに発表しながら勉強・研究をします。

特色ある科目

線形数学、微分・積分学、基礎数学、位相数学 I, II、代数学 I, II、幾何学 I, II、解析学 I, II、確率・統計学 I, II、代数学特論 AI, AII, BI, BII、幾何学特論 AI, AII, BI, BII、解析学特論 AI, AII, BI, BII, C, D, E、確率特論 I, II、統計特論 I, II、数学カリキュラム論、数学科教材論、数学科教育臨床



中等理科教育法Ⅰ：中学校理科「化学変化と物質の質量」を題材にした模擬授業

自然科学の奥深さを伝える教員になろう。

専門性の高い物理、化学、生物、地学を学び、自然科学のおもしろさを生徒にわかりやすく伝えるとともに、科学的探究心を育てることのできる能力をもった教員を養成します。自然科学の謎解きに真正面から向きあえ、その楽しさを仲間と分かちあえます。

4年間の学び

自然科学の学習は、基礎から始め徐々に高度な内容へと段階を経て学び、専門性を高めていきます。この特質を考慮して、理科に関わる自然科学の全領域と理科教育学にわたる充実した科目群が、1年次から4年次の各学期に順を追って開設されています。物理学・化学・生物学・地学の各教室に所属して、それぞれの専門性を高めながら教員としての資質を養います。講義以外に実験・実習・演習という形態の授業科目があり、より能動的に関わって学ぶことが求められています。1年次には、物理学・化学・生物学・地学の基礎となる実験を行います。また、2年次にかけて各分野の基礎となる講義も履修します。2年次には、教職に関する科目とそれぞれの専攻に関する科目の学習が本格的に始まります。3年次には、教職に関する科目・専攻に関する科目ともに、1、2年次の学習事項を基に発展的な内容を学びます。ゼミや実験等、研究室での活動が本格化するのもこの時期です。また、秋には附属学校での教育実習があります。理科教育の指導法や技術を生かし、科学的な見方・考え方を生徒に伝える機会となり、それまで学んだことを実践し振り返ります。基本的な内容を教える中で、自らの専門分野の学びを深めることもできます。4年次には、指導教員の下で専門的内容の卒業研究を行います。未知の領域で自ら真理を探究します。

先輩からのメッセージ

本学の理科では1・2年次に物理・化学・生物・地学の全ての分野を学びます。専門の枠にとらわれず幅広い分野

を学ぶことで、知識に厚みがつきます。これこそ教育学部で理科を極める魅力のひとつです。3年次から始まる卒業研究では、自分の専門分野を深めることができるだけでなく、ゼミや卒研発表会などを通じて、教員として必須の能力である、喋る技量や聴く力も格段に向上します。私が所属している研究室では、一般向けの講演や科学イベントなども盛んに行っています。こういったイベントが多いことも教育学部ならではの「教育のための理科」がここにはあります。未来の理科教育に携わりたいと考えている皆さんにB類理科を強くおすすめします。

(太田溪介 2019年3月卒業生)



1年次の物理学実験：光学に関する実験のひとつコマ。

特色ある科目

理科専攻入門セミナー、物理学概論、物理学演習、物理学実験、化学概論、化学演習、化学実験、生物学概論、生物学演習、生物学実験、地学概論、地学演習、地学実験



「民族音楽演習」では世界の民族音楽の知識と演奏技術を学びます。

心をつなぐ音楽の力、音楽の深さを伝える。

本専攻では、音楽全般について広く学ぶとともに、各自が1つの領域を選択して専門の内容を深め、それぞれの個性を磨いていきます。音楽に対する深い造詣、高い指導力、幅広い教養を備えた中学校・高等学校教員の養成を目的としています。

4年間の学び

本専攻では、入試において選択した各自の専門分野をより深く学ぶことを通じ、中学校・高等学校音楽科教員として必要な教科の知識と力を養うことを目的としてカリキュラムが組まれています。また1、2年次には自分の専門分野のみではなく、声楽・ピアノ・管弦打楽器・作曲・音楽学・音楽科教育の基礎的な科目も幅広く履修します。更に初年度春学期には音楽科専攻入門セミナーとして、4年間の学びに必要となる文献の探し方や楽曲解釈、ピアノの構造や扱い方、発声法、演奏における体の使い方など、適宜外部より専門家を招き学びます。また興味に応じて和楽器・邦楽歌唱法・民族音楽などの科目も選択できます。これらの授業は、内容に応じ少人数のグループレッスンから大人数の合唱・合奏まで多様な形態で行います。3・4年次では教育実習関連の科目を履修し、音楽科教育の理論・実践的な内容を深めます。同時に、各自の専門性を深める科目や、興味に応じた科目を選択していきます。4年次の卒業研究では、卒業演奏や卒業論文に取り組み、大学での学びを総括します。本専攻の特色は、レッスンなど演習と中心とするものが多く、教員との距離が近いことが挙げられます。4年間を通して、音楽の楽しさを実感できることと思います。

先輩からのメッセージ

本専攻では音楽教育に特化した授業はもちろん、ピアノ、声楽、管弦打楽器、和楽器、民族音楽、ポピュラー音楽など様々な分野から学ぶことができ、それらを実際の教育現場でどう活かしていくかを考えることができます。

私はフルートを専門としているためそれ以外のことにはあまり自信がありませんでしたが、これらの幅広い学びのおかげで3年次の教育実習では充実した日々を送ることができました。また本専攻では、門下の発表会、クラスコンサートなど1年間を通して多くの演奏会の機会があり、その度に自分の専門や様々な音楽に対する学びが深まります。そして何よりも音楽が大好きな仲間たちと語り合いながら学べるのが本専攻の一番の魅力です。

(土屋七海 4年)



実技科目として管弦打楽器、ピアノ、声楽を幅広く学びます。

特色ある科目

音楽専攻入門セミナー、基礎声楽実技Ⅰ、基礎声楽実技Ⅱ、合唱、ソルフェージュⅠ、基礎ピアノ実技Ⅰ、基礎ピアノ実技Ⅱ、基礎管弦打実技Ⅰ、基礎管弦打実技Ⅱ、作曲法Ⅰ、作曲法Ⅱ、指揮法、音楽学概論A、音楽学概論B、音楽学概論C



石彫室での制作

美術。その限りない可能性を追求しよう。

本専攻では、美術科教育学、絵画、彫刻、デザイン、工芸、造形芸術学などの高度で専門的なカリキュラムによって、美術の専門領域での高い指導力と、深い造詣を兼ね備えた中学校の美術や高等学校の美術・工芸の教員養成を行っています。

4年間の学び

1年次には美術のそれぞれの領域の基礎力を養うための必修科目と美術科教育に関する科目を履修して、美術科教育に対する興味、関心及び理解を深めてもらいます。この間に、自分がどの領域に興味や関心が持てるかを探すことが重要です。2年次には1つの領域を選び、必修科目である「美術演習Ⅰ・Ⅱ」を履修します。この授業は美術の専門的な知識や技能を段階的に積み上げていくことが目的となっています。また、それぞれの領域の選択科目を履修することで、教員としての幅広い視野を持つこともできます。3年次には「美術演習Ⅲ・Ⅳ」を履修し、卒業研究を行うために更なるスキルアップをめざします。また、1、2年次に学んだ知識や技能を基盤として教職科目を履修していきます。3年次の後期には附属学校での教育実習があり、今までの成果を生かして授業に取り組みます。4年次には卒業研究に取り組みます。絵画、彫刻、デザイン、工芸、造形芸術学、美術科教育の領域の中で4年間の集大成として相応しい卒業制作及び論文発表を行います。美術の造形活動や理論研究を通じて中学校美術及び高等学校美術科及び工芸科教員としての資質や能力を磨き、創造的な視野を持った教育実践を行えるような人材になって欲しいと考えています。

先輩からのメッセージ

私がB類美術で良かったなと思うことは、単純に同じ夢や目標を持つ人達と知り合えたことです。他の学科も同じだとは思いますが、中学校や高校では出会えなかった学校の先生になりたい、美術の先生になりたい仲間に出会えたことが一番大きな出来事です。

また、B類はA類のように国語や算数などの授業を取らな

くても良いので、その分時間があります。だから、自分のやりたいこと、興味のあることの研究に時間を使えます。2年生から絵画や彫刻などの研究室に分かれて自分の専門性を伸ばすこともできます。また、美術の教員以外の免許も取ることができます。私は教員免許と並行して学芸員免許を取る授業を受けています。このように、どのように過ごすかは人それぞれですが自分にかげられる時間が比較のあるのもB類美術で良かったなと思います。(山下陽 4年)



彫刻演習室での塑造制作

特色ある科目

図画工作・美術科と情報、美術科教材論Ⅰ(平面)、美術科教材論Ⅰ(立体)、美術科カリキュラム論、美術専攻入門セミナー、絵画基礎Ⅰ・Ⅱ、彫刻基礎Ⅰ・Ⅱ、デザイン基礎Ⅰ・Ⅱ、工芸基礎Ⅰ・Ⅱ、西洋美術史概論、日本東洋美術史概論、美術演習Ⅰ、美術演習Ⅱ、美術演習Ⅲ、美術演習Ⅳ、現代美術史概論、美学



中等教育教員養成課程

保健体育



水泳B：「泳ぐ」という実践に加え、実践内容の裏付けを理解しながら指導法も学ぶ。

時代を切り拓く保健体育教師をめざす。

本専攻は、中学校および高等学校の保健体育教員の養成を目的としています。学校体育で実施する各運動種目の実技能力を身につける科目、また、実施する側、指導する側両面で必要となるスポーツ科学的思考力を身につけるための授業を通じて、保健体育教員に必要とされる学校現場での指導力の育成をめざします。

4年間の学び

1年次：専門的な体育実技や保健体育分野における基礎学問を学習し、「教職入門」で教職の世界へ第一歩を踏み出します。2年次：「スポーツバイオメカニクス概論」などより多くの保健体育分野の基礎学問を学習します。また、「運動方法学総論」など運動指導の基礎となる学習や「中等保健体育科教育法」「保健体育科模擬授業演習B」など保健体育の教科教育法の授業を履修することを通して教育実習の準備が始まります。夏季休暇中には、2日間の集中授業で3年次の教育実習の映像を観察する「授業観察演習」があり、翌年の教育実習の具体的なイメージを持つ機会があります。3年次：「保健体育科カリキュラム開発論」「運動部活動指導演習」など教育実習に直接関わる科目を履修し、教育実習の「事前指導」を通じて研究課題を決めていきます。初めての教育実習は附属の中学校、中等教育学校、高等学校などで行います。大学で学んだ知識やスキルを活かして教材研究や授業実践を行う力を高めていきます。実習終了後には「事後指導」で実習の振り返りをし、4年次の選択実習での課題を設定します。4年次：それまでに得た知識や視点からテーマを決め、卒業研究として論文作成と発表を行います。秋学期には4年間の学びの集大成である「教職実践演習」を受講し、社会に出るための最後の準備をします。以上のように、この専攻では体育実技はもちろん保健の授業もしっかり指導できる保健体育教員の指導力育成にも力を入れています。

先輩からのメッセージ

この専攻では中学校・高校の保健体育教員になるために必要な知識や技術を講義、実践を通して学習することができます。実技の授業が多いことがこの専攻の特徴で、自分の得意な種目を仲間に教えたり苦手なことを教わっ

たりできるのでより充実した学びになり、教員に必要な「教える」という能力を育てることにもつながります。また、実践的な授業の一つとして「模擬授業演習B」があります。この授業では、学生が教師役として自分で考えた授業を実践し、生徒側の学生とその授業の良かった点や改善点を話し合います。自分で授業を考えることから始めるため、教員を目指す上で非常に役立つ授業です。この専攻では保健体育の教員に必要な専門知識や指導方法を身につけられる授業が幅広く設定されており、仲間とともに切磋琢磨しながら充実した環境で学ぶことができます。
(安井裕哉 3年)



中等保健体育科教育法III：スポーツ諸科学を活かした実践を仲間とともに構想する。

特色ある科目

保健体育専攻入門セミナー、保健体育科演習、人体解剖生理学、学校保健学概論、衛生・公衆衛生学、体育・スポーツ心理学概論、体育・スポーツ社会学、柔道、剣道、器械運動B、陸上B、水泳B、ダンス、バスケットボールB、サッカーB、ソフトボールB、バレーボール、運動生理学概論、体育原理概論、体育史概論



被服学演習 B でゆかたの製作

生活を科学し、未来の暮らしを提案しよう。

本専攻は、生活科学に関する高度な専門性と優れた実践力を身につけた中学校・高等学校家庭科教員を育成しています。生活を科学的にとらえ、少子高齢化や消費者問題、食育などの現代的な課題を解決し、未来に向けた新たな暮らしを創る力を養います。

4年間の学び

1年次では、入門セミナーで、大学で学ぶ意義や家庭科教員になる心構えについて理解します。専門科目では、家庭経営、衣、食の基礎を学ぶ科目を履修し、意思決定論、家計、消費者問題、被服学、被服文化含む浴衣の着装)、基礎的縫製技術(被服製作)、食品の調理性や科学的な知識(含む実習)などを学びます。2年次には、教職に関する科目(中等家庭科教育法など)の履修が始まり、3年次にかけて、中学・高等学校での家庭科教育の目的や内容、指導方法について学びます。住居と保育に関する授業も始まり、住居学、安全・快適な住環境、乳幼児の発達や生活(含む保育園実習)について学びます。さらに、詳細な家計の仕組み、栄養素の特性、各ライフステージの栄養摂取や生理について実習を交えて学んだり、和服の製作のほか、石けん作りや藍染等から衣生活の科学を理解し、指導者としての知識と技術を身につけます。3年次には、事前指導で授業観察や模擬授業を行った上で、教育実習に臨みます。また、製図や模型製作、保育や衣生活の現代的な課題、生涯生活設計等について学び、家庭科を学ぶ意義や、教材、指導法についても理解を深め、家庭科教員としての専門性を高めます。4年次には卒業研究に取り組みます。家庭科教育学、衣、食、住、生活経営、保育学の各領域を選び、4年間の学びの集大成として論文を仕上げます。

先輩からのメッセージ

B類家庭専攻では、生活を科学的に見つめ、家庭科に関するより専門的な知識・技能を、講義形式だけでなく、保育実習や調理実習、被服製作、住居模型製作など、多種多様な内容の実践的・体験的な活動を経験しながら学びます。

また、家庭科教育の変遷や教育法を学び、模擬授業などを通してより良い授業や教材、指導法を検討します。教員養成大学ということもあり、教育について考える機会が多く、幅広い分野を学ぶので、より多角的な視点から子どもたちや家庭科教育に対する理解を深めることができるのも、魅力のひとつです。また、学科は少人数で、和気あいあいとしています。先生方との距離も近く、親身になって指導してください。生活をより豊かにする家庭科を、私達と一緒に学びませんか？
(鯉沼景子 4年)



自分で合成した染料で染色実験

特色ある科目

家庭専攻入門セミナー、家庭経営学、生活設計論、栄養学概論、食物学実験・実習 A、食品学概論、住居学、住居設計製図、被服学 I、被服学実験・実習 A、被服学演習 A、児童学 I、児童学 II、家族関係学、家庭工学、家庭看護学、家庭科と情報、家庭科教材論 I、家庭科教材論 II、家庭科カリキュラム論



中等教育教員養成課程

技術



木材加工の授業における試作過程を通した 3D プリンターの活用

理論的背景のある創造力を身につけよう。

技術教育学や理学・工学などについての幅広い科目が体系的に配置され、基礎的内容から応用的内容へと段階的に学ぶことができます。中学校技術科および高等学校工業科の教員としての高度な専門能力を有し、自発的に創造できる教員を育てることが目標です。

4年間の学び

1年次には、製図、木材加工、金属加工等の授業を通して、工学的デザイン（設計）プロセスに基づいた設計・試作・製作に関する基礎的な能力を身につけます。これと並行する形で、中学校の技術科教員になるための基礎知識や、数学・物理学・情報工学についての基礎知識に関する学習も行います。2年次には、1年次の学習内容を踏まえ、技術科教員になるため、教科教育学、栽培学、加工学、電気工学、情報工学、機械工学等に関する幅広い知識を習得します。3年次には、2年次の学習内容を発展させ、技術科教員になるための教科教育学や工学について更なる学習を行います。2年次・3年次では座学により各専門科目の基礎事項を学ぶと共に、実験・実習により座学で得た知識の確認を行います。また3年次初頭に、卒業研究のために研究室への配属が行われ、研究室のゼミ等により卒業研究に向けての準備が始まります。3年次の9月には附属学校での教育実習があります。4年次には卒業研究が実施されます。設定した卒業研究の課題に関し、約1年をかけてじっくりと研究します。卒業研究は究極の問題解決型学習です。自主性を発揮して挑んで下さい。技術科特有の問題解決型の学習や卒業研究を通して、自ら課題を発見し、その解決に向けて努力する人になって欲しいと考えています。

先輩からのメッセージ

本専攻は上記のように中学校技術科の教員や高等学校工業の教員になるための知識・技能を学んでいきます。本専攻の人数は少なく、一人一人と深い付き合いができるため、結束力があり、苦手科目を教えあうなど切磋琢磨

しながら学習を進めていくことができます。その点では情報についての知識がない方、物理を履修していなかった方も安心して大学生活を送ることができます。また、座学で得た知識を活用した実験・実習を行う機会が多くあります。実際に体を動かし、頭を使い課題解決をしていく中で、教科の専門性が着実に身につけていきます。その他にも授業の内外問わず先生方が手厚い指導を施してくださるため、中学校技術科・高等学校工業の教員を目指す人には最適な環境が整っています。

（高橋孝輔 4年）



工作機械による精度の高い加工方法を身に付けます

特色ある科目

技術専攻入門セミナー、工業数学Ⅰ・Ⅱ、工業物理学Ⅰ・Ⅱ、基礎製図、木材加工概論、木材加工Ⅰ・Ⅱ、金属加工Ⅰ・Ⅱ、中等技術科教育法Ⅰ～Ⅳ、職業指導、工業科教育法Ⅰ・Ⅱ、技術・工業と情報、応用情報処理Ⅰ、栽培、電気回路



がっつり英英辞典引いています

英語を学ぶおもしろさや奥深さを伝えよう。

英語教育の理論と実践、英語学、英米文学文化についての多様な科目が体系的に配置され、基礎から高度な専門性へと段階的に学ぶことができます。高度な英語運用能力を有し、英語に関する素養と豊かな人間性を備えた英語教師を育てることが目標です。

4年間の学び

1年次には主に英語運用能力を高めるための科目と、英語学、英米文学文化、英語教育の基礎を学ぶための科目を履修します。2年次には、教職に関する科目（英語科教育法など）の履修が始まります。これらの科目は3年次も引き続いて履修し、中学生、高校生に英語を学ぶ楽しさを伝え、彼らの英語学習を適切に援助するために必要な知識や指導技術を学びます。授業中にはグループで意見を交わしながら英語教材を作ったり模擬授業を行ったりします。また、英語学や英米文学文化の授業も引き続き履修し、より専門的な内容を学び、英語という言語や英語圏の文化についての教養を深めます。例えば、英語という言語の仕組みや歴史について学んだり、文学や映画を題材に、異文化の成り立ちを読み解く力をつけたりします。3年次には附属学校での教育実習があり、それまでに学んだ知識や技術を生かして実際に中学生、高校生を相手に授業をします。4年次には卒業研究に取り組みます。英語学、英米文学文化、英語教育の3分野の中から1つを選び、自ら決めたテーマのもと、4年間の学びの集大成として英語で卒業論文を書き上げます。また、希望者には4年次にも教育実習の機会が用意されています。学生生活を通して、外国語や外国文化を学ぶことに粘り強く努力し、他者理解に向けて自らを開こうとする人になって欲しいと考えています。

先輩からのメッセージ

私は中学生の頃から教員を志し東京学芸大学に入学しました。英語を専門教科に選んだ理由はシンプルで、英語の勉強が好きで子どもたちに学ぶ楽しさを伝えたいと思ったからです。この4年間、英語や英語圏の文化などをより深く

学んだり、英語教育の理論を学び教育実習等で実践したりすることで、英語教育の可能性や課題が見えてきて、英語教員になることへの決意がよりいっそう強いものになりました。英語科には、全国各地から集まったお互いを高め合える仲間や頼りになる先輩方、日本の英語教育界を支える個性豊かでおもしろい先生方がいて日々刺激を受ける毎日です。このような環境の中で、学ぶことを楽しむ姿勢を持ち続け、興味のあることを突き詰めていくことで有意義な大学生生活を送れることでしょう。（新船美佳 4年）



卒論ゼミで議論白熱

特色ある科目

英語読解、英会話、英作文、英文法演習、英語音声学概論、現代英語学、英語史概論、文法理論、イギリス文化概論、アメリカ文化概論、英米文学概論、英語科と情報、英語科教材論、英語教育の現状と課題、中等英語科教育法、第二言語習得、小学校英語教育概論



中等教育教員養成課程

書道



漢字研究Ⅰの授業では、楷書の臨書と創作の基礎について学びます。

書について学び、その魅力を伝える。

書の実技、歴史、理論、鑑賞、指導法について、幅広い視点から、深く学ぶことができます。書の歴史や文化、書の表現や教育についての総合的な力を身につけ、高度な専門性と豊かな人間性を備えた高等学校芸術科書道の教員を育てることを目標としています。

4年間の学び

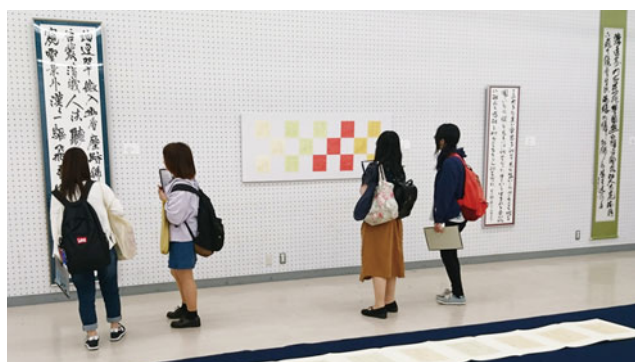
1年次には、書や書写・書道教育の基礎について学ぶ科目、書道実技の技能を高め、書道史についての理解を深める科目、日本文学や中国文学、国語学の基礎を学ぶ科目を履修します。2年次には、書道実技や書道史、書の鑑賞に加え、書道科教育法など、書写・書道教育の理論や指導法について学ぶ科目の履修がはじまります。また、国語の各分野についても、演習の授業を通じてさらに深く学んでいきます。3年次の春学期には、教育実習の事前指導がおこなわれます。秋学期には附属学校での教育実習があり、それまでに学んだ知識や技能を生かして、高等学校芸術科書道や中学校国語科の授業を、実際の生徒を前にしておこないます。また、卒業研究（作品制作と卒業論文）に向け、作品制作や学術研究の方法を学ぶ科目の履修がはじまります。4年次には、卒業研究に取り組みます。卒業研究は、作品制作研究と卒業論文の執筆からなり、4年間の学びの集大成として、「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の3分野の作品制作と、書写・書道教育や書学・書道史についての論文執筆をおこないます。授業での学びや、授業外での学書や作品制作を通して、書の文化や歴史、書の表現や教育について、幅広い視点から深く学び、子どもたちや社会に向けて書の魅力を伝えることができる人になってほしいと考えています。

先輩からのメッセージ

書道について、実技・歴史・理論・鑑賞・指導法など、幅広い視点から、深く学んでいます。例えば、漢字仮名交じり研究の授業では、多くの作例とともに漢字仮名交じりの書の変遷を辿り、実際に展示会に足を運んで複数

の観点から作品を鑑賞した上で、自分の作品づくりに取り組みました。また、3年生の教育実地研究では、書道・書写のそれぞれの分野で、授業づくり・授業・授業の振り返りをひと通り経験し、幅広い視点からの学びを生かすとともに、今後の学びの課題を見つけることができました。4年生では、今までの学びの集大成として卒業論文と卒業研究に取り組みます。大きなやりがい、貴重な経験をえられる素敵な専攻で大学生生活を送りませんか。

（森田瑞穂 4年）



日頃の学びの成果を学内の展示施設で発表します。

特色ある科目

書道科カリキュラム・評価論、書道科教材論Ⅰ／Ⅱ、書鑑賞教育研究、書道史研究Ⅰ／Ⅱ／Ⅲ、漢字仮名交じり研究Ⅰ／Ⅱ、漢字研究Ⅰ／Ⅱ／Ⅲ、仮名研究Ⅰ／Ⅱ、中学書写B、中国古典文学概論、中国古典演習A／B、日本文学史Ⅰ／Ⅱ、古典文学演習E～I



特別支援教育教員養成課程

特別支援教育



特別支援教育研究法の授業での聴力検査実習の様子

「子どもを支える強い人になる」

障害のある子どもの教育や発達について学べるよう、高い専門性をもつ教員による少人数での指導が行われています。C類の学生は、温かい雰囲気の中で理論と実践を学ぶことができ、卒業後は高い専門性を備えた教師や専門家あるいは研究者として全国で活躍しています。

4年間の学び

【特別支援学校教諭になるなら、東京学芸大学】

C類では、1年生で「特別支援教育概論」などの特別支援教育に関わる基礎的内容を学習するとともに、学校見学などを通じて障害児教育の実践について学びます。2年生以降は聴覚障害、言語障害、発達障害、学習障害の各専攻に分かれて、「指導法」や「心理学」など、それぞれの障害の特性に関するより専門的な内容を学びます。また3年生の秋学期以降は、各研究室のゼミに参加して卒業研究に向けての準備を開始します。さらに春学期の附属学校における教育実習とともに、秋学期には附属特別支援学校や都立ろう学校での教育実習を行い、実践の力を磨いていきます。4年生になると教員採用試験に向けて勉強に励む学生が多く、卒業研究とあわせて忙しい1年を過ごします。卒業時には、小学校教員免許状（小免コースの場合）と特別支援学校教員免許状（聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱の4領域）の2種類の教員免許を取得することができます。学生によっては、中学校や幼稚園の教員免許の取得もめざしている者もいます。C類は卒業に必要とされる単位も多く、近隣の特別支援学校等での教育支援やボランティアに参加することも多いため忙しい4年間となりますが、その分、大学生生活は充実したものとなるでしょう。

先輩からのメッセージ

C類特別支援教育専攻の特徴は3つあります。1つ目はさまざまな障害種について専門性の高い授業が受けられることです。先生方の丁寧な指導と、実践を取り入れた授業により、障害をはじめとする教育全般の知識を深めることができます。2つ目は実際に子どもと関わる機会が多くある

ことです。C類の学生の大半が、障害をもつ子どもと交流するボランティア活動や臨床活動に参加していて、楽しみながら子どもとの関わり方を学んでいます。3つ目は1学年の人数が比較的少なく、学年全体として仲が良いことです。同学年だけでなく、先輩・後輩とのつながりも強く、学校生活や進路の悩みを相談したり、特別支援教育について熱く語り合ったりすることもできます。

この学芸大学のC類で共に学んで、私たちと一緒に日本の特別支援教育を支えてみませんか？（宮田彩花 4年）



特別支援教育演習科目での文献購読の様子

特色ある科目

特別支援教育概論、聴覚言語障害心理、生理・病理 A、聴覚言語障害心理・生理・病理 B、知的障害心理・生理・病理、肢体不自由心理・生理・病理、病弱心理、生理・病理、聴覚言語障害教育学 A、聴覚言語障害教育学 B、知的障害教育学、肢体不自由教育学、病弱教育学、特別支援教育研究法など。



養護教育教員養成課程

養護教育



小学校での保健指導の様子

子どもの健康な未来をつくる養護教諭になろう。

子どもの健康支援のエキスパートとなる養護教諭を養成しています。そのために、健康に関する幅広い学問的基礎と養護実践の基礎を学び、実習などを通して実践力を培います。さらに、スクール・ヘルスケアを多角的に捉える視点とマネジメント能力を育みます。

4年間の学び

1年次には、公衆衛生学や生理学など、子供の健康課題を見つけ、対処していくために必要な科目や、学校保健、健康教育、養護教諭の専門科目等の、基礎となる部分を学びます。2年次には、1年次で学んだことをベースに臨床医学・看護学などの科目を履修します。これらの科目は3年次にも引き続いて履修し、養護教諭として健康面から子供のケアをするために必要な、知識や技術を学びます。例えば保健だよりを作成したり、保健指導案とその教材を、グループで意見を交わしながら作成し、実際に幼稚園児の前で指導したりします。また、保健科の免許を取得するための保健科教育法の履修も始まります。3年次には、フィジカルアセスメントや救急処置の理論と演習など、より専門的、実践的な内容を学びます。さらに、附属学校での養護実習があり、それまでに学んだ知識や技術を生かして実際に小中学生を相手に、保健指導や一日保健室経営をする機会があります。加えて保健センター実習、病院実習もあり、学校以外の保健や健康サービスの実際について学びます。4年次は、選択で公立小中学校での養護実習、保健科の免許を取得予定の人は保健科実習があります。また4年間の学びの集大成として、自ら決めたテーマのもと卒業論文を書き上げます。学生生活を通して、養護教諭として、健康面から子供のケアに携わる人、学校や子供の健康課題解決のために、知識と技術を活用できる人になって欲しいと考えています。

先輩からのメッセージ

D類養護教育専攻では、教職科目や専門科目の授業では知識や理論を得るだけでなく、少人数制という特色を生

かし、考えを広げ、深めながら学びを自分のものにすることができます。教員養成課程として、養護“教諭”としての視点を深められることはもちろん、病院実習等によって学校外から子どもをみるという視点も育めます。また、学生の人数が少ないからこそ、先生方は、とても親身にご指導して下さいます。近年、同窓会が発足し、卒業生とのつながりも強くなり、先輩方から様々なお話を伺う機会が増え、刺激を受けています。このような仲間や先生方、先輩方に恵まれた環境のなかで、ぜひ一緒に養護教諭を目指しましょう。(穂坂侑子 4年)



看護学演習の様子

特色ある科目

学校保健基礎セミナー、養護概説、学校安全と危機管理、健康と栄養、人間の性と健康、救急処置の理論と演習、学校看護学理論と演習Ⅰ～Ⅳ、健康教育概説、小児思春期保健学、歯科保健、養護実践学、健康相談活動の理論と方法



Gakugei

教育支援系

コースの特色

教育支援課程《E類》

教育支援専攻

- 50 生涯学習コース
- 52 カウンセリングコース
- 54 ソーシャルワークコース
- 56 多文化共生教育コース
- 58 情報教育コース
- 60 表現教育コース
- 62 生涯スポーツコース



教育を支援するスペシャリストをめざす



教育支援系（課程）の目的

日本の社会や教育は、今、大きな変革期を迎えています。情報化、グローバル化が進む現代社会の中で、教育の課題も複雑化・多様化しています。こうした中で、学校と社会が一体となって教育をすすめていくために、教育マインドと様々な専門性を持つスペシャリストが連携しつつ、教育の営みを幅広く支援していく必要があります。

教育支援課程は、変革期の真ただ中にある教育現場のさまざまなニーズに応えうる人材の育成を目指しています。教育の基礎知識と教育支援の専門知識、さらに協働する力やネットワークを形成する力を習得することを通じて、学校の外部にあって学校現場と協働し、様々な現代的教育課題の解決を支援する意欲と能力を備え、自ら考え行動できる教育支援職を養成することを目的にしています。



東京学芸大学ならではのポイント

教育支援とは、学習者（子どもなど）を支援する場合と教育者を支援する場合の2つを含みます。学びに関わるさまざまな人々へ働きかけ、補助したり、連携したり、協働したりして、教育活動の質を維持・改善する一連の活動を指します。新しい時代の教育は、連携と協働がキーワードです。子どもを地域・社会全体で育むこと、教育を通じた地方創生や地域づくり、教育を支える市民と専門職の育成などといったすべてのことがらに、教育支援は関わります。

東京学芸大学の教育支援課程は、全国の教員養成系大学・学部にも先駆けて初めて設置された、次世代の教育と社会を担う人材養成をめざす課程です。本課程では、学校と連携し協働して教育にたずさわる教育支援職を育てるため、それぞれ学びたい領域や高めたい専門性に応じて、生涯学習、カウンセリング、ソーシャルワーク、多文化共生教育、情報教育、表現教育、生涯スポーツの7コースを設置しました。卒業後、めざす仕事について詳しく知りたい方は、各コースのページをご覧ください。



カリキュラムの特色

それぞれのコースの特色に応じた専門的な学びとともに、教育支援人材として教育の基礎理論と教育支援の専門知識、ならびにチームアプローチ力・協働力・ネットワーク力などの習得を目指したカリキュラムが組まれています。

課程共通科目の「教育支援概論」「教育支援演習」では、教育支援の基礎的な知識の獲得と、チームアプローチ力を育成します。また、様々な教育現場をフィールドにして高度な実践力を身につけるために、コース別選択必修科目として、フィールド系科目が開設されていることも特色のひとつです。さらには、「教育コラボレーション演習」「教育ネットワーク演習」「教育マネジメント演習」など、具体的な教育課題にチームで能動的に取り組み、解決に向けて考えを深め、活動することを通して学ぶ科目も用意されています。



めざす仕事

将来、学校や地域、教育行政、教育関連企業、教育関連非営利組織等の場で教育支援人材として活躍することを期待しています。例えば、子どもや学校を支えるカウンセラーやソーシャルワーカー、生涯学習・社会教育施設職員、教育情報システムの開発者、多文化共生教育に関わる教育支援職員、劇場やイベントなど芸術表現活動に関するスタッフ、スポーツ指導者・関連団体職員、教育・研修関連の民間企業スタッフなどです。

詳しくは、各コースのページを参照してください。

教育支援系（課程）

生涯学習コース 生涯学習サブコース／文化遺産教育サブコース

地域や職場、公民館・図書館・博物館、学校などにおいて互いにつながりあい広がる多彩な市民学習活動を支援する人材、および文化財とその保存に強い興味と関心を持ち、その教育的活用に意欲的な人材の養成を目的としています。

【◆公民館職員 ◆図書館司書・学校司書 ◆博物館学芸員 ◆文化財担当職員など】

カウンセリングコース

学校現場や社会で生じている心の問題に対応するために必要な心理学の理論や方法を学び、専門的な心の支援を実践する力を持った人材の養成を目的としています。

【◆スクールカウンセラー ◆児童相談所児童心理司 ◆家庭裁判所調査官など】

ソーシャルワークコース

社会福祉の専門的知識と技術を持って、学校をはじめとする関連領域の専門家と協働しながら、児童、生徒、家族および関係者に対するソーシャルワークを実践できる専門的な人材の養成を目的としています。

【◆スクールソーシャルワーカー ◆福祉事務所・児童相談所相談員 ◆医療ソーシャルワーカー ◆コミュニティワーカーなど】

多文化共生教育コース 多言語多文化サブコース／地域研究サブコース

グローバル化による多文化共生社会の進展に伴って増加しつつある日本の外国人や在外日本人に対して、学校等と協働して教育上の支援をしたり、海外において様々な教育支援活動をする人材の養成を目的としています。

【◆JICA・ジェトロ等国際機関職員 ◆日本人学校教職員 ◆外国人支援団体等職員 ◆多文化共生教育関連企業など】

情報教育コース

教育の情報化と情報通信技術（ICT）の進展に対応して、情報科学およびICTに関する専門的な知識とスキルをもとに、情報教育や教育の情報化に貢献できる人材の養成を目的としています。

【◆ICTコーディネーター ◆ICT支援員 ◆教育ICT関連企業など】

表現教育コース

芸術表現に関する理論と実践的経験を学び、教育を含む社会的なコミュニケーションの場で応用できる人材の養成を目的としています。

【◆演劇・芸術系ワークショップ・ファシリテーター ◆劇場・文化ホールマネージャー ◆映像・広告等制作管理者など】

生涯スポーツコース

社会の中での多様なスポーツの実践を支え、体力づくり、競技力の向上、健康づくり等を担う専門的な人材の養成を目的としています。

【◆スポーツ指導員 ◆スポーツ関連団体・行政職員 ◆スポーツ教育関連企業など】



教育支援課程

生涯学習



学校図書館で中学生と過ごしながら、主体的な学びを支える力を育てます

「学び」をつなぐコーディネーターになる。

だれもが学び成長することができる生涯学習社会をめざして、地域や学校などさまざまな場面で、人と人、人とモノ、過去・現在・未来をつなげ、人々の学びあいを支える人を育てます。2年目からは「生涯学習サブコース」と「文化遺産教育サブコース」に分かれ、さらに専門的な力量を培います。

4年間の学び

1年次には、生涯学習をめぐる考え方や現代社会における課題、実際の取り組みなど、基本的なことについて学びます。2年次に進級する際に、「生涯学習サブコース」と「文化遺産教育サブコース」に分かれます。

○生涯学習サブコース

子ども・おとな・高齢者など多様な世代や状況にある学習者の支援、学習活動の組織化、地域教育などについて学びます。また、生涯学習を支える条件や環境整備、法制度、公民館・図書館・博物館などの生涯学習施設、専門職の役割に関しても学んでいきます。3年次からは、「社会教育」「図書館」「博物館」の3つの分野から主専攻・副専攻を選択し、より専門的に学びを深めていきます。4年次には卒業研究に取り組み、卒業論文を執筆します。

○文化遺産教育サブコース

文化遺産の保護・保存とその活用を行っていくために必要な知識と技術が学べます。文化財科学、考古学、保存科学、美術史の4分野を中心に、文化財の調査・研究法、保存・修復法について専門的知識と技術を学んでいきます。3年次の演習を経て、4年次にはそれぞれのテーマを定めて卒業論文を執筆します。

いずれのサブコースも、現場や現物に実際に触れ、自分たちでも実践する能動的な学習方法を多く取り入れています。

先輩からのメッセージ

私は文化遺産教育サブコースに所属しています。個々の文化遺産がどのような特性を持ち、どのように残し、伝えていくかを日々考えています。また、文化遺産に関する授業以外にも、社会教育主事と学芸員の資格取得を目

指して社会教育学、博物館学を学んでいます。人の生涯の中で「学び」はあらゆる場面に散らばっています。そしてそれらの「学び」は人と人、モノと人とのつながりの中で生まれます。学びをより良いものにし、誰でも何処でも学びたいときに学ぶことができる環境を作っていくために、どのような支援をしていくべきか。授業を通して、たくさんの人と意見を交わし実践的な取り組みをしていく中で私たち自身も学びを深めています。

(羽生彩香 3年)



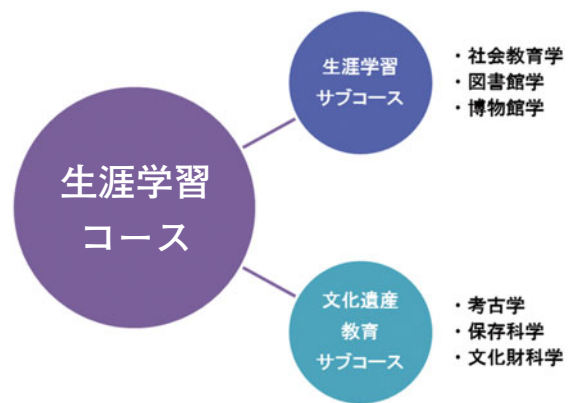
考古学実地研究の授業は室内での実測技術や野外での測量技術を学びます

特色ある科目

現代社会と生涯学習、生涯学習とキャリア形成、社会教育実習、地域図書館経営論、子ども図書館サービス論、学校図書館サービス特論、生涯学習社会と博物館、博物館学基礎論、博物館実習、文化遺産教育と考古学、文化遺産と保存科学、保存科学実地研究、文化財科学概説、文化財分析化学実験、文化遺産教育フィールド演習

めざす仕事

生涯学習コース卒業後は、公的な立場で市民の学習活動を支援する専門職（公民館職員、図書館司書、学校司書、博物館・美術館学芸員、社会教育主事、自治体生涯学習・文化財担当部署職員等）をはじめとして、自治体や生涯学習関係施設・団体、大学・専門学校等教育機関、教育・研修関連の民間企業、民間企業立の博物館・美術館、文化財調査研究機関等さまざまな職場での活躍が期待されています。本学で生涯学習・文化遺産教育について学び、専門職として活躍している先輩を紹介します。仕事の内容ややりがい、大学で学んで役に立っていることなどについて伺いました。



日野市立中央図書館

沖田彩花 さん (2019年3月卒業)

私は2019年4月から、日野市立中央図書館で働いています。中でも受入業務の担当になり、本などの資料を図書館で貸出できる状態にするための仕事をしています。もちろん、カウンターに立って本の貸出など、利用者の方と直接接する仕事もあります。図書館には毎日年齢も立場も様々な人が来るため、大学で生涯学習を学ぶなかで得てきた、様々な世代や立場の方と関わってきた経験が活かされていると感じます。また、図書館は図書館だけで存在しているのではなく、地域の他の施設や人と協力し合っていくことが重要なのだと改めて実感しています。これからも、図書館学を始め、大学で学んできたことを活かしていけるよう努力していきたいと思っています。



佐賀市役所企画調整部三重津世界遺産課

古賀早也香 さん (2015年3月卒業)

私は、2015年に世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」の構成資産のひとつである「三重津海軍所跡」の普及・啓発等の担当をしています。教材の制作や啓発イベントの企画では、一般の方に三重津海軍所跡をいろいろな視点から知っていただけるように、三重津海軍所跡の価値だけでなく、調査研究や保存に関する内容を盛り込んでいます。学芸大で、考古学、保存科学、文化財科学など幅広い分野を学び、様々な視点から広い視野で文化財をとらえるための下地を築くことができたからこそ、保存方法や材質の分析など、一般的にはあまり知られていない側面から三重津海軍所跡にアプローチし、普及・啓発に活かすことができていると感じています。



東京都江戸東京博物館分館江戸東京たてもの園

高橋英久 さん (1995年3月卒業)

就職の門戸が狭いと言われる博物館学芸員を夢見て入学した学芸大。学芸大の博物館研究の特色である地域博物館論や博物館教育について、先生や学友と学びあい、語りあったのが昨日のことにように思い出されます。入学当時は「ワークショップ」という言葉もあまり聞き慣れない時代でしたが、生涯学習の一つとしての博物館教育が熱を持って語られ始めた頃でした。学芸大では先進の博物館や美術館でのさまざまな活動を見学しましたが、その教育的潜在力を高揚感を持ちながら実感していました。いつでも誰でも訪れることができ、学び、楽しみ、時に自らを確認できる場としての博物館の存在意義を学ぶことができました。社会のあり様も変化していますが、博物館がモノや事象を多くの人に発見や驚きをもって伝える場、魅力的な学びの場となるよう努めていきたいと思っています。



川崎市児童家庭課

高野由麗香 さん (2019年3月卒業)

私は、川崎区役所田島地区健康福祉ステーションの児童家庭サービス担当として現在働いています。児童家庭サービス担当の主な業務内容としては、保育園入所の案内やひとり親家庭への金銭的なサポートとして、児童扶養手当に関する案内などがあります。私は大学で、社会教育学を専攻し、実習やボランティア、ゼミ活動を通して、年齢や性別、職種などが異なる様々な人々と交流しました。そこで、あらゆる世代の人々と関わることでできる仕事は何かを考え、市役所の職員として働くことを決めました。児童家庭課には、複雑で辛い状況におかれている人が相談に来ることもあります。そうした時に、大学で培ったコミュニケーション能力で、対応、サポートを行っていきたいと思っています。





教育支援課程

カウンセリング



平成 31 (令和元) 年度 1 年生全員集合！ 将来のカウンセラーになる「たまご」たちです。

心の声を聴くカウンセラーになる。

人々の心を支え、心の回復や成長の手助けをするカウンセラーは、学校や地域社会に欠かせない存在となってきました。本コースでは、臨床心理学・カウンセリングを専門として教育と社会に貢献する人材を育てます。悩みや苦しみを抱える人に寄り添い支援する技術をもった専門家になるために学びます。

4年間の学び

カウンセリングコースでは、公認心理師（国家資格）を養成するための学部カリキュラムに基づき、教育を行っていきます。1年次には、臨床心理学概論、心理学概論、教育・学校心理学、発達心理学などの授業を通して、心理学・臨床心理学の基礎を学ぶとともに、心理学統計法など心理学研究に必要な基礎学習を開始します。2年次になると、心理学的支援法、福祉心理学、障害者・障害児心理学などで支援の基礎となる態度を実践的に学ぶとともに、心理学研究法・教育・心理データ解析法などを通して、データ解析・質問紙調査等の技術も学びます。3年次になると、ゼミを選択し、自分の関心の高いテーマによる研究を開始します。さらに公認心理師の職責、心理的アセスメント、健康・医療心理学、精神疾患とその治療、学習・言語心理学など専門的な授業が展開されます。4年次にはこれまで学んできた心理学研究法を用いて1年かけて卒業論文に取り組みながら、心理実習の授業を通して臨床現場の見学実習を行います。このように、カリキュラムは1年次から4年次まで体系的に組み立てられています。臨床心理学を基礎とする支援に関する技術を学ぶとともに、基礎心理学に基づいた研究法の授業も充実しており、「心の声を聴くことができること」と「論理的な思考力」とを両立するカリキュラムとなっています。

先輩からのメッセージ

E類カウンセリングコースでは、スクールカウンセラーとなって、生徒の心に寄り添うための授業が多く開かれています。具体的には1年次から、心理学の基礎的な理

論に加え、カウンセリングに必要な知識・技術についても学ぶことが出来ます。また、心理支援について学びを深めるためのフィールド（アルバイトやボランティア）を先生や先輩が紹介してくれることもあります。もちろんスクールカウンセラーの他にも、病院や福祉施設、裁判所などでも心理職は必要とされています。東京学芸大の先生の専門分野はとて幅広いため、そのようなお仕事をを目指す方にもEカウでの学びは実り多いものになると思います。皆さんの入学を心よりお待ちしております。

（牛島あやの 大学院修士1年）



箱庭療法の学習風景

特色ある科目

公認心理師の職責、心理学概論、臨床心理学概論、心理学研究法、心理学実験、発達心理学、障害者・障害児心理学、心理的アセスメント、心理学的支援法、健康・医療心理学、教育・学校心理学、司法・犯罪心理学、産業・組織心理学、精神疾患とその治療、心理実習など

めざす仕事

カウンセリングコースの学生は、専門家になるために公認心理師（国家資格）などの取得をめざし、次のような仕事で活躍します。

- ・学校（教育委員会）や教育相談所に所属し、不登校、いじめ、発達障害、人間関係の問題等に対して専門的な支援を行うスクールカウンセラー、教育相談所相談員等。
- ・家庭の問題、虐待、非行などの問題に対して、心理学の専門性を活かして支援を行う児童相談所児童心理司・家庭裁判所調査官・法務教官・保護観察官等の公務員。
- ・心身の不調や障害を抱える人に対して、医療機関において臨床心理業務を行う専門職。



面接技法の学習風景

スクールカウンセラー

金田桃子 さん

私は、公立の小中学校でスクールカウンセラーをしていました。スクールカウンセラーの仕事は、学習や対人関係で困っている子どもや、保護者・教師からの相談を受けることです。カウンセラーとして、言葉や数で表すことができない子どもの辛さや子どもを育てる大人の苦しみに寄り添い力になれることが、「学校」の中にある心理の専門職としてのやりがいであると感じてきました。大学・大学院時代の、自分自身の「体験を通した」学びが支えになってきたと思います。今年から区の常勤心理職として仕事をしていますが、これまで「学校」で子どもや保護者・教師などの力動を肌で感じてきたことが、自分の原体験となって生きていることを感じています。

(2007年度卒業生)

総合病院のカウンセラー

高橋香織 さん

私は、臨床心理士として総合病院に勤務しています。医師、看護師とチームを組んで入院患者様の心のケアを担当しています。患者様やそのご家族様の治療に関する不安を和らげ、治療に関する意思決定や今後の生活の在り方について一緒に考えていくことが主な仕事です。困難に直面することも多々ありますが、目前の人に誠実に関わり、その方の個性を大切にしながら心理面のサポートをすることなど、学生時代に先生方に教わった多くの事柄が今の私の仕事の支えになっています。患者様の身体の状態が思わしくない時でも、今できることに目を向けることができ、その方らしさを表出できた時、臨床心理士としてのやりがいを感じられます。

(2005年度卒業生)

子育て支援カウンセラー

響江吏子 さん

私は、市の児童家庭課の中にある家庭児童相談室というところで、子育てや児童虐待に関する相談を受ける家庭相談員として働いていました。子どもが安全・安心な環境で育つことをめざして、家族や保育園・学校の先生・地域の人から、時には子ども本人から、相談を受けます。その心配や悩みに耳を傾け、絡み合う問題を整理し、解決の糸口を一緒に探す仕事です。心の痛む人生に多く出会いましたが、大学・大学院で養った、大きく広い視点と、相談者の辛さを受け止める心の力が助けとなりました。現在は、公立小中学校でスクールカウンセラーをしています。前職の児童福祉分野での経験は、学校では見えにくい家庭背景の理解を深め、連携した支援をする上で役立っています。

(2009年度卒業生)

家庭裁判所調査官

古賀真理子 さん

私は、家庭裁判所で家庭裁判所調査官という仕事をしています。家庭裁判所は、家庭に関する問題を解決し、非行を起こした少年の処分を決める場所です。家庭裁判所調査官は、心理学等の行動科学の知識を用いて、法律的な視点だけではなく、事件の背後の人間関係や環境等を踏まえて調査を行い、問題解決の手助けをします。家族や少年の変化といった、人が第一歩を踏み出す瞬間に携わることのできる点が仕事のやりがいの1つと感じています。家庭裁判所調査官の仕事をする上では、大学時代に学んだ心理学や面接技法の知識等が基礎となっているほか、教育学や福祉学等の勉強もできる環境で視野を広げられた経験も役立っています。

(2006年度卒業生)



教育支援課程

ソーシャル ワーク



大学での講義や演習とともに、学外での実習や活動などを通して実践力を高めます。

人々のウェルビーイングを増進する。

教育機会を十分に保障されない子どもたちや家庭などを支援するスクールソーシャルワーカーをはじめとして、貧困、病気、障害、虐待など困難な状況に置かれている人々の最善の利益を守れるように支援する社会福祉の専門家を育てます。

4年間の学び

本コースは、人々のウェルビーイングの増進を目指し、ソーシャルワークの専門的知識や技術を持って、教育を初めとする関連領域の専門家と協働しながら、社会正義や人権尊重といった理念を体現できる社会福祉の専門家の養成を目的としています。その目的を達成するために、本コースでは、次のような授業を開設しています。

- 個人、家庭、社会等を理解するための授業
- 社会問題を理解するための授業
- 社会福祉政策・制度を学ぶ授業
- 支援を展開するための知識や技術を学ぶ授業
- 多様な専門職と協働することを学ぶ授業

1年次は社会福祉やソーシャルワークに関する基礎的な事項を学び、2年次以降徐々に専門的知識とソーシャルワーカーとしての基礎的技術を身につけていきます。3年次には約1か月間の現場実習を行い、実践力を養います。また、6名の教員の研究室に分かれて社会福祉の研究方法を学びます。4年次には、各々の関心領域で卒業研究・論文作成に取り組みます。加えて、スクールソーシャルワーカーを目指す学生はスクールソーシャルワーク実習を行います。4年間を通じて無理なく、着実に社会福祉の専門家としての力を養います。

このコースでは、国家資格の社会福祉士試験受験資格の取得と、日本ソーシャルワーク教育学校連盟認定スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程修了者の認定を受けることができます。（定員20名。）

先輩からのメッセージ

このコースでは、講義や演習を通して、相談援助の専門

職（ソーシャルワーカー）に必要な理論や方法を学びながら、社会福祉を実践する力を養うことができます。ソーシャルワークの専門性をはじめ、児童・高齢者・地域・障害者・医療などの幅広いフィールドから、福祉について学ぶことが特徴だと思います。

3年次に行われるソーシャルワーク実習では、実際に現場で働くソーシャルワーカーのもとで、福祉の現状について体系的に学び、少人数で構成されたゼミでは、興味や関心のある分野について学びを深めていきます。

（遠藤さとみ 4年）



演習の風景：課題の調べ学習や発表を行います。

特色ある科目

ソーシャルワークコース入門セミナー、社会福祉原論、社会福祉演習、ソーシャルワークと教育支援、ソーシャルワークとキャリア形成、スクールソーシャルワーク論、多様な学びと子ども支援

めざす仕事

- 子どもや家庭を支える仕事（スクールソーシャルワーカー、児童養護施設職員、母子生活支援施設職員、児童発達支援センター職員等）
- 福祉政策に基づく制度を構築・運営する仕事（国家公務員・地方公務員）
- 児童相談所や福祉事務所等で公的に支援する仕事（地方公務員）
- 司法に関連して人の権利を擁護する仕事（家庭裁判所調査官、保護観察官等）
- 病気に苦しんでいる人や家庭を支える仕事（医療ソーシャルワーカー等）
- 困難な状況に置かれている人々を支援する仕事（地域包括支援センター職員、特別養護老人ホーム生活相談員、障害者相談支援事業所職員等）
- 地域の福祉を増進する仕事（社会福祉協議会職員、NPO職員等）

八王子市教育委員会 スクールソーシャルワーカー

佐久間夏未さん

私の仕事

教育委員会の登校支援チームに所属し、市内小中学校や家庭に訪問して、主に不登校の子どもたちの支援を行っています。具体的には、子どもや保護者との面談、先生と保護者の関係調整、関係機関との連携等を行い、子どもを取り巻く環境の改善を支援しています。

不登校となる子どもたちの背景には、家庭環境や発達上の課題等、様々な問題が複雑に絡み合っている場合があります。そういった複雑な状況を整理し、学校や関係機関と連携して改善に向けた方針を検討し、支援に取り組んでいます。



仕事のやりがい

不登校になると、子どもが登校だけでなく外出を嫌がり、相談機関へ足を運ぶこと自体が困難になる場合もあります。そのような場合に、学校や保護者と連携して家庭訪問を行い、子どもと直接会って時には遊んだり何気ない話をしたりしながら、子どもたちが再び外の世界とつながるパワーを蓄える手伝いができることは、今の仕事のやりがいのひとつです。また、相談機関につながることに抵抗があるような保護者に対しても、学校と連携して必要なサービスを活用できるように支援することにもやりがいを感じています。

大学の学びとのつながり

専門職として採用されているため、大学で社会福祉士試験の受験資格を取得し、社会福祉士に合格していなければ、今の仕事に就くことは難しかったと思っています。講義や演習の授業、ゼミでの学びはもちろんのこと、見学や実習を通して福祉の現場で働くことについて考える機会を多く得ることができました。特に、スクールソーシャルワーク実習は、今の仕事につながる重要な経験でした。また、教育学部のため子どもに関わるボランティア等の情報を得やすく、様々な活動に参加できたことも良い経験となっています。



大学での学びを、社会で生かします。

船橋市立医療センター 医療ソーシャルワーカー

藤井宏之さん

私の仕事

私は現在、船橋市立医療センターという急性期病院で医療ソーシャルワーカー（MSW）として働いています。当院での治療を終え転院が必要な方、経済的に困窮している方、外国籍の方等に対し、社会復帰するために必要な支援を行っています。患者さん本人以外にも、援助の中心となって下さるご家族、他病院、市役所、地域包括支援センター等関係機関と連携を図っています。



仕事のやりがい

病院にいらっしゃる患者さんは傷病により弱っている方がほとんどです。中には生死に関わる状態の方もいらっしゃいます。ご家族もまた、病状や今後の生活について不安を抱いていらっしゃいます。そのような状態で面談を行うため、介入当初は緊張され、硬い表情がされている方がほとんどです。そこから話を重ねるうちに、緊張が和らぎ、笑顔で「ありがとうございます」と言っていた時、患者さんが元気になるお手伝いのできたのだと感じられます。

大学の学びとのつながり

私は大学卒業後、船橋市役所に就職し、生活支援課で生活保護のケースワーカーとして働いた後、部署異動で船橋市立医療センターに配属となりました。他にも市役所には数多くの課があり、どの分野の担当になるかわかりません。大学時代は福祉分野の中でも1つの分野に限らず、幅広い授業がありました。また、ゼミでも初めからテーマを狭めるのではなく、気になることについて自由に調べられたことが、知識の拡大につながったのだと思います。演習の授業も多くあり、社会福祉士国家試験に合格するための授業ではなく、実践力が身につきました。就職してから、大学で学んだ全てのことが現在につながっているのだと実感しています。



教育支援課程

多文化 共生教育



インドで、少数民族を対象としたシュタイナー教育の研修を受けました

グローバル時代を生き抜く力を磨き、共に世界を変えよう。

ボーダーレス化が進み、世界規模でヒト・モノ・カネ・情報が流動し、不安定で見通しの立たない現代社会。こうした時代に対応し、国の内外を超えて積極的にさまざまな人と交流しながら、新しい社会と教育を構築していく人材を育てます。社会や価値観の急激な変化を乗り越えさせる、基礎体力と発想力・想像力を共に鍛えましょう！

4年間の学び

このコースの特徴は①様々な分野で活躍する教員が幅広く学びを提供することのできる少人数での指導体制、②生きた言語を学ぶことができる多様な語学教育、③体験を通じて学ぶための学内外での実践活動を提供・奨励していること、などです。教員の専門は社会学、文化人類学、民俗学、人文地理学、国際政治学など、研究テーマはアジアや欧米の歴史・地理・言語・文学・思想・人権教育・マイノリティ問題などときわめて多様です。

①に関して、希望者は1年次からゼミに参加でき、教員が推進しているいろいろな研究フィールド（プロジェクト）で活動することができます。3年次には全員がゼミに所属し、卒業研究に向けた丁寧な指導を受けることになります。②に関しては、ネイティブによる授業や、外国語で発表する授業が用意されていますので、実践的な言語を幅広く学ぶことができます。またカリキュラム外で外国語の勉強会も開かれています。こうしたことに刺激され、1年生のときから海外に語学研修に行ったり、海外の大学のサマースクールに参加したりする学生も少なくありません。③では多文化共生教育に関わる現場を訪問する実習の授業も用意されていますが、この他に本コースの教員のネットワークを活かした海外研修や、国内でのボランティア活動にも参加できます。

なお、多言語多文化サブコースでは英語科の教員免許が、地域研究サブコースでは社会科の教員免許等が取得できます。

先輩からのメッセージ

皆さんは「大学卒業時の自分の姿」は想像できますか？
大学に入ってからの4年間を通して、やってみたいことや学びたいことにワクワクしている今の皆さんの気持ちを忘れず、大切にしたいです。同時に、これ

から出会う想定外の世界にも目を向け、「おもしろい！」と感じたことに全力で取り組んでください。

本コースでは、分野の枠組みを超えて、様々な社会・文化的側面に、幅広く、深く触れることができます。そんな自由な環境のなかで、自分の目で、学びたいと感じる世界に、思い切って飛び込んでください。

4年後、皆さんが今想像している以上に豊かな人に成長していることを楽しみにしています。

(岡田有咲 2018年度卒業生)

特色ある科目

多文化共生教育とキャリア形成、生態民俗論、多文化共生論概説、異文化理解教育演習、フィールドワーク方法



国際親善フットサル大会では十数カ国からの留学生と交流します

論演習、異文化コミュニケーション演習、日本語教育演習、多文化共生教育支援実習、英語応用Ⅰ～Ⅳ、初習外国語入門Ⅰ・Ⅱ、初習外国語応用Ⅰ・Ⅱ、初習外国語実践Ⅰ・Ⅱなど

めざす仕事

JICA・JETRO・国際連合等の国際機関の職員、国内外で多様な支援活動をしている NGO・NPO の職員、異文化理解の力をもつ英語科教員・社会科教員、日本の在外公館職員、他国の在日公館職員、外国人集住地域の自治体職員・国際交流協会職員、日本人学校等の在外教育施設の教職員、海外子女教育振興財団の職員、ジャーナリスト、語学を生かした旅行・観光関係サービス業、教育・学習支援業、国内・海外の各種メディア関連業、多文化共生社会の構築を目指す社会福祉事業・介護事業など

多文化共生教育コースの多様な学び

多文化共生教育コースでは、日本や外国について、文化や言語、物の考え方など様々な観点から学ぶことができます。交換留学制度を利用して海外で学ぶ者も多くいます。

私がこのコースに入学したのは、中高の英語の教員免許が取得できる上に国際的な視点を身に着けるための勉強ができると思ったからです。在日外国人児童生徒の問題について考える機会も多くありましたが、これからの時代はこの問題により一層真剣に取り組んでいくことが求められ、教育においてとても必要な学びを得ることができたと思います。



現在は高校の英語教師として教壇に立っています。大学生活で学んだことを生かし、多様な物の見方ができる教師になりたいです。

皆さんもぜひこのコースで学び、広い世界に目を向けてみませんか。

(柴山美千夏 2018 年度卒業)

私は、偏見を持たず様々な視点から物事を見ることをこのコースで学びました。文化人類学の授業や様々なフィールドワーク実習では、同じ社会に生きていても自分とは大きく異なった価値観を持つ人々との出会いに満ちており、それまで抱いていた固定観念を破壊され、あたりまえと思っていたことを学び直す機会となりました。

また、エジプトへ私費留学した際には、それまで持っていたイメージとの相違に衝撃を受け、社会問題の実情を目の当たりにするなかで、発展途上国の教育に問題関心を持つようになりました。現在私は通信制学校の教員として勤務しています。オンラインでの進路指導や地理歴史公民科の授業を行うほか、担任業務を通して外国に住んでいる日本人生徒や日本語が必ずしも母語ではない生徒の学習のサポートにも関わっています。多文化共生教育コースで学んだことは、様々なバックグラウンドを持った生徒に対応するうえでも大きな意味を持っていると思います。

(石野美悠 2018 年度卒業)



ギザのピラミット



本教室の李修京先生提供のシャルムエルシェイクと紅海

こんなところでも学んできました

韓国のソウル市立大学で日本語教育の実践を行なってきました

(影澤桃子 4 年生)



ソウル市立大学では各国からの留学生との出会いも豊富

フランスのオルレアン大学でコミュニケーションを学んでいます

(中山ロサレス聖彦 3 年生)



世界から集まった友人らと楽しく多文化学習中です

タイで日本人学校やチェンマイ大学をめぐり、教育支援の抱える問題と可能性を学びました。

(黒木春帆、永田もも、芳賀袖月、山田葉由子 1 年生)



タイ研修には先生方も多く参加し、たくさん教えて頂きました



教育支援課程

情報教育



コンピュータを用いた授業の様子

情報を科学し、未来を切り拓く。

新しい知識・情報・技術が、社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増している社会で生き、そして社会を創っていくための力を育てる情報教育と、教育効果をさらに向上させるために情報通信技術（ICT）の教育への活用が求められています。これらの教育を学校の内と外から支える人を育てます。

4年間の学び

情報教育コースでは、1年次にA類情報教育選修の学生と共に計算機システムの仕組み、プログラミングやアルゴリズム、情報工学・情報科学の基礎となる数学を学び、2年次以降、オペレーティングシステム、データベース、計算機ハードウェア、ネットワークシステムなど専門的な内容を学んでいきます。これらの専門科目は高校情報の免許科目にも指定されています。高校情報の免許を取得したい場合は、これらの科目と合わせて課程共通で置かれている免許取得のための科目や情報科教育法を履修します。

加えて、学校現場と協働して様々な現代的な教育課題の解決を支援できる人材を養成する教育支援課程の目的にそって、E類の他のコースの学生と共に教育支援の基本知識と方法論を学びつつ、情報教育と教育でのICT活用の支援について学びます。

3年次からは研究室に所属し、研究室それぞれの専門分野を学んで、4年次には卒業研究に取り組みます。研究室にはA類情報教育選修の学生と共に所属しますので、小学校教育に触れる機会も多くあります。

先輩からのメッセージ

情報教育コースでは、学校が抱える問題や教育現場への支援について情報教育の立場から幅広く学ぶことができます。また、これからの教育に必要な不可欠であるICT機器が整っており、学校現場でそれらを用いる際の支援方法を実践的に学べたり、授業での活用に関する最先端の研究を行ったりすることができます。専門的な学びとしては、1年次から体系的な授業カリキュラムが組まれていて、ソフトウェアやシステムの開発、プログラミング、ハードウェアなど情報科学・情報工学について学ぶとともに、それらを教育に適切に応用するための教育工学についても学ぶことができます。学科の人数が少ないので、先生方から直

接、具体的な指導を受けられるのも魅力の一つです。3年次から配属になる研究室は自分の興味関心をもとに選択でき、大学院生の先輩方との関わりの中で専門性を高めていくことができます。

実際に近隣の小学校にプログラミング教育の支援に行く機会があり、そこで働く先生や支援員の方との会話の中からもICT支援員やICTに精通した教員の必要性を強く感じました。ますます進展する情報化社会のニーズに応える学校教育を担う教員を支える立場で活躍したいという人、得た知見を元に直接教育に携わりたい人にとっても、このコースでの学びは充実したものになると思います。（松原未和 4年）



プログラミング教育の支援風景

特色ある科目

ソフトウェアシステムと教育支援、教育情報化支援教材論、情報教育とICT活用支援、情報社会と教育支援、情報教育フィールドワーク実習、情報科教育法、計算機システム概説、プログラミング、応用プログラミング、計算機ハードウェア、オペレーティングシステム、データベース、ネットワークシステム、HCI、知識処理、情報数学、数値計算、オートマトンと形式言語、情報システム設計

めざす仕事

- 最先端の ICT を活用した情報通信システムや教育用ソフトウェア、デジタル教材を開発し、学校の外から教育を支援する仕事（ヤフー、ジャストシステム、ソニー、大和証券等に就職しています）
- 教育現場における情報教育や ICT 活用を支援、指導する仕事（ICT コーディネータ、ICT 支援員等）
- 高等学校の情報科教員
- これからの情報教育や教育への ICT 活用を担う教育者を育てる仕事（大学院進学後に大学教員、企業研究者等）
※大学院は、教育支援協働実践開発専攻教育 AI 研究プログラムと、教育実践専門職高度化専攻情報教育サブコース（教職大学院）が主な学内進学先となります。

ヤフー株式会社

工藤くり子さん（2018 年度卒業）

私は、入学当初から就職を決めていたわけではなく、1、2 年生では教員免許を取得する予定で履修計画を組んでいました。しかし、教員志望者向けの授業と、情報技術の専門的な授業、またこれら以外の授業も受ける内に、エンジニアとして企業に就職したいと考えるようになりました。

3 年生で研究室配属されてからは、先生や先輩方にサポートして頂きながら、自分の学習したいことや研究したいことを自由に学ぶことができ、結果的に第一希望の企業から内定を頂くことができました。

社会に出る一歩手前である大学生活では“自分の道を自分で選んでいく”ということが特に大事になりますが、私は本学での 4 年間を通じ、教員・エンジニアだけでなく様々な選択肢を増やすことができました。そして、自分が興味を持ったことがすぐに学習できる環境であったため、そのたくさんの選択肢の中から納得のいく選択ができたと感じています。



卒業研究の成果についての学会発表

東京学芸大学 教育学研究科 教育支援協働実践開発専攻 教育 AI 研究プログラム

間淵皓介さん（2018 年度卒業）

「AI を活用して現在の教育をよりよくしたい！未来の教育を自分の力で創っていきたい！」E 類情報教育コースでの全ての経験が、私にそう思わせてくれたと確信しています。情報教育コースの授業では、教育支援のあり方や、教材開発だけでなく、プログラミングやソフトウェア開発など専門科目の授業も充実していました。授業を通して、ICT と教育支援が密接に結びついていることに気づき、また、自分のアイデアを形にする楽しさや、そのアイデアが教育に貢献できることの価値を知ることができました。さらに、3 年生から所属した研究室の活動の中で、高大接続改革や、ICT にとどまらず、AI までも教育に活用していこうという取り組みなど、今まさに教育が変わり始めていることを知りました。そして、そのような教育が変わりゆく時代に、自分が関わることの素晴らしさや、教育における AI の可能性を感じ、もっと学び、研究していきたいと思うようになりました。

このように、コースでの経験や活動を通して、プログラミングやコンピュータに関する ICT の知識や技術はもちろん、教育で今、何が求められているのかさえも知らない状態であった私が、目標をもち、大学院進学への道を考えるようになりました。大学院では、よりよい教育の実現や未来の子どもたちのために、「AI × 教育」について専門的に学び、さらに自分を成長させていきたいと思っています。

情報教育コースの目指すところ

ICT の発展と社会への浸透に伴い、教育においても情報化への対応が必須となってきています。次期学習指導要領では、情報活用能力を学習の基盤となる資質・能力として位置付けており、今後情報教育はますます重要になってくると思います。高校の普通教科情報は大きく構成が変わり、その内容を専門的に学んだ教師が必要となってきます。また、教師による ICT 機器の活用に加え、情報教育を円滑に行うためにも、児童生徒による ICT 機器の活用を日々の学びの中で行うことが求められてきます。これらの教育の情報化をより推進していくためには、児童生徒の発達や

学校文化に合った情報システムや、教育的にもソフトウェアとしても完成度が高いデジタル教材の存在が重要になります。そのため IT 系企業では教育の知見を持った、教材開発企業では情報通信技術を持った人材を求めるようになっていきます。さらに加えてますます重要になってくる人材が、教育と情報通信技術の両方の知見を有し、教師や他の教育支援者と協働して子どもたちの学びを作り上げていく人材（教育 × ICT 支援人材）です。情報教育コースでは、これら三つの職種の人材、そしてそれらの分野支える研究者を育てることを目標としています。



教育支援課程

表現教育



演劇、ダンス、音楽、映像、デザインなどさまざまな芸術ジャンルを複合的に学びます。

多様な表現活動を知り、教育の場を支援する。

高度情報化社会といわれる現代においてこそ、人と人が直接向き合うことの重要性が見直されています。このコースでは、さまざまな表現活動の学びを通じて、高いコミュニケーション能力を身につけ、教育の場を支援していくことのできる人を育てます。

4年間の学び

ライフスタイルが多様化した社会の中では、ひとりひとりが主体性を発揮しながら互いの個性を尊重して協働し、それぞれの想像力を生かすことが求められています。創造的なアイデアを提案し、他者にそれを理解してもらい、社会の中でいかにそれを実現していくかについて、芸術表現活動の実践や研究を通して学ぶとともに、そうした実践・研究を教育の場に生かす方法について学ぶことがこのコースの目標です。

このコースには、演劇表現、音楽表現、造形表現、身体表現、映像表現や言語表現について研究している専任教員が所属しており、それぞれの専門分野に関する講義や演習を行います。

1年次秋学期に開設される必修科目は、表現教育コースにおける学びの土台となるものです。ここでは様々な芸術表現活動の基礎について学ぶとともに、それらを広く教育の場に応用する方法を考えます。

2年次・3年次には、コース科目から各自の興味・関心に合わせたものを選択し、芸術表現活動のそれぞれの分野についてより専門的な事柄を学びます。また、3年次からは専任教員のいずれかのゼミに所属し、研究・実践を積み重ねます。

4年次には、コース科目から各自の興味・関心に合わせたものを選択し、芸術表現活動のそれぞれの分野についての学びを深めるとともに、大学での学びの集大成として「卒業論文」を執筆します。

先輩からのメッセージ

「表現教育って何をやっているの？」このコースにいと本当によく聞かれる質問ですが、大まかに言えば、芸術や表現活動全般について学ぶと共に、それらが教育や社会とどのように関わっているか、また関わっていくこと

ができるのかを考えるコースであると思います。そんな表現教育で私が学んだことの一つは、「受け入れる力」です。このコースでは実践も交え、本当に様々な芸術・表現活動に触れます。即興で演技をしたり、全て休符の“曲”を聴いたり、これまで縁のなかった表現についても多く学ぶことが、自分にない価値観や感性を受け入れ、視野を広げることに繋がっていると感じます。芸術・表現活動、またはそれらの持つ力に興味のある方には、面白い学びの場になるかもしれません。(中根和紀子 4年)



インプロ研究ではさまざまな即興表現を学びます。

特色ある科目

演劇と社会、映像リテラシー教育概説、音楽表現教育論、コミュニケーション・デザイン概説、コミュニケーション教育概説、パフォーマンス研究、インプロ研究、視覚文化研究、英米戯曲分析演習、日本戯曲分析演習、芸術教育基礎演習、映像芸術分析演習、舞台表現実践演習、演劇教育実践演習、ワークショップ実践演習、芸術家と教育支援、表現教育とキャリア形成

めざす仕事

表現教育コースの学生の進路は、芸術表現を活用した教育を支援する仕事（教育現場における「演劇」や「表現」などの授業を支援するファシリテーター等）、芸術表現活動に関する知識と実践力を活用して学校と学校外の組織とを連携する仕事（劇場、美術館、地方自治体等）、芸術表現活動を支援する仕事（文化財団、劇場、ホール、イベント関係の団体や企業等）、芸術表現活動の振興にかかわる仕事（芸術文化振興団体、広告代理店、出版社、メディア関連企業等）等、さまざまな場での活躍が期待されています。

プレーンバンク株式会社

宮崎紗也香 さん

教育に関する問題、現状や芸術表現について幅広く学びました。ジェンダーについても授業で学び、女性であっても活躍できる会社を探したいという思いで就職活動しました。芸術作品を多面的に分析する姿勢や、教育現場の問題などを知ったことで、物事を見る姿勢や自分の生き方を改めて考えることができたのです。この大学で学んだことで、子どもたちの将来に関わりたい、役に立ちたいという思いが生まれました。色々な会社を見ましたが、女性でも長く働くことができる教育系の会社を探しました。教育に対する思い、自分の生き方についてたくさん伝えたことで、女性でも活躍しやすい環境が整っている会社に就職することができました。この会社で進路指導のプロになり、様々な教育事業に関わりたいです。

東京メトロポリタンテレビジョン
(TOKYO MX)

大浦愛里乙 さん

芸術も教育もひとつの切り口からでは語れませんが、その中でも自分の携わりたい切り口を見つけ、また、友人や先輩後輩のまた別の切り口にも触れ合えるのがこのコースの素敵なおところだと思います。幅広い視野と、個性豊かな仲間が得られるのは自分の人生にとって大きな財産になります。自分のやりたいことを胸張って追い求めて、それぞれの形で社会の中に羽ばたいてください！

デジタルエージェンシー

安東咲 さん

感動とは何か。美しいから感動するんじゃない。怒りでもいい。心が震える事が感動だ。自分にとって心が震える事とは何か。粗削りでいいからとにかくやってみる。最初から完璧なわけがない。そんな4年間を過ごしました。ここは学ぶ事が多いです。自分が貪欲であれば。

画家

高橋つばさ さん

芸術も、教育も、すぐには答えの出ないもので、それを追いかけ続けることは時に、かっこよいことには見られないかもしれません。けれど大学は、それを追いかけ続けるタフネスというか平気さを培う場所であってほしいと思っています。



ワークショップのファシリテーションも学びます。

イベント・スタジオ企画運営

石川真由子 さん

東北各地を中心に音楽イベントの企画運営、スタジオ運営をしております hanauta 主宰の石川真由子と申します。演奏会は演奏家と場所とそこに集う人との関係性で成り立つ空間です。音楽やアート空間の演出にはその瞬時の把握能力や、バランス感覚がとても重要になってきます。様々な芸術分野の領域を横断したこの学科での試みや学びは、あらゆる企画のコーディネートや空間づくりにとても役立っております。学生時代からの遊びの延長のような一続きの日々ですので、思い切り挑戦しながら未来へつながる学生生活をお送りください。

アパレル勤務

三池友理子 さん

表現教育コースは、幼い頃から舞台が好きで、表現・芸術を全般的に学びたかった私にとってとても理想的な場所でした。表現とは奥が深く幅も広く、自分の興味が持てる場所を広げてくれるものだけという事を知り、今まで知り得なかった多くのことに挑戦し、活動しました。学芸大学の中でも専攻の幅が広い本コースでは、多ジャンルから自分が好きなことを見つけることが出来、実践できる場所です。自分が学びたいことがはっきりと定まっていなくても、多くの芸術に触れ、さらに教育という観点からも芸術を学ぶことで、具体的な将来の目標を見出すことが出来るはずです。それ故に就職先が幅広いということも魅力です。本コースにいるからには大学生活という将来を見定めるこの大切な時間に、多くの場所に足を運び、多くの芸術に触れ、多くのことに挑戦し、自分のやりがいを見つけて欲しいと思っています。

クラシックバレエ講師

谷添(旧姓福田)紗千 さん

クラシックバレエ講師をさせていただいております。大学時代はとにかく踊ってばかりの4年間でしたが、とことん踊りと自分と向き合わせていただいて今の自分があります。とてもとても貴重な日々でした。皆様が毎日楽しく充実して過ごせますよう、応援しています。



教育支援課程

生涯スポーツ



スポーツを自ら実践・指導できるスペシャリストの養成を目指しています。

支えよう、健康とスポーツ。

本コースでは、運動・スポーツを中心として地域、学校、家庭の連携を実現していける教育支援のコーディネート力と運動指導力を備えた人材の育成を目指します。

4年間の学び

本コースでは、スポーツが得意でスポーツ教育に興味・関心のある人たち、健康づくり・子どもの外遊び・スポーツの支援活動に関心をもっている人たち、運動が苦手な子どもたちへの支援に関心をもっている人たちにとって大切なことが学べます。

1年・2年次には広く教育支援、また学校スポーツ、生涯スポーツ、体育科教育学、スポーツ科学、健康科学、運動・スポーツ指導などについて基礎理論を学びます。2年・3年次では演習や実習形式の授業が徐々に多くなり、実験や指導の実践を通して実用的な知識や技能を習得することができます。また、2年次には体育科教育学、体育学、運動学、健康科学のいずれかの分野の研究室に所属します。3年次からは自分が所属した研究室の活動や指導教員との関わりの中で専門的な知識や技能を習得できます。4年次には研究室の教員の指導の下で科学的な卒業論文の執筆に取り組みます。

また、本コースでは追加して単位を修得する事で中学校・高等学校の保健体育科教員の免許を取得できます。ただし、教員免許取得は必須ではありません。

先輩からのメッセージ

生涯スポーツコース（以下生スポ）は、「スポーツ支援」をテーマに、生理学や運動学、心理学、教育学など、文理混合の視点から、より専門的にスポーツを学ぶ学科です。生スポで学んだ内容は、卒業してからはもちろん、大学生活において、競技者としてプレーする際にも活用することができます。そのため、学びが「理論」のみでなく、「理論+実践」によって深められ、身に付きます。

また、この学科に所属する学生は、教員免許を取得する者がほとんどですが、卒業後は教員だけでなく、企業や官公庁に就職する者や、プロ選手として活躍する者もいます。このように、学芸大学に在りながら、教員だけではない、多様な選択肢を持ちながら学びを深めることができるのが生スポの強みです。「将来、スポーツに関わる仕事がしたい」「スポーツに関わる仕事はしたいけれど、教師とその他で迷っている」という人は、是非生スポで学び、自分の将来とスポーツへの考えを深めてみてはどうでしょうか。

（鳥田 広斗 4年）



各種スポーツに加え、武道も実践できるカリキュラム構成になっています。

特色ある科目

生涯スポーツコース入門セミナー、生涯スポーツとキャリア形成、学校スポーツ支援論、学校スポーツ支援演習、健康支援論、健康支援演習、学校スポーツと教育支援、生涯スポーツと教育支援、生涯スポーツ支援研究演習

めざす仕事

- ・学校の運動部活動を学外から支援したり、運動会などをサポートする仕事
- ・体育授業に適應できない身体条件・運動能力の児童や、体育指導が得意でない教員を支援する仕事
- ・地域における健康問題やスポーツの活性化を支援する仕事
- ・ナショナルレベルのスポーツ振興について企画・運営する仕事
- ・野外教育施設でレクリエーションスポーツ、キャンプなどの指導に携わる仕事
(スポーツ指導員、スポーツ関連団体・企業職員、学校体育支援 NPO 職員、スポーツ行政等従事者、自然の家職員など)

NPO 法人はちきた SC 代表理事

紙本諭 さん

仕事のやりがい

在学中にドイツの総合型地域スポーツクラブの映像をみて、平日から大人がサッカーやビールを楽しみ、子どもも大人もスポーツを通じて楽しそうに交流している姿をみて、私は一瞬で心を奪われました。そしてこの環境を日本に作りたくて卒業後イチからスポーツクラブを作り始めました。今では会員1200名を超え、自前のグラウンドが出来、元日本代表を監督に迎えて Jリーグをめざすサッカーチームを作るなど、自分の思い描いた姿に1歩ずつ近づいていることにとてもやりがいを感じます。



仕事で大変なこと

会社に属さず、独立して働くことは「やりがいを感じやすい、やりたいことができる」など良い面も多くありますが、逆に「収入に安定性がない」「いつ仕事を失うかわからない不安」など大変な面もたくさんあります。また、スポーツクラブの運営では参加者や保護者のクレーム対応やスタッフの労働環境を整え、力を発揮してもらうことに苦勞しています。しかし、それらすべてを含めて、やりたいことをやれていることに幸せを感じています。

仕事と大学での学びや経験とのつながり

スポーツ指導をする上で、スポーツ心理学やスポーツ生理学を学んだことは、非常に役に立っていると感じています。また、運営をしていく上では大学で学んだパソコンスキルやコミュニケーションスキルに非常に助けられています。さらに、さまざまな活動の中で同じ大学のOBと出会うことも多く、年が離れていてもすぐに親近感・信頼感を得られることも大きなメリットです。とにかく大学で学べることは社会で役に立つ事ばかりであると実感しています。



人体の持久力を測り、科学的に分析する授業も用意されています。

トレーニングコーチ (部活身体塾・代表)

塩多雅矢 さん

仕事のやりがい

中学・高校・大学で部活動に励む選手たちの支援をしています。トレーニングコーチとして彼らのパフォーマンスアップと怪我予防の手助けをすることで、部活動をより輝かしいものにし、もっと好きになってもらいたいと思っています。選手たちが試合で活躍し、勝利を得た時が私にとって1番嬉しい瞬間です。また彼らが引退を迎えたときに「ありがとうございました」と言ってくれることは、何年経っても感慨深いものです。



仕事で大切なこと

最も大切にしているのは「Player First」です。自己研鑽による指導レベルの向上だけでなく、選手への言葉がけや先生方との連携なども含めて、選手にとって最良の時間・空間を作ることをめざしています。もう1つ大切にしているのは「しつこさ」です。全てが選手に伝わるわけではありません。しかし、指導者が先に折れたら伝わらないままになってしまいます。そのため指導者にはしつこさも大切だと思っています。

仕事と大学での学びや経験とのつながり

外部指導員として部活動で選手指導をしています。選手との関わりの中で「教育」という言葉は私の1つのキーワードであり、その基礎になっているのは大学時代に教育について学んだことです。実際の指導では、トレーニングコーチとしての側面だけではなく、先生方が行っている学校教育の側面も視野に入れています。その要因も、各部活動に受け入れてもらっているポイントになっていると思っています。



卒業後の進路

東京学芸大学の卒業生の多くは、学校の教員になっています。小学校教員が多いのですが、それ以外にも中学校・高等学校・特別支援学校などの教員となって全国各地で活躍しています。さらに専門性や実践力を高めてから教員になりたいと、大学院に進学する人もいます。

また、教員のほか、大学で学んだ専門性を活かして、学芸員や司書、スクールカウンセラーやソーシャルワーカー、企業、団体職員や公務員などの広く教育を支援する仕事についています。

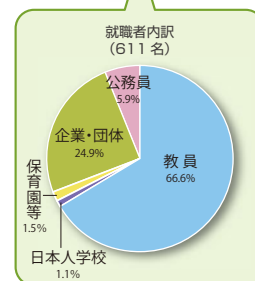
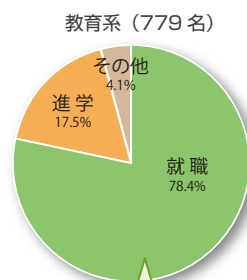
◎ 2018年3月卒業生就職・進学状況【2018年9月30日現在】

※留学生及び前年9月卒業生は除く

【教育系】（現 学校教育系）

(人)

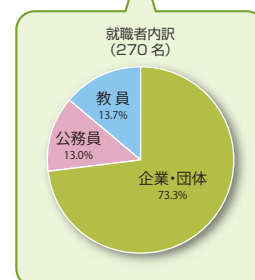
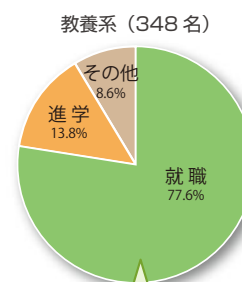
進路先		課程	初等教育 教員養成課程 (A類)	中等教育 教員養成課程 (B類)	特別支援教育 教員養成課程 (C類)	養護教育 教員養成課程 (D類)	合計
教員 (非常勤含む)	幼稚園		13	0	0	0	13
	小学校		224	7	13	1	245
	中学校・中等教育学校		28	35	0	2	65
	高等学校		33	32	1	1	67
	特別支援学校		4	0	13	0	17
	教員小計		302	74	27	4	407
日本人学校			6	1	0	0	7
保育園等			8	0	1	0	9
企業・団体			94	52	1	5	152
公務員			21	13	1	1	36
進学			74	51	10	1	136
その他			24	7	1	0	32
小計			227	124	14	7	372
計			529	198	41	11	779



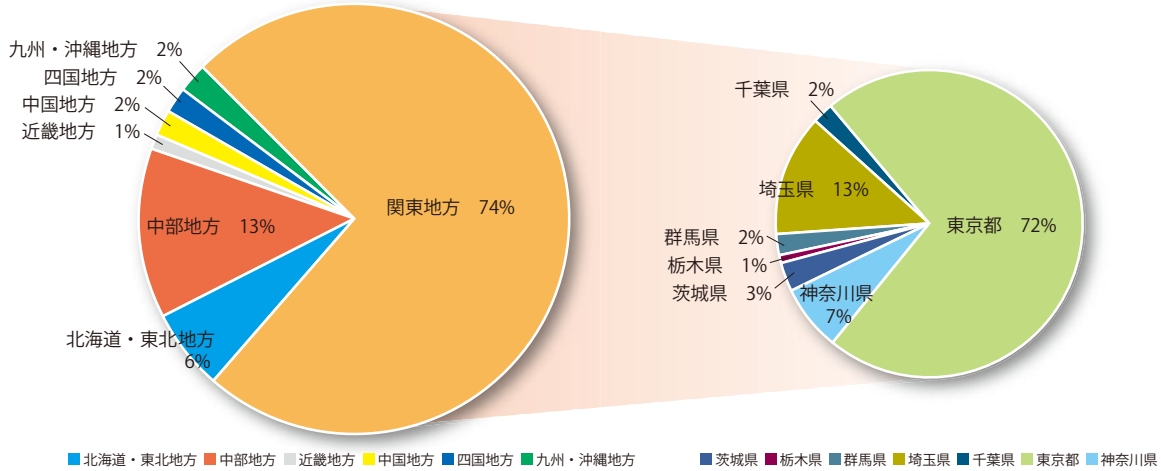
【教養系】（現 教育支援系）

(人)

進路先	課程	人間社会 科学課程 (N類)	国際理解 教育課程 (K類)	環境総合 科学課程 (F類)	情報教育 課程 (J類)	芸術スポーツ 文化課程 (G類)	合計
教員 (非常勤含む)		2	7	14	2	12	37
保育園等		0	0	0	0	0	0
企業・団体		55	44	41	6	52	198
公務員		25	2	3	0	5	35
進学		14	3	12	4	15	48
その他		3	6	7	2	12	30
計		99	62	77	14	96	348



◎ 地域別教員就職状況 (2018年3月卒業生 教育系)



- 〔北海道・東北地方〕 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 〔関東地方〕 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 〔中部地方〕 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 〔近畿地方〕 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 〔中国地方〕 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 〔四国地方〕 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 〔九州・沖縄地方〕 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

◎ 大学院進学状況 [2018年3月卒業生]

東京学芸大学、東京大学、東京工業大学、東京藝術大学、筑波大学、上越教育大学等

◎ 教員以外の主な就職状況 [2018年3月卒業生]

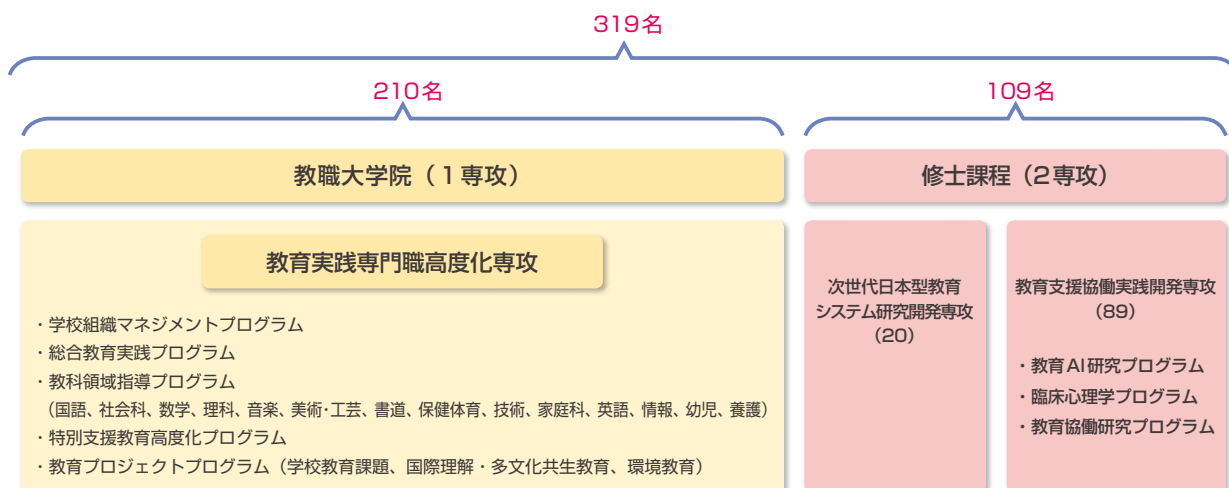
業種	企業名等
建設業	UIコンストラクション(株)
製造業	伊勢化学工業(株)、(株)石澤研究所、(株)河合楽器製作所、(株)玉川堂、(株)クラフト、(株)コアーツ、(株)ソムラ、(株)トブコン山形、(株)日本製粉、(株)パンダイ、(株)日立製作所、(株)キヤノンメディカルシステムズ(株)、(株)クラシエホームプロダクツ(株)、(株)コンチネタル・オートモーティブ(株)、(株)サンリールホールディングス(株)、(株)シズン千葉精密(株)、(株)タイヘイ(株)、(株)太平洋セメント(株)、(株)トッパン・フォームズ(株)、(株)日経印刷(株)、(株)日清オイログループ(株)、(株)ネスレ日本(株)、(株)パナソニック ITS (株)、(株)不二製油(株)、(株)三起商行(株)、(株)三菱電機(株)、(株)八千代工業(株)、(株)吉川工業(株)、(株)ローヤル(株)、(株)わらべや日洋ホールディングス(株)
電気・ガス・熱供給・水道業	アストモスエネルギー(株)
情報通信	アドソル日連(株)、一般財団法人日本気象協会、(株)アイアンドデータ(株)、(株)アイティーブレーン、(株)アイライザー、(株)アルファネット、(株)インフォテック、(株)エスピーック、(株)イーバーセンス、(株)エムティーアイ、(株)学研プラス、(株)鎌倉新書、(株)キャラクシイ、(株)ぐるなび、(株)グローバル・システム・クリエイト、(株)コスモ・インテリジェンス、(株)コマミアミューズメント、(株)コンピュータマウント社、(株)山口社、(株)システムサポート、(株)ジャステック、(株)小学館集英社プロダクション、(株)スリー・イー、(株)セック、(株)チップチューン、(株)チヨコレイト、(株)ツインエンジン、(株)ツールテクノ、(株)帝国書院、(株)電通、(株)電通国際情報サービス、(株)東京アドテック、(株)東北新社、(株)ニューエッジ、(株)ネクストウェイ、(株)ネクストベース、(株)野村総合研究所、(株)ビジネス・アシエイト、(株)フォーカスシステムズ、(株)ブシロード、(株)ブライゼン、(株)モバイル、(株)リクルートライフスタイル、(株)リブセンス、(株)ルクレ、(株)レジェンド・アプリケーションズ、(株)六耀社、(株)Donuts、(株)GA technologies、(株)プレス、(株)MONOLITH Japan、(株)VSN、(株)キッセイコムテック(株)、(株)ノンITソリューションズ(株)、(株)山陽放送(株)、(株)数研出版(株)、(株)千代、(株)ディップ(株)、(株)東島貿易(株)、(株)凸版印刷(株)、(株)日本アイ・ピー・エム(株)、(株)日本パテントデータサービス(株)、(株)日本放送協会、(株)ネットワンシステムズ(株)、(株)パーソルプロセッシングテクノロジー(株)、(株)パテラ・テクノロジー・ジャパン(株)、(株)東日本電信電話(株)、(株)フューチャーインスペース(株)、(株)フリースタイル・ジャパン(株)、(株)ユニオン映画(株)、(株)楽天(株)、(株)リデル(株)、(株)e-janネットワーク(株)、(株)GMO ペイメントゲートウェイ(株)、(株)ITX(株)、(株)TDCソフト(株)
運輸・郵便業	一般社団法人日本海事検定協会、(株)京北、(株)ホンダロジスティクス、(株)郵便局物販サービス、(株)ユニエックス、(株)ANA Cargo、(株)JR東日本ステーションサービス、(株)鈴与(株)、(株)全日本空輸、(株)トニーカンパニイ・ソリューションズ(株)、(株)成田国際空港、(株)日本航空、(株)東日本旅客鉄道
卸売・小売業	イオモール(株)、(株)イオンアイビス(株)、(株)伊藤忠食品(株)、(株)エノテカ(株)、(株)アイ・トピア、(株)赤ちゃん本舗、(株)内田洋行、(株)ヴィクトリア、(株)コンフォートジャパン、(株)ジーソフト、(株)スーパーストック・キュー、(株)大丸松坂屋百貨店、(株)ノジマ、(株)株原、(株)ノ海山、(株)マルエツ、(株)水戸京成百貨店、(株)三松、(株)山善、(株)ユニクロ、(株)ライフコーポレーション、(株)ENEOSフロンティア、(株)キャバ(株)、(株)総合エネルギー(株)、(株)双日(株)、(株)タジマ国際貿易(株)、(株)東邦自動車(株)、(株)トラスコ中山(株)、(株)日本機材(株)、(株)エイチエス(株)、(株)プーマジャパン(株)、(株)三菱商事(株)、(株)IDOM(株)、(株)JFE商事(株)、(株)MISUMI Thailand
金融・保険業	三井住友銀行、オリックス・クレジット(株)、オリックス生命保険(株)、(株)青森銀行、(株)クレディセゾン、(株)山陰合同銀行、(株)七十七銀行、(株)ジャルカード、(株)みずほフィナンシャルグループ、(株)三井住友銀行、(株)武蔵野銀行、(株)大和証券グループ本社、(株)共立、(株)静銀モーゲージサービス(株)、(株)損害保険ジャパン(株)日本興亜(株)、(株)大同生命保険(株)、(株)大和証券(株)、(株)東京海上日動火災保険(株)、(株)日産証券(株)、(株)日本生命保険相互会社、(株)野村證券(株)、(株)富士信用金庫、(株)ほけんの窓口グループ(株)、(株)三井住友海上あいおい生命保険(株)、(株)三井住友海上プライマリ生命保険(株)、(株)三菱UFJ信託銀行(株)、(株)明治田舎生命保険相互会社
不動産・賃貸・管理業	(株)エスディ、(株)オープンハウス、(株)ジエホームズ、(株)杉彩、(株)全農ビジネスサポート、(株)東宝ハウスホールディングス、(株)ImplotAgent、(株)スターツアメニティー(株)、(株)住友不動産販売(株)、(株)積和不動産関東(株)、(株)ネクセラ東日本(株)
学術研究・専門・技術サービス業	(株)アックスコンサルティング、(株)イライプデザイン、(株)イピソク、(株)エーエント、(株)コー・エイ、(株)昭栄栄商、(株)ディファレント、(株)デルフィス、(株)都市計画研究所、(株)ヒューマネージ、(株)プロパティ・テクノロジー・ジャパン、(株)ニコンコンサルティング、(株)高木法律事務所、(株)リットン・インターテック(株)、(株)NECマネジメント(株)等
宿泊業・飲食サービス業	(株)アビホテル(株)、(株)くらこホールディングス、(株)ケイアイコーポレーション、(株)シリアン、(株)ゼンショーホールディングス、(株)東急ホテルズ、(株)高貴族、(株)星野リゾート、(株)ユニマット・フレッシュ、(株)吉野家、(株)リソク、(株)スターバックスコーヒー(株)等
生活関連サービス業	(株)アニマルヘルス(株)、(株)エボラリアルアジア、(株)オリエンタルランド、(株)クリスタルインターナショナル、(株)コナミスポーツクラブ、(株)サンリオエンターテインメント、(株)阪急交通社、(株)マルハン、(株)読売巨人軍、(株)JTBC、(株)公益財団法人習志野市スポーツ振興協会、(株)四季(株)、(株)独立行政法人日本スポーツ振興センター、(株)ヒューマンリンク(株)、(株)郵船ラベル(株)、(株)JAPANサッカーカレッジ、(株)NIKE TOKYO TC、(株)RIZAPグループ(株)
教育・学習支援業	一般財団法人軽井沢風越学園設立準備財団、(株)雲南大学、(株)学校法人江副学園、(株)学校法人開智学園、(株)学校法人神奈川大学、(株)学校法人河合塾、(株)学校法人北里研究所、(株)学校法人三幸学園、(株)学校法人大東文化学園、(株)学校法人中央大学、(株)学校法人東北学院、(株)学校法人日本大学、(株)学校法人文京学院、(株)学校法人武蔵野大学、(株)学校法人吉岡教育学園、(株)学校法人代々木ゼミナール、(株)英連、(株)エジプトテクノロジー、(株)学研社、(株)公文教育研究会、(株)ニベル、(株)城南進学研究社、(株)伸芽会、(株)スプリックス、(株)タトネ、(株)トライグループ、(株)オガサ、(株)ニコニコ室、(株)日能研、(株)日本入試センター、(株)アラウ21、(株)ベネッセコーポレーション、(株)増田塾、(株)臨海、(株)JMC、(株)Z会、(株)ゲートウェイ英数スクール、(株)公立大学法人首都大学東京、(株)公益財団法人東京教育振興財団、(株)国立大学法人次城大学、(株)国立大学法人信州大学、(株)国立大学法人東京海洋大学、(株)国立大学法人東京学芸大学、(株)国立大学法人東京大学、(株)大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構、(株)大学共同利用機関法人情報システム研究機構、(株)大連外国語大学、(株)中興学院グループ、(株)特定非営利活動法人放課後NPOアフタースクール、(株)独立行政法人国立高等専門学校機構、(株)都立あきる野学園、(株)東新館日本語学院、(株)フロンティア、(株)プレジデント、(株)北京博海教育、(株)GMOペイメントゲートウェイ(株)、(株)LOPTA(株)、(株)YMCA国際ビジネス専門学校
医療・福祉	(株)医療法人岡田こどもクリニック SUN-Sano、(株)医療法人はしもと皮膚科、(株)七耀会、(株)ニチイ学館、(株)プロッサム、(株)ベネッセスタイルケア、(株)モバイル、(株)ランウェルネス、(株)公益財団法人王子学園都市文化ふれあい財団、(株)公益財団法人武蔵野子どもも協会、(株)国立がん研究センター中央病院、(株)社会医療法人近森会、(株)社会福祉法人恩賜財団慶福育児会、(株)社会福祉法人神奈川県社会福祉事業団、(株)社会福祉法人共生会、(株)社会福祉法人松村児童園西台こども園、(株)社会福祉法人調布白雲会、(株)社会福祉法人長岡三古老人福祉会、(株)社会福祉法人東金市社会福祉協議会、(株)社会福祉法人福生市社会福祉協議会、(株)社会福祉法人二葉保育園児童福祉施設二葉むさび丘学園、(株)社会福祉法人あそ友会、(株)社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団、(株)社会福祉法人蓮花苑、(株)社会福祉法人若竹大寿会、(株)チャリティドレイン・ホールディングス(株)、(株)特定非営利活動法人森友会、(株)特定非営利活動法人あひる、(株)特定非営利活動法人こげら会、(株)特定非営利活動法人みんなのこげら会、(株)独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、(株)長泉町役場(保育士)、(株)日本赤十字社、(株)日本年金機構
その他のサービス業	(株)アジアネットサービス(株)、(株)イマジカデジタルサービス(株)、(株)ワイルドグループ、(株)エスブール、(株)エンター、(株)クワイ、(株)トラスト・テック、(株)ネオキャリア、(株)ハードコーポレーション、(株)パナソニック(株)プロダクツ、(株)マイナビ、(株)リクルートホールディングス、(株)リンクスタッキング、(株)公益財団法人静岡市文化振興財団、(株)公益財団法人東京都スポーツ文化事業団、(株)公益財団法人東京都歴史文化財団、(株)公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、(株)衆議院議員さむがわ秀事務所、(株)生活協同組合コープみらい、(株)全国農業協同組合連合会神奈川県本部、(株)企画学会、(株)地方公務員共済組合連合会、(株)テクノフロンティア、(株)東京大学消費生活協同組合、(株)東邦レオ(株)、(株)特定非営利活動法人音楽で日本の笑顔を、(株)栃木県農業協同組合中央会、(株)新潟県厚生農業協同組合連合会、(株)日本生活協同組合連合会、(株)日本農業協同組合、(株)日本リンク(株)、(株)パーソルキャリア(株)、(株)パーソルシステム(株)、(株)日枝社、(株)ヒューマンリンク(株)、(株)レイズ(株)、(株)レバニーズキャリア(株)、(株)WDB(株)
官公庁	独立行政法人 龍川地区役所、(株)出雲市役所、(株)極楽区役所、(株)茨城県庁、(株)茨城町役場、(株)鶴田市役所、(株)岩手県庁、(株)小田原市役所、(株)神奈川県庁、(株)川口市役所、(株)相模原市役所、(株)清瀬市役所、(株)熊本県庁、(株)熊本少年鑑別所、(株)警視庁、(株)公正取引委員会、(株)厚生労働省、(株)国土地理院、(株)国立教育政策研究所、(株)小平市役所、(株)埼玉県庁、(株)埼玉市役所、(株)川崎市役所、(株)静岡市役所、(株)白井市役所、(株)杉並区役所、(株)世田谷区役所、(株)草加市役所、(株)高松市役所、(株)滝沢市役所、(株)多久市役所、(株)玉村町役場、(株)千葉県庁、(株)中央区役所、(株)調布市役所、(株)東京消防庁、(株)東京都庁、(株)栃木県庁、(株)特許庁、(株)長野県庁、(株)名古屋市役所、(株)新潟県庁、(株)新潟市役所、(株)新潟県庁、(株)新潟市役所、(株)農林水産省、(株)東村山市役所、(株)広島県庁、(株)福岡県庁、(株)府中市役所、(株)文京区役所、(株)防衛省、(株)法務省、(株)松伏町役場、(株)三鷹市役所、(株)水戸市役所、(株)目黒区役所、(株)文部科学省、(株)山梨県庁、(株)横須賀市役所、(株)横須賀町役場、(株)横浜市役所、(株)敦市役所

もっと学びたい人は

大学を卒業した後にもっと勉強したいという人には二つの道があります。一つは大学院、もう一つは特別専攻科です。

東京学芸大学大学院の教育学研究科には、教職大学院（専門職学位課程）と修士課程があります。更に学びたい人は、連合学校教育学研究科（博士課程）に進学することもできます。

◎ 教育学研究科（教職大学院・修士課程）

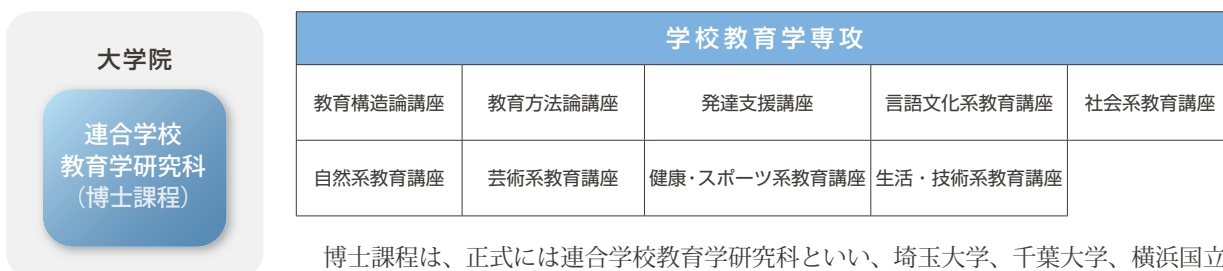


大学院は、2019年度から大きく変わりました。教職大学院（教育実践専門職高度化専攻）は、210名に定員を大幅に増やして、5プログラムで構成されます。特に、教科領域、特別支援教育、教育課題に対応したプログラムを充実させ、学校教育に関するほぼすべての領域をカバーする我が国最大規模の総合型教職大学院になりました。

修士課程は、次世代日本型教育システム研究開発専攻、教育支援協働実践開発専攻の2専攻に改組しました。教育支援協働実践開発専攻は、三つのプログラム（教育AI研究プログラム、臨床心理学プログラム、教育協働研究プログラム）で構成されます。

大学院特設 Web サイト 教職大学院 www.u-gakugei.ac.jp/graduate/professional
 修士課程 www.u-gakugei.ac.jp/graduate/master

◎ 連合学校教育学研究科（博士課程）



博士課程は、正式には連合学校教育学研究科といい、埼玉大学、千葉大学、横浜国立大学と共同で、教員養成にかかわる実践的研究者を育てることを目的としています。

◎ 特別支援教育特別専攻科（特別専攻科）

特別専攻科は、大学を卒業した後に特別支援教育を1年間で学ぶコースです。

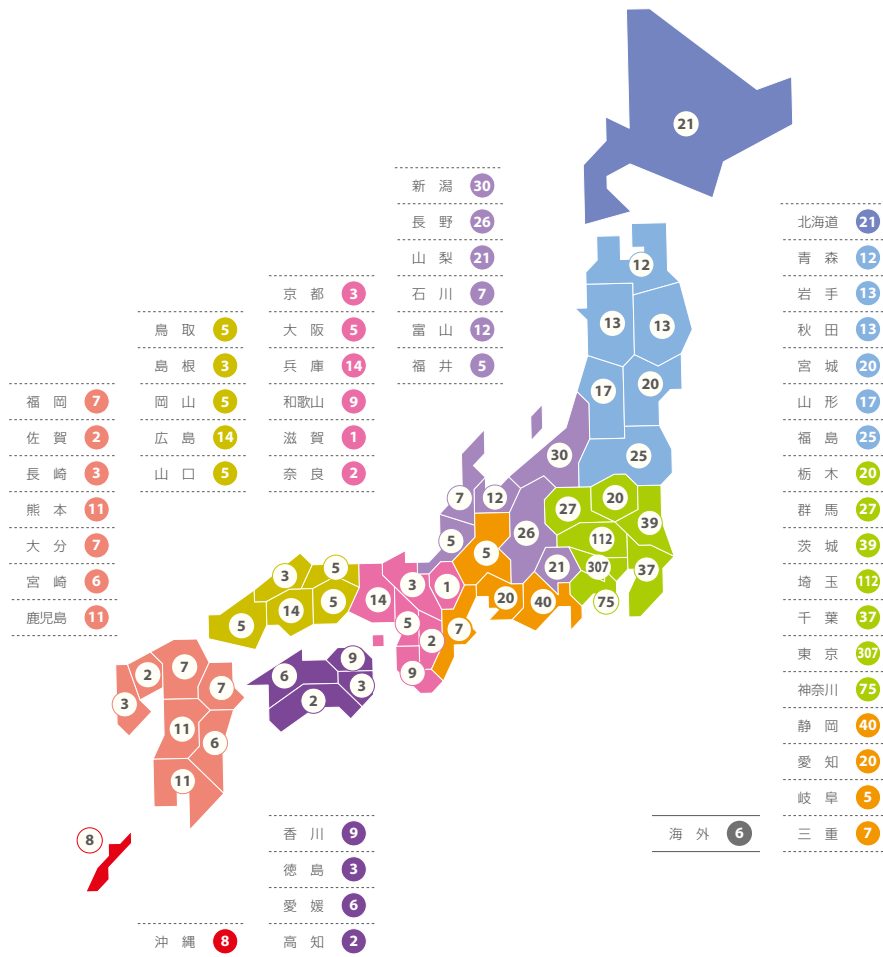
特別支援について多様な知識を身につけた教員になることを目指します。

入学時にすでに取得している教員免許状の種類により、特別支援学校教諭一種免許状もしくは専修免許状を取得することができます。



Gakugei

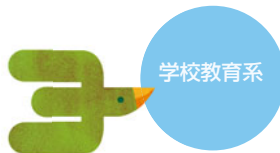
東京学芸大学で できること



学芸大学には、全国から学生が集まってきます。
(2019年度入学生出身高校所在都道府県)

取得可能な免許・資格

学校教育系の学生は、教員免許取得に必要な要件を満たすことが卒業要件となっています。指定されている教員免許の他に各専攻・選修で取得可能な教員免許もあります。教育支援系の学生は、教員免許取得が卒業要件とはなっていませんが、一部のコースを除いて教員免許を取得することができます。また、教員免許のほかにも受験資格が得られるものや、取得できる資格があります。



◎ 卒業要件として指定されている教育職員免許状

A 初等教育教員養成課程

- 国語選修
- 社会選修
- 数学選修
- 理科選修
- 音楽選修
- 美術選修
- 保健体育選修
- 家庭選修
- 英語選修
- 学校教育選修
- 学校心理選修
- 国際教育選修
- 情報教育選修
- 環境教育選修
- ものづくり技術選修

小学校教諭一種免許状

- 幼児教育選修

幼稚園教諭一種免許状

B 中等教育教員養成課程

国語専攻	中学校教諭一種免許状 (国語) 高等学校教諭一種免許状 (国語)
社会専攻	中学校教諭一種免許状 (社会) 高等学校教諭一種免許状 (地理歴史又は公民)
数学専攻	中学校教諭一種免許状 (数学) 高等学校教諭一種免許状 (数学)
理科専攻	中学校教諭一種免許状 (理科) 高等学校教諭一種免許状 (理科)
音楽専攻	中学校教諭一種免許状 (音楽) 高等学校教諭一種免許状 (音楽)
美術専攻	中学校教諭一種免許状 (美術) 高等学校教諭一種免許状 (美術)
保健体育専攻	中学校教諭一種免許状 (保健体育) 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)
家庭専攻	中学校教諭一種免許状 (家庭) 高等学校教諭一種免許状 (家庭)
技術専攻	中学校教諭一種免許状 (技術) 高等学校教諭一種免許状 (工業)
英語専攻	中学校教諭一種免許状 (英語) 高等学校教諭一種免許状 (英語)
書道専攻	中学校教諭一種免許状 (国語) 高等学校教諭一種免許状 (書道)

C 特別支援教育教員養成課程

特別支援学校教諭一種免許状

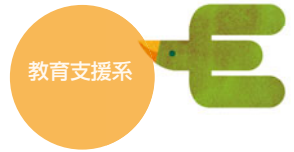
(聴覚障害者)(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)の4領域

小学校教諭一種免許状又は中学校教諭一種免許状

D 養護教育教員養成課程

養護教諭一種免許状

 教育支援課程



生涯学習コース	生涯学習サブコース 文化遺産教育サブコース	
カウンセリングコース		
ソーシャルワークコース		
多文化共生教育コース	多言語多文化サブコース	中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）
	地域研究サブコース	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 高等学校教諭一種免許状（公民）
情報教育コース		高等学校教諭一種免許状（情報）
表現教育コース		
生涯スポーツコース		中学校教諭一種免許状（保健体育） 高等学校教諭一種免許状（保健体育）

◎ 取得可能な教育職員免許状

初等教育教員養成課程・中等教育教員養成課程・特別支援教育教員養成課程の学生は、卒業要件として指定されている教育職員免許状の他に、必要な単位を積み上げるにより、下記の免許の取得をめざすこともできます。
ただし、一学年につき履修できる授業数には限りがありますので、全ての免許が取れるわけではありません。

小学校教諭一種免許状	
中学校教諭一種免許状	国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・保健・家庭・技術・英語
高等学校教諭一種免許状	国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・工芸・保健体育・保健・家庭・工業・英語・書道
幼稚園教諭一種免許状	
特別支援学校教諭一種免許状	（知的障害者）（肢体不自由者）（病弱者）の3領域 又は（聴覚障害者）（知的障害者）の2領域

養護教育教員養成課程の学生は、卒業要件として指定されている教育職員免許状の他に、必要な単位を積み上げるにより、下記の免許の取得をめざすこともできます。

中学校教諭一種免許状	保健	高等学校教諭一種免許状	保健
------------	----	-------------	----

◎ 取得可能な資格

○学校教育系、教育支援系とも所定科目の単位を修得することで以下の資格の取得が可能です。

- ▶司書（13科目）
- ▶司書教諭（5科目、ただし基礎となる教育職員免許状（小・中・高）のいずれかが必要）
- ▶学校司書（14科目）
- ▶学芸員（10科目）
- ▶社会教育主事・社会教育士（13科目）

○特定の選修、コースに所属する学生のみ、取得可能な資格は以下のとおりです。

- ▶保育士：幼児教育選修のみ対象。
- ▶社会福祉士：ソーシャルワークコースのみ対象。国家試験受験資格。
- ▶スクール（学校）ソーシャルワーカー：ソーシャルワークコースのみ対象。ただし社会福祉士の資格取得が必要。

○特定のコースに所属する学生のみ、卒業後に取得をめざすことができる資格は以下のとおりです。

- ▶公認心理師：カウンセリングコースのみ対象。国家試験受験資格（受験資格を得るためには、学部在学中に指定の30科目を修得し卒業した後、大学院における要件科目の修了、もしくは法令等で定められた施設での実務経験が必要）。

※教育職員免許状・資格ともに各専攻・選修の時間割との関係で、取得困難になる場合もあります。

国際交流と留学

東京学芸大学は、21の国・地域の66大学と交流協定を結び、学術交流や学生交流をしています。大学には、学生交流協定校をはじめとした各国から外国人留学生が来ており、授業、サークル等において、学生交流が盛んに行われています。

また、本学からは毎年世界各地の協定校へ学生が交換留学をしています。交換留学制度を利用すると、留学先での授業料等を支払う必要がないほか（留学期間中、本学に授業料を払う必要があります。）、修得した単位を本学の単位として申請することができます。このほか、夏休み、春休みを利用して、協定校が実施しているサマープログラムや本学が企画する協定校での短期研修プログラムに参加することができます。

●海外留学制度

取扱う事項	「留学」として扱うケース		留学として扱わないケース ※「休学」として扱う
派遣先	交流協定校	非交流協定校	非交流協定校
本学の在学期間	留学期間も在学期間にも含まれ、最短年限での卒業（修了）ができる場合もあります。ただし学校教育系については、教育実習等の関係で4年間での卒業が困難な場合があります。教育支援系の学生が教員免許を希望する場合も同様です。		休学期間の分卒業（修了）が延びるので、4年「大学院修士課程は2年、博士課程は3年」では卒業（修了）できません。
留学期間中の本学の授業料	納付する (相手大学には支払わなくてよい)	納付する (相手大学にも支払う)	事前に学務課に相談してください。 (留学先の学校には支払う)
奨学金	<ul style="list-style-type: none"> JASSOに採択されたプログラムに参加する場合には支給があります（資格・要件を満たした場合）。 学生後援会から留学奨励金の支給があります。 民間奨学金に応募可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> 学生後援会から留学奨励金の支給があります。 民間奨学金に応募可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> 民間奨学金に応募可能
留学先での履修科目の単位認定	帰国後、成績証明書等必要書類をそろえて学務課に申請し、関係会議で総合判定され、認定を受けることができます。		単位認定の申請はできません。

※休学をする場合は、学務課に「休学願」を提出する必要があります。

- 交流協定校へ留学すると…留学先大学の入学金・授業料が免除になります。

留学先大学の窓口教員や交換留学生がいるので情報収集が容易にできます。

入学手続きやトラブルに対して、大学がサポートします。

- 非交流協定校留学…留学先は自由に選べます。

本学と留学先大学の双方に授業料等を納入します。

特別な事情がある場合は、許可を願い出て留学期間を2年まで延ばせます。

帰国後、単位認定を受けるには、渡航3か月前に認定留学の手続きが必要でです。

●2019年度予定されている語学・文化研修留学プログラム

国名	大学名等	プログラム名	期間	内容
韓国	ソウル教育大学校	韓国語・韓国文化短期留学プログラム	約10日間	韓国語集中講座、韓国社会、百済歴史文化、文化体験、放課後の個人指導
ドイツ	ハンブルク大学	サマープログラム	約1か月	日本人学生を対象に開発した会話中心のドイツ語集中講座
フランス	キャンパス・フランス (フランス政府留学局)	春季・夏季フランス語語学研修	約1か月	初級・中級フランス語集中講座。サンティエヌヌ大学、グルノーブル大学の附属語学学校で実施
オーストラリア	モナッシュ大学	短期海外語学研修 (オーストラリア、メルボルン)	30日間	全てホームステイ、現地大学生との交流、日本語授業への参加、学校訪問、英語によるプレゼン

★上記以外にも中国・香港・台湾・アメリカ等、様々な国のプログラムが多数あります。

ボールステイト大学（アメリカ）

留学期間 2017年8月～2018年5月

初等教育教員養成課程英語選修

茂木 麻希



留学の価値とは、日本では出会えなかった弱い自分と向き合えることだと思います。

私はアメリカのディベート教育について学ぶことをテーマとして活動しま

した。ディベートは、お題に対して賛成派と反対派で討論をして勝ち負けを決めるゲームです。現地の大学のディベートの授業をとったことが最も印象に残っています。私は、言語使用能力の高い学生達に圧倒されて初めの授業にうまくついていけませんでした。授業後に、教室から立ち去り受講を諦めようともしましたが、勇気を出して教授の元へ行き、「私は正直今日の授業は分かりませんでした。」と相談しました。すると教授は大きな声で笑って、「すごいな君は。君だけだよ、自分ができないことを認めて相談に来たのは。アメリカ人にも難しい授業だったのに、誰も質問に来なかった。君だけが自分の弱さを認めてちゃんと乗り越えようとしているじゃないか。君は強くなる。弱さを認めたやつが一番強いんだ。」と言われました。その

会話をきっかけに私は大学のディベートチームへの入部が決まり、日々のきつい練習を乗り越えて全米ディベート大会での優勝を勝ち取りました。

日本にいたときは、自分の苦手なことは上手く避けて器用に生きていくことができました。しかし、留学先では困難と本気で向き合い、恥を捨てて行動し解決をする大切さを知りました。日本では出会えなかった弱い己を知っていることとそれを乗り越えた経験が、今の私の強みです。

留学という選択をすることは簡単なことではないです。しかし、皆さんが想像する留学のリスクは、大したリスクではないかもしれません。むしろ、自分の気持ちに蓋をして、自分に挑戦しないまま生きていくの方がリスクです。皆さんもぜひ大学生のうちに留学という成長のチャンスをつかんでみてください。



留学体験記

北京師範大学（中国）

留学期間 2018年3月～2018年7月

教育支援課程教育支援専攻多文化共生教育
コース（2019年3月卒業）

市川 広宣



私は学部4年の前期に中国の北京師範大学に約4か月間留学しました。私の専門は英語教育学なのですが、学部1年のときから第二外国語として学んできた中国語の運用能力を更に高めた

と思うようになり留学を決めました。

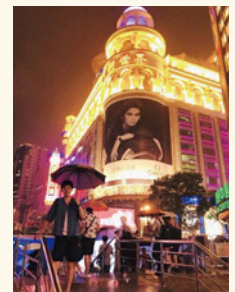
留学中は、北京師範大学の漢語文化学院に所属し、留学生対象の中国語の授業を4科目（18単位）履修していました。授業は全て中国語で行われるため、最初の2週間くらいは本場の中国語の聞き取りにかなり苦労しましたが、だんだんと慣れていき、ある時を境に先生の説明がほとんど理解できるようになり、とても嬉しかったのを覚えています。生活面では、食事に少し苦労しましたが、一人暮らしをしたことがなかった私にとっては全てが新鮮で、毎日がとても充実していました。

セメスター終了後は約1か月間中国に残り、天津・西安・深圳・上海といった中国の主要都市を一人旅し、中国の歴史や文化に対

する理解をより一層深めることができました。また、タクシーを呼ぶ、ホテルのフロントでやり取りする、スターバックスでコーヒーを注文する、といった教室の外で実際に中国語を使ってコミュニケーションをとっているときの充実感は半端ではありません。自身の成長を感じた旅になりました。

私は、学部卒業後、大学院で英語教育や第二言語習得に関する研究を続けていきます。今後どのようなアカデミックキャリアを積んでいくかは未定ですが、いずれは中国語も対象とした研究を行うことができるよう、更に中国語に磨きをかけていきたいと思っています。

留学と聞くと1年をイメージする人が多いですが、私のように1セメスターでも十分に中国語を上達させることができますし、履修計画を綿密に立てれば教員免許を取得しつつ4年間で卒業も可能です。みなさんも、トライリンガルを目指してぜひ中国に飛び込んでみてください。



《海外の大学との短期派遣・受入プログラム》 外国人留学生の受入れによるグローバルキャンパス構築と 世界に通用する人材育成に資するグローバル人材の養成プロジェクト

— International Student Step Up Program (ISSUP) —

東京学芸大学では、本学の学生向けに教員養成系大学独自の海外短期派遣・受入プログラム（1週間～10日間程度）を実施しています。グローバル化する教育現場に対応できる教員の養成を目指すと共に、学生のニーズに応じた多様なプログラムを提供しています。

《派遣プログラム》

英語圏の大学等を中心に、長期休暇中の10日間程度、現地校の参観、授業実践、現地の大学生と交流等を行います。また、テーマに関連した博物館や文化施設等も訪問します。毎年10名程度の参加学生を募り、本学教員が引率し、実施しています。海外が初めての方でも参加しやすいプログラムです。また、渡航費用の一部を大学が支援する制度もあります。

● 2017年度に実施した派遣プログラム

(いずれも長期休業中の2～3月に実施。)

- 米国・ハワイ短期派遣留学プログラム
主な訪問先：ハワイ大学ヒロ校、ワイケア高校、ハワイプランテーションヴィレッジ、ピショップ博物館等
- 豪国・メルボルン短期派遣留学プログラム
主な訪問先：メルボルン大学、モナシュ大学、移民博物館、Huntingdale Bilingual School 等

● 2018年度に実施した派遣プログラム

- 米国・ミシガン短期派遣留学プログラム
主な訪問先：ミシガン州立大学、DeWitt Middle School、MSU Child Development Laboratory School、Niji Iro Japanese Immersion School 等
- 米国・ハワイ短期派遣留学プログラム
主な訪問先：ハワイ大学マノア校、日系3世との交流、ワイアルア小学校、Mid Pacific Institute、ピショップ博物館等
- 豪国・メルボルン短期派遣留学プログラム
主な訪問先：メルボルン大学、モナシュ大学、移民博物館、ジョン・モナシュ高校、ビクトリア美術館等



〈派遣プログラムの様子〉

《受入プログラム実施内容》

派遣プログラムで交流のある海外の大学生が1週間程度本学を訪問します。その際、一緒にプログラムに参加し、大学近郊の小学校等を訪問したり、授業実践の補助を行います。



〈受入プログラムの様子〉

● 2018年度に実施した受入プログラム

- 米国・ブリッジウォーター州立大学（5月21日～30日）
- 米国・ミシガン州立大学（6月25日～6月29日）
東京学芸大学の附属学校や都内の公立学校等を見学し、学校給食や清掃などを児童生徒らと体験し、日本の文化について学びました。また、各学校で授業実践を行いました。

● 2019年度に実施予定の受入プログラム

- 米国・ミシガン州立大学（6月23日～30日予定）

《海外の研究者による講演》

海外大学の研究者や学校教員による本学学生・職員を対象とした講演会を実施しています。

● 2018年度に実施した講演会の例

- 第1回テーマ：グローバル教育の挑戦 - 学芸大とミシガン州立大の比較 -
(米国 / ミシガン州立大学、David Wong 准教授)
- 第2回テーマ：オーストラリア・広がる教育格差と将来への課題
(豪国 / ジョン・モナシュ高等学校、Satoshi Sanada 音楽科主任)



CAMPUS Asia キャンパス・アジア・プログラム

東京学芸大学は、北京師範大学（中国）・ソウル教育大学校（韓国）とコンソーシアムを形成し、2016年10月から、キャンパス・アジア事業「東アジア教員養成国際大学院プログラム」を実施しています。

大学院生だけでなく学部生も対象に、長期（半年～1年間）の交換留学や相互の短期語学・文化研修留学プログラムなど、さまざまな学生交流プログラムを実施し、本学学生の海外体験の機会増加や国際性豊かなキャンパス環境づくりに取り組んでいます。

プログラムに参加する学生は、原則として各種奨学金等の支援を受けることができます。

《主なプログラム実施内容》

● 交換留学の実施

【派遣】春学期、秋学期それぞれ、北京師範大学とソウル教育大学校に本学学生を半年～1年間派遣しています。派遣された学生は、自身の専門を深めつつ、各国の教育・文化を学び、語学力の向上を目指します。

【受入れ】北京師範大学、ソウル教育大学校を含むアジア圏の大学の学生が本学に留学しプログラムに参加しています。本学学生も留学経験者を中心に「キャンパス・アジア・アソシエイト」として、日本の教育や文化について学びあい、日光や箱根などで実施される自主合宿に参加し交流を図ります。

● 短期語学・文化研修プログラム

【派遣】夏季・春季の長期休暇期間中に、短期（1～2週間程度）の中国・韓国への派遣プログラムを実施しています。語学の集中トレーニングのほか、各国の歴史や文化、学校教育について体験的に学べる機会となっています。この短期留学をステップに、長期留学に挑戦する学生もたくさんいます。

【受入れ】夏季に Summer Program for Trilateral Cooperation (SPTC) を実施し、北京師範大学とソウル教育大学校の大学院生を8日間受け入れ、日本の学校現場や日本文化の体験、本学学生との交流や議論を通じた相互理解を深める活動を行っています。プログラムのサポーターとして多くの本学学生も参加しています。

《留学に向けた各種活動》

● 学芸フロンティア科目「留学のすすめ」

社会で幅広く活躍し、実績・経験豊かなゲスト・スピーカーが講義する「学芸フロンティア科目」の一つとして、2017年春学期から開設されています。本学海外協定校への留学の魅力やその実態を、海外の大学教員や留学経験者が具体的に紹介します。

● 言語ラボ

中国・韓国への留学希望者や派遣決定者を対象に、留学先での学修や生活に必要な語学力の習得を目的として、中国語・韓国語の「言語ラボ」を実施しています。それぞれの言語の担当教員が、学生のニーズに合わせた実践的な指導を行います。

● ダブルディグリー・プログラム 大学院修士課程

本学は、北京師範大学およびソウル教育大学校と大学院修士課程レベルの「ダブルディグリー・プログラム」を実施しています。このプログラムに参加する学生は、北京師範大学またはソウル教育大学校に一定の期間留学し、本学および派遣先大学の修了要件を満たした際に、それぞれの大学から学位（修士号）を取得することができます。

<キャンパス・アジアとは>

CAMPUS Asia (Collective Action for Mobility Program of University Students in Asia) は、国際的に活躍できるグローバルな人材の育成と大学教育のグローバルな展開力の強化を目的に、日本、中国、韓国の大学がコンソーシアムを形成し、日本人学生の海外留学や外国人学生の積極的受入れを伴う教育連携プログラムを実施する事業です。

日本では、文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」として行われており、東京学芸大学は国内の教員養成系大学として唯一、本事業の採択を受けています。



〈交換留学 in 北京〉



〈短期留学プログラム in ソウル〉



〈SPTC in 学芸大〉



CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia

CAMPUS Asia



キャリア（教職・教育支援職）支援

東京学芸大学では学生のキャリア形成支援、各種相談など、トータルに学生支援を行っています。ここでは、キャリア支援行事について紹介をします。

学生キャリア支援室

学生キャリア支援室では、学生の皆さんが有意義で生き生きとした学生生活を送り、将来のキャリアをデザインできるよう、日常的なサポートを行っています。

学部各学年・大学院生を対象に各種ガイダンス等の行事を通して、学びと進路について考える場を提供しています。

◎ 就職相談

本学では、教員や企業等への就職を希望する学生や卒業生が、進路や教員採用試験対策及び企業への就職活動等に関して何でも相談できるように、学外から教員就職担当（公立学校長・教育委員会指導主事等経験者）及び企業・公務員就職担当の相談員を招いて、就職相談を行っています。学年に関係なく、進路に関する悩みや迷いを相談することができますので、どんなことでも話すことができます。

教員志望者対象のキャリア支援行事

教員を志望する人には、「教員の魅力」を知るための各種ガイダンス等、次のような指導・講座を実施しています。

◎ 教師力養成特別講座（11月～翌年7月）

教師力養成特別講座は通称「万ゼミ」と言われ、教職経験豊かな本学OB・OG（公立学校長、教育委員会指導主事経験者等）が講師となって、主に論文添削や面接指導等、教員採用試験対策のための指導を行っています。学部3年生、大学院1年生の11月から講座が始まり、翌年の7月まで、全15回の講座で、論文・論述・面接について、丁寧な指導が継続的に行われ、7月の教員採用試験に臨むことができます。

講座への参加は任意、有料ですが、積極的に受講することにより、教員採用試験の合格率がアップします。本気で先生になりたい人は、是非受講することをお勧めしています。

〔2018年度教師力養成特別講座（万ゼミ）受講生の声〕

教員採用試験対策の第一歩として、大学3年生の秋に「万ゼミ」の受講を決めました。まず、11月から3月までは多くの自治体で課される論作文の対策が続き、自分の書いた文章を繰り返し添削していただいたことで、本番でも自信をもって論述することができました。次に、4月からは面接の対策が本格的に始まり、教員採用試験の面接官の経験もある卒業生の方から個別に指導を受けることができました。また、同じ自治体を志望する学生と知り合うこともでき、自主的に面接の練習をする機会が増えました。

結果、私は神奈川県教員採用試験に合格することができました。大学卒業後すぐに中学校教諭として働いています。万ゼミで知り合った神奈川の仲間が今では「同期」となり、交流が続いています。採用試験は臨時的任用等で既に教壇に立っている方も多く受験します。その中で学生である私が一発合格できたのは、東京学芸大学という恵まれた環境で過ごせたからだと思います。

◎ 教員採用試験説明会（11月～翌年5月）

全国各地の教育委員会の採用担当者が来学し、教員採用試験説明会を開催しています。（2018年度実績：北海道から沖縄までの45教育委員会）

◎ 教員採用試験対策説明会（11月）

先輩の合格体験談を含んだ教員採用試験説明会を行います。

◎ 1次試験対策学内模擬試験（12月）

教員採用試験の1次試験対策として、学内で模擬試験を行います。



教員就職担当相談員により添削された論文

◎ 人物試験対策講座（2月）

教員採用試験の論作文と面接対策を行います。

◎ 教採1次試験対策（教職教養対策）講座（3月）

教職教養の講義を行います。

◎ 教員採用試験模擬試験（3月～6月）

幼稚園や保育園の採用試験の模擬テストを行います。

◎ 教育支援ボランティア・学校インターンシップ説明会（4月）

学校等でのボランティアや学校インターンシップに参加したい人を対象に説明会を行います。

◎ 論文の書き方講座（4月）

教員採用試験における論文の書き方の指導が受けられます。

◎ 特別選考（大学推薦）（4月～5月）

各自治体の教員採用試験の大学推薦における学内選考を行います。

◎ 教員採用試験対策講座（6月～8月）

教員採用試験における面接対策や集団討論の講義や指導、面接票・単元指導計画・学習指導案の添削等を行います。

◎ 論作文直前対策（6月）

教員採用試験直前の実践的な論文作成指導です。

◎ 合格者に対する説明会（10月）

教員採用試験合格者に対して、「教壇に立つまでにしておくべきこと」「学級経営」「保護者対応」等、実践的な指導を受けることができます。

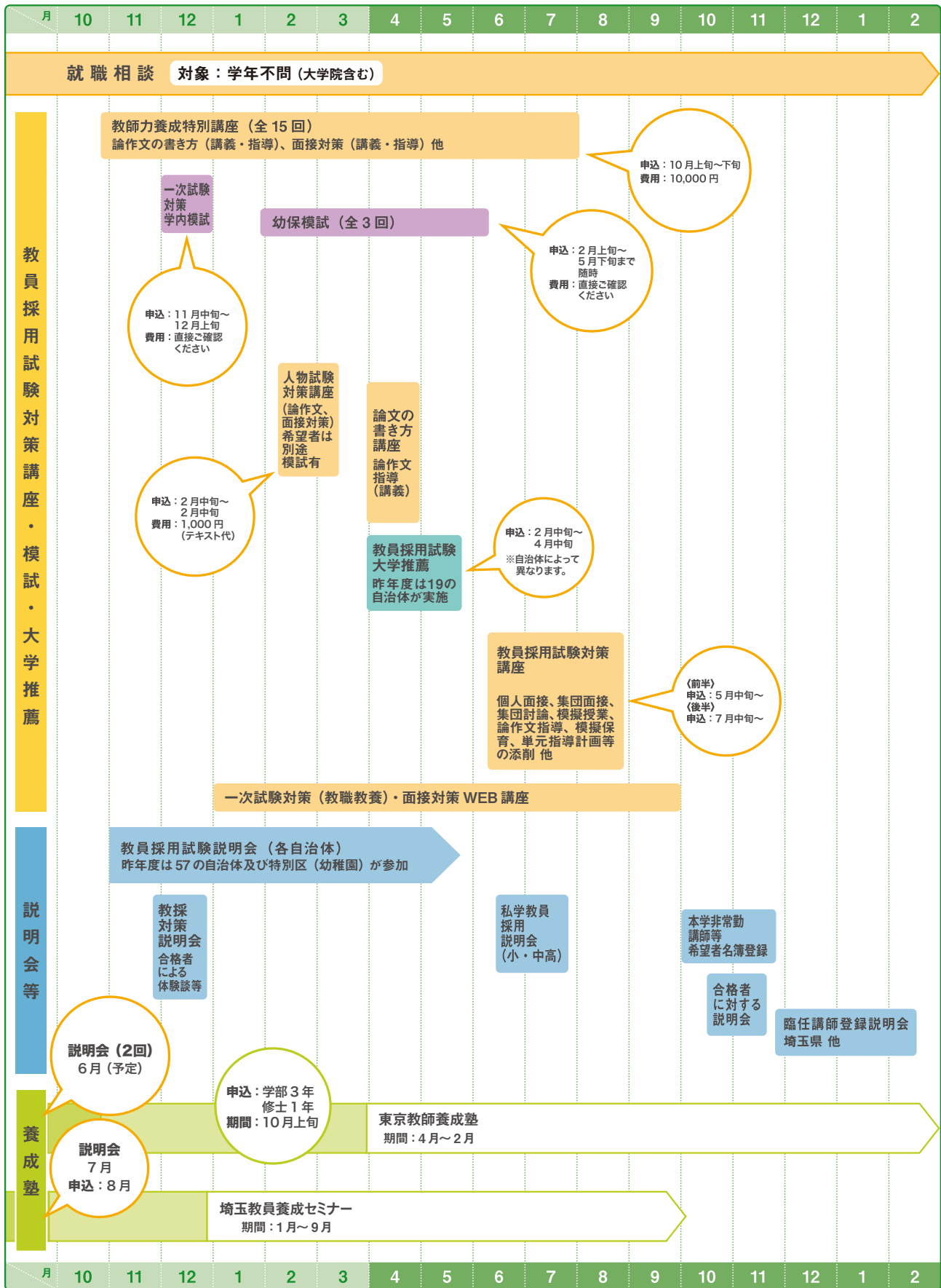
◎ 臨時講師登録説明会（10月）

臨任講師（臨時的任用教員）を希望する学生に向けて、学内における各自治体への登録について説明を行います。

◎ 教員採用試験の流れ（2019年度実施例）



2019年度教員就職講座・行事一覧



企業・公務員志望者対象のキャリア支援行事

企業・公務員等志望の人には、自己分析、企業研究、企業・官公庁説明会、エントリーシート指導、面接指導、公務員試験対策支援などを、各方面の専門家により実施しています。

◎「企業・官公庁」合同説明会

約25社の企業・官公庁の採用担当者が来学し、学内において、本学学生のための合同説明会を行います。

◎ 企業・官公庁等インターンシップガイダンス

企業・官公庁等のインターンシップに参加したい人を対象にガイダンスを行います。

◎ 企業・公務員就職対策講座

- 就職活動準備講座
- 就活本番スタートアップ講座
- 自己分析、業界研究
- エントリーシート、面接対策のポイント
- グループディスカッション
- 公務員就職ガイダンス、公務員試験対策勉強法

◎ 公務員就職説明会

それぞれの人事担当者による公務員就職に関する説明会を行っています。

- 国家公務員採用試験制度説明会
- 東京都職員採用試験説明会
- 特別区職員採用試験説明会

◎ 内定者報告会

企業・公務員就職で内定を得た先輩方の合格体験談などの報告会を行います。

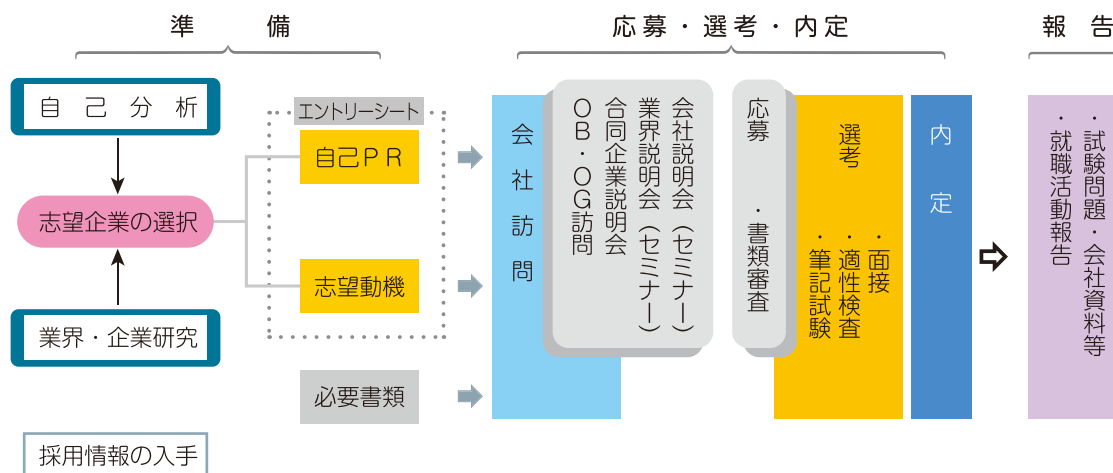
◎ 面接特別指導

個人面接及び集団面接について、少人数のグループ指導を行います。受講生は面接練習を行うだけでなく、面接官役も体験することで、面接官がどこを見ているのかを理解することができます。

【受講生の声】

- 面接は苦手だったが、講師から丁寧な指導をいただき、自信がついた。
- 面接は話の内容だけではなく、立ち居振る舞いや表情などの印象も大事であることを実感した。
- 面接官役として他の受講生が面接を受ける様子を見て、自分も注意すべき点に気づくことができ、講義よりも得られるものがあった。

◎ 企業就職活動の流れ



2019年度企業・公務員就職関係行事一覧

6	7	8	9	10	11	12	1	2	3									
<p>5/22 14:45-16:30 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「エントリーシート対策～インターンシップも意識して」 就職支援会社 (文化放送キャリアパートナーズ)</p>	<p>6/5 14:45-16:30 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「就職活動準備講座」(職務適性テスト結果解説付き) 就職支援会社 (ディスコ)</p>	<p>6/12 14:45-16:30 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「就活に備える自己分析・自己PRの仕方」 就職支援会社 (アイテム)</p>	<p>6/19 14:45-16:30 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「労働法規セミナー～安心して働ける職場の探し方」 東京労働局</p>	<p>6/26 14:45-16:30 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「公務員就職ガイダンス」 公務員試験予備校 (TAC)</p>	<p>7/3 14:45-16:30 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「公務員試験対策勉強法」 公務員試験予備校 (大原学園専門学校)</p>	<p>7/10 14:45-16:30 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「夏休みから始めよう! 業界・企業研究」 就職支援会社 (リクルートキャリア)</p>	<p>10/23 14:45-16:30 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「就活本番スタートアップ講座」 就職支援会社 (マイナビ)</p>	<p>10/30 14:45-16:30 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「元人事採用責任者が説き明かす一面突破への秘策 (準備を含む) を伝授!!」 企業就職相談員 (大塚相談員)</p>	<p>11/6 14:45-16:30 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「自己分析ステップアップ講座」 就職支援会社 (アクセスヒューマネクスト)</p>	<p>11/13 14:45-16:30 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「業界研究ステップアップ講座」 就職支援会社 (ディスコ)</p>	<p>11/20 14:45-17:00 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「業界研究～実践編 (学内業界説明会)」 就職支援会社 (ダイヤモンド・ヒューマンリソース)</p>	<p>11/27 14:45-16:30 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「内定者報告会」 内定者 (学部4年・大学2年)</p>	<p>12/4 14:45-16:30 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「エントリーシート対策」 就職支援会社 (学情)</p>	<p>12/11 14:45-16:30 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「面接対策～基礎編」 企業就職相談員 (坪田相談員)</p>	<p>12/18 14:45-16:30 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「グループディスカッション対策」 就職支援会社 (マイナビ)</p>	<p>1/15 14:45-16:30 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「面接対策～実践編」 企業就職相談員 (坪田相談員)</p>	<p>1/29 14:45-16:30 企業・公務員就職対策講座 (水) S203 「3.1解禁企業エントリー直前対策」 就職支援会社 (大学生協 withnavi)</p>	<p>3/3 13:00-17:00 「企業・官公庁」 (火) 第1むさしのホール 合同学内説明会 招致団体数:未定 (参考:平成30年度 19企業、5官公庁等)</p>
<p>対象：学年不問 (大学院含む)。学部1～2年生の参加も大歓迎。</p>																		
<p>12/25 14:45-16:30 国家公務員採用試験制度説明会 (水) S203 人事院関東事務局</p>	<p>1/8 14:45-16:30 東京都職員採用試験説明会 (水) S203 東京都人事委員会</p>	<p>2/5 14:45-16:30 特別区職員採用試験説明会 (水) S203 特別区人事委員会</p>	<p>対象：学年不問 (大学院含む)</p>															
<p>就職相談 申込：随時 日程：通年 対象：学年不問 (大学院含む)</p>																		

その他のキャリア支援

◎ インターンシップ

インターンシップとは、実際の職業現場に出向き、そこで職業活動を体験することです。「学校インターンシップ」と「総合インターンシップ」があり、単位の修得には、1つの学校・企業・公（共）的機関で60時間以上のインターンシップを行う必要があります。活動は、長期休暇中も含め、授業等の空き時間を利用して行います。将来の就業への円滑な移行のため、多くの学生に利用してほしい制度です。

☆学校インターンシップ

〔2018年度本学附属小金井小学校のインターンシップ（2018.5.21～2019.1.25）体験者の声〕

実際の現場ではどのような授業が行われているのか、そして子どもはどのような様子で、どのように反応してくれるのかなどを実体験として学ぶことができました。大学での講義のように教育に関する理論を学ぶことも大切だが、実践を通して学んだことを自分の言葉でまとめることも同じように重要だと実感した。また、担当してくださった小学校の先生からいただいたアドバイスや、学校インターンシップ実習日誌へのコメントなどから今後取り組むべき課題が見えてきた。今後も実践の機会を自ら見つけ、理論の学習、実践、そして反省を繰り返しながら教員になるための力を身につけるとともに、教育に対する自分なりの考えを深めていきたい。

（初等教育教員養成課程美術選修3年）

☆総合インターンシップ

〔2018年度法務省人間科学系インターンシップ（2018.8.22～2018.8.24）体験者の声〕

私は、法務省人間科学系インターンシップに参加した。

少年院での生活指導の様子や、職業訓練の見学実習は、矯正教育の実態を全く知らない私にとって驚きの連続だった。そして、普段大学で学んでいる心理学や福祉についての学びがどのように現場で生かされているのか、身をもって知ることができた。少年院は男性職員の方が圧倒的に多く、現在私が在籍しているカウンセリングコースは女子の方が多いので、自分が男性の中で働けるかということなども含め、実際に働いたらどうだろうかということをも具体的に考えさせられた。

将来心理職として、どのような対象の人々に、どのようにアプローチしていくかを明確にする良い機会であった。

（教育支援課程 カウンセリングコース3年）

◎ ボランティア



大学には、多くの小中学校や官公庁、NPO法人から、ボランティアの募集が来ています。また、宮城教育大学や岩手県二戸市と連携した東日本大震災関連教育支援ボランティア等も行っています。大学や自宅の近隣小中学校で活動する教育支援ボランティアを行っている学生も多く、実際の教育現場を体験する貴重な機会となっています。

〔2018年度宮城教育大学連携「女川町」学習支援ボランティア（2018.8.26～2018.8.30）体験者の声〕

今回の活動ではまず、津波の被害を受けた地域を視察した。海沿いを歩き、語り部の方のお話を聴く中で、震災という言葉の手触りがより具体的に感じられた。また共に活動した学生の中に、南三陸町出身の方がいた。私と同年で同じように教師を目指す彼女の、当時のことを淡々と語る姿が印象的だった。

女川小学校では児童と4日間を共にした。子どもとの時間に加え、私にとって大きな学びの場となったのは、放課後の学生ミーティングであった。「算数の時間に止まっている子がいて…」「保護者の方も不安の中で生活されていたと、保健室の先生が仰っていて…」。子どものために私たちにできることはないか。話し合いを通して、大人同士の連携について改めて考える機会になった。

女川町でのボランティアは、学校の内外を問わず学びに溢れていた。このような貴重な場を設けてくださった先生方、関係者の方々には、感謝の気持ちでいっぱいである。

（初等教育教員養成課程英語選修4年）

東京学芸大学で学んだこと



今井俊宏 [2008年A類国語選修 2011年大学院教育学研究科国語教育専攻修了
／現在、埼玉県久喜市立東鷲宮小学校]



私が大学に入学したのは2004年。もう10年以上前になります。現在埼玉県の小学校に勤務していますが、「小学校の先生になる」という夢が叶うまでに自分も想定していなかったような経験を、この学芸大学でできたと思っています。

そもそも高校時代私は勉強が全く嫌いで、受験勉強以外の勉強など考えたくもない、という大変不真面目な生徒だったと今振り返ると思います。大学に入っても遊んで4年間を過ごすのだろう、と考えていました。しかし、入学してみると国語科には「自主ゼミ」という仕組みがありました。ゼミといったら3年生から入るものだとばかり思っていたのですが、自主ゼミは1年生から参加でき、内容も教

育から国語学、文学と幅広く選べます。文学ゼミに参加した私は「学ぶ」ということの楽しさや本質を初めて知ることができた気がしました。それはまだ誰も見ていないもの、見つけていないものを発見する楽しさです。知らないことを自ら知る楽しさです。結局その楽しさに学部だけで満足できず、修士課程まで進んでしまった訳ですが、この「学ぶことの楽しさ」を伝えることが小学校教員としても重要なのではないかと考えています。ただこちらが与えるだけでなく、子どもが自分で見つける知識。自分はまだまだ未熟ですが、学芸大学で体験した「楽しさ」を伝えられる先生になっていきたいと考えています。



寺内康人 [2009年L類(現E類)生涯スポーツ専攻卒業／現在、株式会社博報堂]



よりレベルの高い環境でサッカーを続けるために、また好きだったスポーツというものをもっと深く学ぶため、東京学芸大学生涯スポーツ専攻への進学を選びました。当時、関東大学サッカーリーグ1部に所属していた蹴球部には全国から多くの才能・実力ある選手が集まっており、茨城の田舎から出てきた私にとってはとても輝いている人たちに見えました。この仲間との4年間、サッカーを通して学ぶことが多く、今の自分の糧となっています。また生涯スポーツ専攻にも様々なジャンルのスポーツのトップレベルの選手が在籍しており、彼らのストイックさや思考など、その交流はとても刺激的なものになりました。

学びの中で出会ったNIKEの広告に感銘し、いまは広告の世界で働いています。主に外資系企業やIT企業をお客様とし、彼らのサービス／プロダクトが世の中へ出ていく際のお手伝いをするのがメインの仕事です。教師は生徒が世の中を自分らしく生き抜いていくための様々な知恵や知識を自分が媒介者となって伝えていくのが仕事だと思っていますが、この構造は広告も同じだと考えています。世の中の人に様々な企業の価値や思いを伝えていく、私は学芸大学で学んだことをベースとしながら、社会や生活者により良い価値を提供していける存在になっていきたいと思っています。



秦野翔子 [2013年A類幼児教育選修卒業／現在、東京都港区立青南幼稚園]



「将来、子どもと関わる仕事に就きたい」と思い大学を探したときに、とても魅力的に感じたのが東京学芸大学でした。その一番の理由は「保育者の実践や子どもの実態を直に感じながら学べる」というところです。入学してからは、想像以上に様々なことを体験することができました。実習では、保育園、附属幼稚園、公立幼稚園に通い、観察記録を取ったり実際に子どもたちと触れ合ったりすることで、保育者の行動の意図や子どもの内面の理解を深めることができました。また、実習以外にも授業の

一貫や卒論の観察、ボランティアとして、附属幼稚園や区立幼稚園に頻りに足を運ぶことができたのは、東京学芸大学に通っていたからこそできた経験だと思います。

現在、幼稚園教諭になって6年目になるうとしています。悩むこともありますが、日々子どもと共に過ごす中で、成長を間近に感じることができ、それを保護者の方や職員と分かち合うことのできるこの仕事に大きな幸せとやりがいを感じています。4年間の大学生活で学んだ数々のことが、今の生活にも活かされていることをうれしく思っています。





稲葉啓太 [2012年C類聴覚障害専攻 2014年大学院教育学研究科特別支援教育専攻修了
／現在、東京都立大塚ろう学校小学部]



C類特別支援教育（聴覚障害専攻）、修士課程特別支援教育専攻を卒業し、現在は都内の聴覚特別支援学校の小学部に勤めています。勤務校には、幼児・児童が在籍しているほか、乳幼児教育相談も行っており、幼児・児童の指導や保護者支援に取り組んでいます。

自分が出会った特別支援教育学部のメンバーは本当に個性豊かな仲間でした。専攻に分かれたあとも、お互いに授業で学んだことや臨床活動の近況などを語り合い、障害児教育についての知識を深めることができました。また、A類やB類など他の課程との関わりも多く、初等教育や中等教育の基礎を学ぶことで、個別のニーズに合わせた工夫を考えられる力になったと思います。

所属した研究室では、聴覚特別支援学校と連携した発達障害

をあわせもつ聴覚障害児への指導を行っています。私自身、卒業までの6年間、指導に関わることができました。通年で、一人の児童に対する指導を行う中で、現場で活躍される先生や先輩のスタッフから、たくさんの助言や教をいただきました。同じ課題をもっている児童でも、その児童をよく知ることでちがった支援方法でのアプローチができること。また、それぞれの領域で活躍させる方々と連携することでより充実した支援につながることを学びました。現在の職場でも、指導に悩んだ時には、必ず大学時代に学んだ支援の基礎に立ち返ります。そうすることで、新たな視点からの支援を考え出すことができている。大学時代の学びや出会い・経験のすべてが教員となった今に生かされていると思います。



加瀬涼子 [2013年D類養護教育専攻卒業／現在、東京都小平市立上水中学校養護教諭]



私はD類養護教育の4期生として入学し、13人の同期とともに大学生活がスタートしました。養護教諭は専門職であるため、専攻での授業は、養護や保健、医学、看護など多岐にわたる専門科目で構成されていました。大学での学びにおいて将来につながる知識を蓄えることは非常に面白く、現在の仕事にも生かされています。また、大学時代は女子ラクロス部に所属し、勉強の傍ら部活動に励む日々を過ごし、4年次には主将を務めました。振り返ると、自分に与えられていた時間を惜しみなく使い、充実した4年間でした。

私は現在、養護教諭として中学校に勤務しています。教育する側に立って初めて分かること、感じることは沢山あります。子どもの多様な特性やニーズには戸惑うこともあります。しかし、基盤となる知識があるからこそ、教員としてのかかわりができるのではないかと思います。大学4年間は、その基盤作りの時期であったといえます。もちろん、そのなかで同期との学び合いがあり、教育実習での実践があり、様々な人との出会いがありました。その全てが財産であり、現在の自分自身につながっています。今もなお勉強の毎日ですが、子どもたちが笑顔で保健室をあとにする姿が私の原動力になっています。

私は現在、養護教諭として中学校に勤務しています。教育する側に立って初めて分かること、感じることは沢山あります。子どもの多様な特性やニーズには戸惑うこともあります。しかし、基盤となる知識があるからこそ、教員としてのかかわりができるのではないかと思います。大学4年間は、その基盤作りの時期であったといえます。もちろん、そのなかで同期との学び合いがあり、教育実習での実践があり、様々な人との出会いがありました。その全てが財産であり、現在の自分自身につながっています。今もなお勉強の毎日ですが、子どもたちが笑顔で保健室をあとにする姿が私の原動力になっています。



古城輝海 [2016年B類家庭専攻卒業／現在、静岡県掛川市立北中学校]



東京学芸大学で体験したすべてが、教員としての今の私に繋がっている。そう感じます。

所属した柔道部には、楽しく活動することが目的の人から全国優勝をめざす人まで、色々な価値観の人がいました。マネージャーだと思っていた可愛らしい先輩が、実は世界チャンピオンになるような強豪選手だったなど……言ってしまうと、変わった人たちばかりでした！全ての専攻の人が通うキャンパスで、色々な人の、色々な価値観に触れて、自分の世界が広がっていきました。

授業や実習はというと、とにかく好奇心を刺激されて、「へえ〜」と感心するばかり。例えば、発達障害の子供について、「本人にやる気がないのではなく、ゆっくりしかできないだけ。」と講義を

受けたとき、中高の同級生を思い返してはっとした、など。当時は知識を獲得することが楽しくて、教員としての実践は正直あまり意識できていませんでした。それが、働き始めた今、教員の仕事と噛み合ってきていることが面白いです。あの講義で言っていたことは、このことだったのか！と、蓄えた知識が実践に生きていると実感しています。

これから教員として経験を積んでいく所存ですが、実践を踏むたびに思い出されるのは、東京学芸大学で過ごした四年間です。私はこれから先も色々な人（特に生徒）と出会い、色々なことを知っていくのですが、彼らとの関わり方の原点は常に大学生活にあります。



学生生活支援

東京学芸大学では、指導教員制をとっており、学生に対するきめ細やかな指導・相談をしています。また、学生が、安心して勉学に励み、充実した生活を送ることができるような支援をしています。

■ 経済支援

◎ 奨学金

本学の学生は、日本学生支援機構などの外部奨学金に申請することができます。また、本学独自の奨学金「学芸むさしの奨学金」があります。「学芸むさしの奨学金」は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

奨学金

042-329-7187

学務部学生課学生支援係

◎ 入学金・授業料免除

本学には授業料免除制度があります。授業料免除の申請は学期ごとに受け付けていますが、1年次春学期分の申請は、入学手続き時にしなければなりませんので注意が必要です。

入学金・授業料免除

042-329-7186

学務部学生課学生生活係

■ 住居支援

◎ 学生寮

本学には3つの学生寮があります。学生寮の申込は入学式前にしなければなりませんのでご注意ください。

学生寮について

042-329-7188

学務部学生課課外教育係



東久留米国際学生宿舎

◎ 住居に関する相談

東京学芸大学生生活協同組合（生協）では、アパート等を紹介しています。詳しくはウェブサイト（「学芸大生協」で検索）をご覧ください。

《お問い合わせ》

東京学芸大学生生活協同組合本部
(042-324-6225)

< 学生寮の概要 >

寮名	小平寮	大泉寮
所在地	小平市鈴木町 1-102	練馬区東大泉 5-22-1
性別	女子	男子
入寮定員	160名	130名
寄宿料	月額 4,300円	月額 4,300円
居室様式	鉄筋5階建 個室(約6畳)	鉄筋4階建 個室(約6畳)
通学方法・所要時間	バス 15分 自転車 10分	バス又は電車 70分 自転車 50分

※原則として学部学生対象（日本人学生）です。入寮期間は4年以内（最短修業年限終了の日まで）です。

< 国際学生宿舎の概要 >

宿舎名	所在地	性別	入寮定員	寄宿料	居室様式	通学方法・所要時間
東久留米国際学生宿舎	東久留米市氷川台 1-22-2	男子 女子	38名 72名	月額 4,700円	鉄筋3階建 個室(約7畳)	バス又は電車 60分 自転車 50分

※国際学生宿舎は、外国人留学生と日本人学生の混住方式の宿舎です。勉学環境と国際理解の場を提供することを目的に設置されています。入寮期間は4年以内（最短修業年限終了の日まで）です。

■ 学生生活支援

学生生活で困ったことが起きたときの相談窓口も複数あります。

◎ 保健管理センター

誰でも気軽に利用できる健康支援の機関です。

医師、看護師、カウンセラーがおり、一般診療や応急処置、健康相談のほか、精神的・心理的な悩みの相談に対応しています。

◎ 学生相談室

「大学になじめない」「友達や家族とうまくいかない」「やる気がでない」など、学生生活上のさまざまな問題に対して、専門スタッフが親身になって相談に応じています。

◎ 学生後援会

学生生活がより豊かになるように、いろいろな活動に対する経済的支援を行っています。課外活動、就職活動、留学等は学生後援会の支援によって、より参加しやすいものになっています。入学の際等にいただく会費が財源です。

◎ 生協（生活協同組合）

学生生活全般に対して、様々な支援をしています。本やパソコンなどの学習用品から、食品まで販売しています。またプレイガイドでは各種チケットを扱っています。第1・第2むさしのホールは食堂としても、イベントホールとしても使われています。

◎ ノートカフェ

図書館の1階にオープンしたおしゃれなカフェです。大学と地域の人が交流するためのノートが置いてあり、壁に巨大な地域の地図もかかっています。パンがとてもおいしく、学生がよくくつろいでいます。

◎ キャンパスライフ委員会

本学のすべての学生には安全で快適なキャンパスライフを送る権利が保障されています。万が一セクハラなどのハラスメントの被害にあった場合には、キャンパスライフ相談員が対応します。



■ 障がい学生支援

◎ 障がい学生支援室

本学では、障がいのある学生が安心して学生生活を送れるように、障がい学生支援に全学で取り組んでいます。障がい学生支援室では、修学や学生生活における配慮や支援の必要性がある学生の相談を受け、一人ひとりの状況に合った合理的配慮や支援の方法について、教職員による「個別支援チーム」を設けて検討しています。また、学内のバリアフリー化やアクセシビリティの向上等の基礎的環境整備も進めています。支援室には専門スタッフがおり、障がい学生に対する合理的配慮や支援の

コーディネート、学内外の関係機関との連携、学生サポーターの登録・派遣・研修、支援用機器機材の準備を担当しています。

● 相談したい

聴覚障がい、視覚障がい、肢体不自由、病弱・虚弱（内部疾患）、発達障がい、精神障がいを主な対象としています。情報保障（パソコンテイク、手話通訳、対面朗読など）、移動補助、そのほか相談に応じて様々な支援方法があります。学生本人だけでなく、保護者や友人、教職員からの相談もお受けしています。

● 支援したい（学生サポーター）

実際の支援活動は、多くの『学生サポーター』が担っています。現在、学生サポーター登録者は120名を超え、支援に関する情報共有や交流の輪が広がりつつあります。さらにパソコンテイクや手話通訳、移動補助など、特別支援教育に関する研修やワークショップを通して互いに学びあう機会を得ることもできます。

障がい学生支援室

人文社会学系研究棟2号棟1階

- 電話・ファックス
042-329-7905（直通）
- メール
gsupport@u-gakugei.ac.jp



学芸大の 自主ゼミ

自主ゼミは、学生たちが自主的に集まって授業外で学習するゼミナール活動です。学生たちは、自分の専攻している学問を深めたり、他学科の興味のある分野を学んだりしています。多くの自主ゼミが存在しますが、その中から2つ紹介します。



ゼミ名 東京学芸大学ITC

■ ITC (Intensive Training Course of English) では英語だけで様々な活動を楽しみ、英語漬けになることができます。40年近い歴史を持つITCは現在年間4回行われ、本学の学生に加え他大学の学生や社会人など多くの方が参加しています。その企画・運営の全てを担うのが本ゼミのTAと呼ばれる学生で、参加者の方により

楽しく、教育的に有意義な時間を提供するべく日々学習や準備に励んでいます。英語科教育学分野の高山芳樹先生がサポートくださっています。

■ゼミ参加学生からのコメント

TA間で議論を交わしゼロから活動を作る過程や、参加者の方と一緒に活動する時間を通して、楽しみながら授業づくりや指導のスキルを伸ばしている実感があります。また昨年度より高校生向けITCを大学内で行うなど活動の幅を広げられているのも嬉しいです。



ゼミ名 公共人類学

■ 公共人類学とは、社会・文化を捉えるための多様な論理を引き受けつつ、現実世界への具体的な働きかけを行いながら、知と実践の循環を生み出していく学問です。本ゼミでは、教育、開発、アートなど様々な分野でフィールドワークを重ね、現場の方々と活動を共にしな

がら思索を深めていきます。常識にとらわれない、豊かな発想を育むための思考力を鍛え、外に飛び出し、他者との出会いから様々な化学反応を生み出していきます。

■ゼミ参加学生からのコメント

このゼミは本当に色々な関心を持つ学生が分野を超えて集まってきます。しっかり議論したい。面白いことをしたい。未知の世界に飛び込みたい。価値観をぶち壊したい。教育について深く考え、学びたい。自分と向き合い、全力で「学問」を楽しむことができます。



サークル 図鑑

東京学芸大学には教員養成大学ならではの
教育系サークルもたくさん!

令和元年6月現在

やったことないこと、やってみたかったこと、
一緒にはじめてみませんか?

音楽・演劇・映像

アカペラサークル Infini
ウインドアンサンブル
軽音サークル音楽友之会
軽音楽部 JAZZ 研
東京学芸大学管弦楽団
東京学芸大学クラシックギタークラブ
東京学芸大学混声合唱団
フォークソング愛好会
邦楽サークル 白菊会
モダンフォークソングクラブ



モダンフォークソングクラブ



東京学芸大学
混声合唱団



アカペラサークル Infini



東京学芸大学
和太鼓サークル結

東京学芸大学和太鼓サークル結
東京学芸大学映画研究会
新映像文化研究会 ShinE
演鑑演劇部
演劇研究部 劇団漠
the@ter メトロ
劇団なきがお
放送研究会
創作視聴覚文化研究会
デジタル創作系サークル SSET



軽音サークル音楽友之会

教育

造形教室たけとんぼ
北多摩東 BBS 会
国分寺子どもクラブ
子ども学習支援サークル 小金井てらこや
サークルちえのわ
手話サークル Papillon
Aggressive!!
Pages
STEAMer



サークルちえのわ



codolabo

cococolors
Education club PoPo
教育を考える会@3ch
codolabo
障害児と楽しく遊ぶ会 おこりんぼ
小学校ボランティアサークル Let's
地域子ども会活動サークル むぎのこ



造形教室たけとんぼ



手話サークル Papillon

武道・パフォーマンス

ラテンアメリカ研究会
 ジャグリングサークル CHELSEA
 東京学芸大学お笑いサークル GOC
 柔道部
 東京学芸大学剣道部
 空手道部 空心会

東京学芸大学弓道部
 少林寺拳法部
 テコンドー部
 ストリートダンスサークル @fterbeer
 ダンス部
 チアリーダー部 Hydrangea



東京学芸大学お笑いサークル GOC

美術・食・文化・趣味・その他

絵本創作サークルきつねのしっぽ
 写真研究部
 美術研究部
 漫画研究部
 書道サークル 審美会
 星空サークル シリウス
 学芸 CCC
 総合史学研究会
 小金井祭実行委員会
 生協学生委員会
 生協留学生委員会
 生協読書マラソン委員会
 東京学芸大学大将棋の会
 ZOU

鉄道研究部
 東洋学術研究部
 民俗学研究会
 スイーツ同好会
 英語ディベートサークル
 総合文藝サークル「拙作」
 TGU ポケモンサークル
 盤上遊戯研究会 (東京学芸大学麻雀部)
 お散歩サークル みつあみ
 東京学芸大学キリスト者学生会
 TRPG サークル卓上劇団ひゅぷのしす
 東京学芸大学謎解きサークル Rätsel
 東京学芸大学サバゲーサークル
 プロ野球ファンサークル



美術研究部

Oyoh
 茶道部
 TFT@gakugei
 e-SPOT
 競技かるたサークル
 バーベルクラブ

アカペラサークル Infini



こんにちは！アカペラサークル、Infini (アンフィニ)です。アカペラと聞くと、「凄そう！！」「難しそう！！」というイメージがあるかもしれませんが、音楽が好きが集まっている楽しいサークルです。アカペラは敷居が高そう...と思わず、一度サークルに遊びに来てみてください。一緒に音楽を、歌を、楽しみましょう。部員一同、心よりお待ちしております！

テニス・ホッケー
体操・水泳・レジャー
卓球・ラグビー



なかよしテニス愛好会



スキューバダイビングサークル
NEPTUNE

elf

硬式テニスサークル ダブルフォルト

T-CRUISE

なかよしテニス愛好会

Wonderland

ソフトテニスサークル なんてね

留学生硬式テニス同好会

男子硬式庭球部

女子硬式庭球部

ソフトテニス部

アイスホッケー部

体操競技部

器械運動クラブ

男子水泳部

女子水泳部

水泳サークルスイミー

男子一般運動クラブ (G.S.C.)

女子一般運動クラブ (G.S.C.)

レクリエーションスポーツクラブ

東京学芸大学 BIG APPLE

ワンダーフォーゲル部

スキューバダイビングサークル NEPTUNE

熱気球倶楽部ホーホケキョ

フィギュアスケート部

卓球部

ラグビーフットボール部

水泳サークルスイミー



サッカー・ラグロス・陸上
ハンド・バスケ・バレー・バド
アメフト・野球

東京学芸大学蹴球部

女子サッカー部 DUMBO

F.C.LEO

FC.ALEX

FC.Beginners

フットサル部

東京学芸大学男子ラグロス部

女子ラグロス部

REGULUS



陸上競技部 (男子)

陸上競技部 (女子)

陸上同好会

男子ハンドボール部

女子ハンドボール部

男子バスケットボール部

女子バスケットボール部

REGULUS

S.B.C

男子バレーボール部

女子バレーボール部

バレーボールサークル BRAVO!

バドミントン部

バドミントンサークル LIBERTE

B.C.Wings

アメリカンフットボール部 SNAILS

男子ソフトボール部

女子ソフトボール部

東京学芸大学硬式野球部

軟式野球部

軟式野球サークル アンダーナツ

軟式野球サークル Vinvins

女子バスケットボール部



女子ラグロス部



こんにちは！東京学芸大学女子ラグロス部です！みなさんは、本気で『日本一』を目指したことはありますか？私達は日本一を目指して日々活動しています。そんなラグロス部には一人一人が成長できる環境、そして何より輝く部員の姿があります。私達と一緒に最高の4年間を過ごしましょう！





▲晴れた日にはベンチでまったり読書したり、お弁当を食べたり。学生の癒しスポットです。

教材植物園
(農園)

北門テニスコート

名物「学芸大丼！」



のびかな大学には？



温室

ナール棟



第2えさしのホール



おはは

学生ラウンジ

N棟



生協



第1えさしのホール



なんだ？

C棟

S棟

保健管理センター
ケがもたらうすぐに行こう！



体育館

U棟

U110

学務部
(学務課、学課、国際課)

卒業生の長野パラリンピック
金メダリストの松江美寿
さんが植樹した桜です。

万葉池

名前の由来は「万葉集」に登場する植物があるこし、カモイタマシヤクシなどの動物も。

けやき広場

2014年に改修され、ウッドデッキができました。彫刻作品も展示されている。みんなの憩いの場。

note
cafe

附属図書館

2015年5月にリニューアル！
学内初の本格カフェ
「note cafe」もオープン。



美術科の金工室前の広場は、菜の花がとってもきれい！

音楽科のすてきな演奏がきこえてくる
芸術・スポーツ1号館

芸術館

弓道場

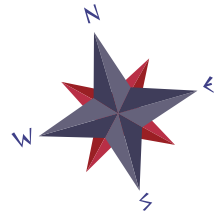
本部棟

入試課や広報室があります。

ポストあるねえ



- .. ネット出没スポット
- ... タヌキ出没スポット
- ... 気になる人と行ってみよう！



総合グラウンド

陸上競技連盟第四種競技場として公認されました!

野球場

神宮球場と同様の人工芝グラウンドにリニューアル!
北海道日本ハムファイターズの栗山監督の碑もあります。

ちっぴー



コミュニティセンター

学生が利用できるラウンジがあります。



ローソン

学生証を提示すると5%OFF!



グラウンド門

こびモードハウス/学芸の森保育園

NPO学芸大こども未来研究所の活動拠点。隣接する保育園には美術科の先生が制作されたフクロウの彫刻がみられます。



マンホールにはかわいい地上絵が

けやきの碑

秋にはきれいなイチョウ並木が

プレイパーク

地域の子どもたちが遊んでいます。

プレイパーク横のエチマがくわえる花見スポット

附属幼稚園小金井園舎

若草研究室

薪ストーブがあります。

舞踏場

柔道場

剣道場

新緑も紅葉もきれいなケヤキ並木

教職大学院棟

附属小金井中学校

附属小金井小学校

学芸大生の多くが実習でお世話になります。よろしくおねがいします!

みんなもMAPを見ながら、学芸大をいっしょに☆おさんぽしてね!

行くぞ!

学芸大にはシャッタースポットがたくさん!

いってまーす!

国際交流会館



▲桜並木がきれいな通り! 毎年たくさんのお花を咲かせます。



[取材] 朝妻菜、石橋ひふみ、加藤亮介、小泉朋子、竹花春香、日高華 [撮影] 石橋ひふみ、加藤亮介 [編集] 石橋ひふみ 「学芸いいとこMAP」は学内広報誌「TGU」からの抜粋記事です。

今日、何食べよう？

学芸大の学食サーチ

大学生活を送るうえで、やっぱり外せないのが「学食」。今回は、学芸大の一押し学食メニュー4品を紹介！

学食が食べられる場所はココ！



大 生

(第一食堂)



コ パ ン

(第二食堂)

学芸大学の名物



学芸大丼(大) 565円

「学芸大と言ったらこれ」的なフード！
ごはん十切りキャベツ+とろとろ卵+和風あんかけのコンボは必殺。
どどは沢山の唐揚げ。絶品すぎて食べすぎ注意！

1日の栄養ゲット！



定食セット 677円

豊富な1品メニューの中から、自分の好きなものを好きなだけ。
これだけ乗せても677円！今日のメインはサバの生姜煮と旨辛豆腐。
お母さんの料理が恋しくなる家庭的で栄養満点な味が沢山！

とりあえず、麺んどこ



みそラーメン(中) 388円

迷ったらコレ！子どもも大人もみんな大好きなラーメン!!
大量のもやしがシャキシャキ。そして優しいみそスープと
太めのちぢれ麺がこれまたよく合う。気がついたら完食！

定番は、外せない！



ひれカツカレー(中) 410円

この世にカレーが嫌いな人はいない。最後にぴりっとくる
程よい辛さのカレーの上には、どんとジューシーなカツが2枚!
この安さでこのボリューム、食べるしかない!

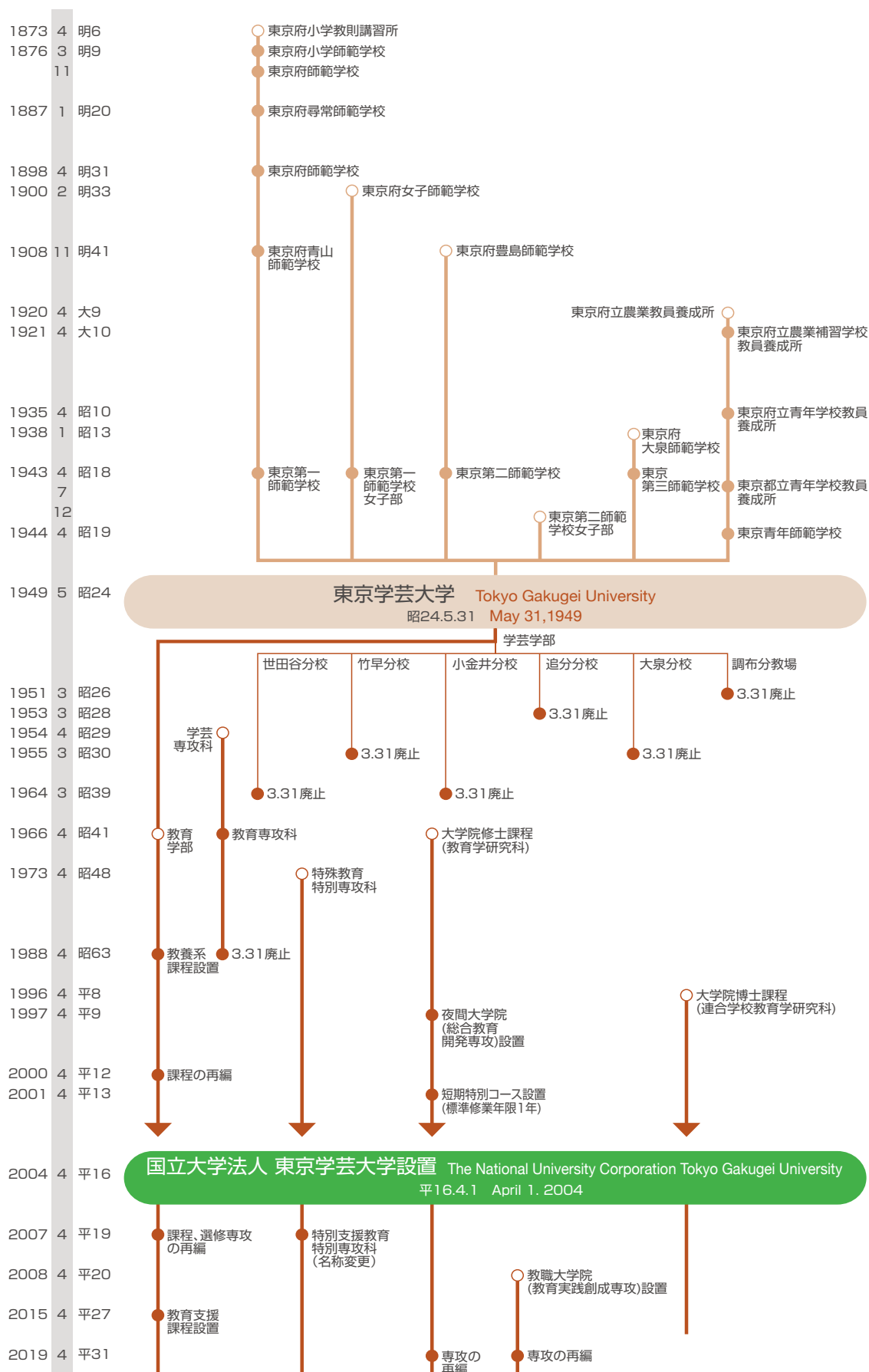


東京学芸大学概要



沿革表

History



☀️ 附属学校（園）

教育実習及び教育研究の場として、次の附属学校（園）が設置され、約6000人の幼児・児童・生徒が学んでいます。

これら児童等に普通教育を施すとともに、各学校園はそれぞれテーマを設定し、大学と連携して指導理論を踏まえた実証的・実践的研究に取り組んでいます。

また、年間約1300人の学生を受け入れ、教育実習を行っています。

● 小金井地区



附属幼稚園小金井園舎



附属小金井小学校



附属小金井中学校

● 世田谷地区



附属世田谷小学校



附属世田谷中学校



附属高等学校

● 竹早地区



附属幼稚園竹早園舎



附属竹早小学校



附属竹早中学校

● 大泉地区



附属大泉小学校



附属国際中等教育学校

● 東久留米地区



附属特別支援学校

学位授与数・学位論文数、教員免許取得状況、諸資格取得者数

Number of Degrees Conferred / Number of Dissertations / Teacher's Licenses Obtained / Qualifications Obtained

学位授与数 Number of Degrees Conferred

(平成 30 年度修了生)
(Academic year 2018 graduates)

学位 Degree	専攻分野の名称等 Area of Specialization	大学院（修士課程） Graduate School of Education (master's course)	教職大学院（専門職学位課程） Graduate School of Teacher Education (professional degree program)	連合学校教育学研究科（博士課程） United Graduate School of Education (doctoral course)
修士 Master	教育学 Education	254		
	学術 Arts / Philosophy / Science	8		
	専門職 Education in Teaching		50	
博士 Doctor	教育学 Philosophy in Education			22
	学術 Philosophy			1

学位論文数又は特定の課題についての研究の成果（課題研究の成果）数 Number of Dissertations / Research Reports

	大学院（修士課程） Graduate School of Education (master's course)	連合学校教育学研究科（博士課程） United Graduate School of Education (doctoral course)
学位論文 Dissertation	262	23
課題研究の成果 Research Report	0	

(平成 30 年度修了生（論文博士を含めず。）)
(Academic year 2018 graduates (not including graduates of "dissertation only" doctoral programs))

教員免許取得状況 Teacher's Licenses Obtained

(平成 30 年度卒業生)
(Academic year 2018 graduates)

選修・専攻 Program	卒業生数 Number of graduates	免許取得者数 Graduates who acquired license	免許種 License type							一人当たり免許状取得数 Distribution based on number of licenses per graduate				
			小学校 Elementary school	中学校 Lower secondary school	高校 Upper secondary school	幼稚園 Kindergarten	特別支援 School for special needs education	養護 School health care and education	計 Total	1枚 1	2枚 2	3枚 3	4枚 4	5枚以上 5
A 類	555	535	531	400	450	95	15	0	1491	91	60	265	110	9
B 類	238	225	28	230	279	6	1	0	544	0	150	58	15	2
C 類	39	38	38	12	7	22	38	0	117	0	7	22	8	1
D 類	9	9	1	4	4	0	0	9	18	5	0	3	1	0
学校教育系・教育系・計 Teacher Preparation Div. total	841	807	598	646	740	123	54	9	2,170	96	217	348	134	12
E 類	163	50	0	31	51	0	0	0	82	20	28	2	0	0
N 類	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
K 類	29	12	0	12	20	0	0	0	32	1	4	6	0	1
F 類	8	4	0	4	4	0	0	0	8	0	4	0	0	0
J 類	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
G 類	9	6	0	3	6	0	0	0	9	3	3	0	0	0
教育支援系・教養系・計 Liberal Arts Div. total	221	72	0	50	81	0	0	0	131	24	39	8	0	1
総計 Total	1,062	879	598	696	821	123	54	9	2,301	120	256	356	134	13

免許取得者数等は一括申請分

Note: Figures for "Graduates who acquired license" and other figures are based on the collective applications made by the university.

諸資格取得者数 Qualifications Obtained

	平成 30 年度の内訳 Academic year 2018		平成 30 年度 Academic year 2018 total
	学校教育系・教育系・計 Teacher Preparation Div.	教育支援系・教養系 Liberal Arts Div.	
司書教諭 Librarian teacher	119	3	122
司書 Librarian	2	16	18
社会教育主事 Social education director	6	30	36
学芸員 Curator	8	18	26
社会福祉士（受験資格） Certified social worker (eligible for taking certification exam)	0	16	16
スクールソーシャルワーカー School social worker	0	3	3
保育士（幼児教育選修のみ） Nursery teacher (Early Childhood Education major only)	21		21

教員免許取得状況（大学院） Teacher's Licenses Obtained (Graduate School)

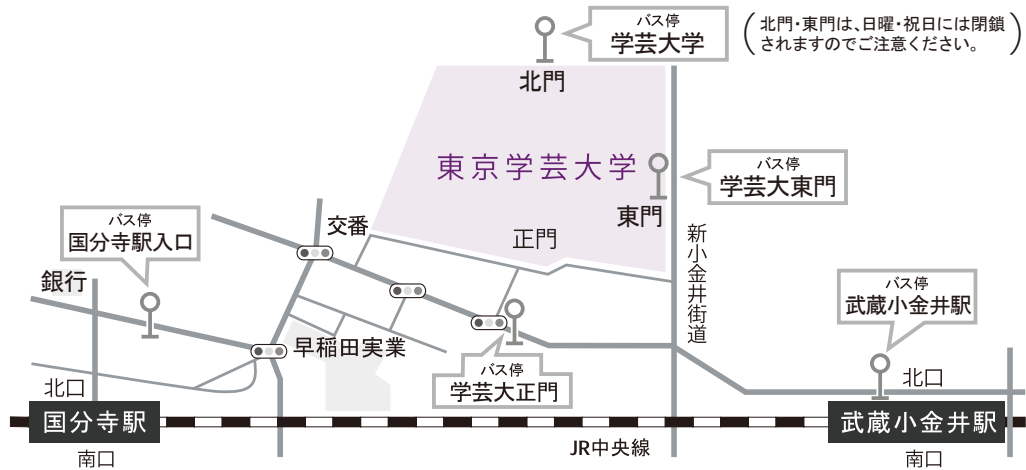
(平成 30 年度修了生)
(Academic year 2017 graduates)

課程 Courses	修了生数 Number of Graduates	専修免許状 取得者数 Graduates who acquired Specialized Certificate
修士課程 Master's Course	262	159
教職大学院 Professional Degree Program	50	47

免許状取得者数等は一括申請分

Note: Figures for "Graduates who acquired license" and other figures are based on the collective applications made by the university.

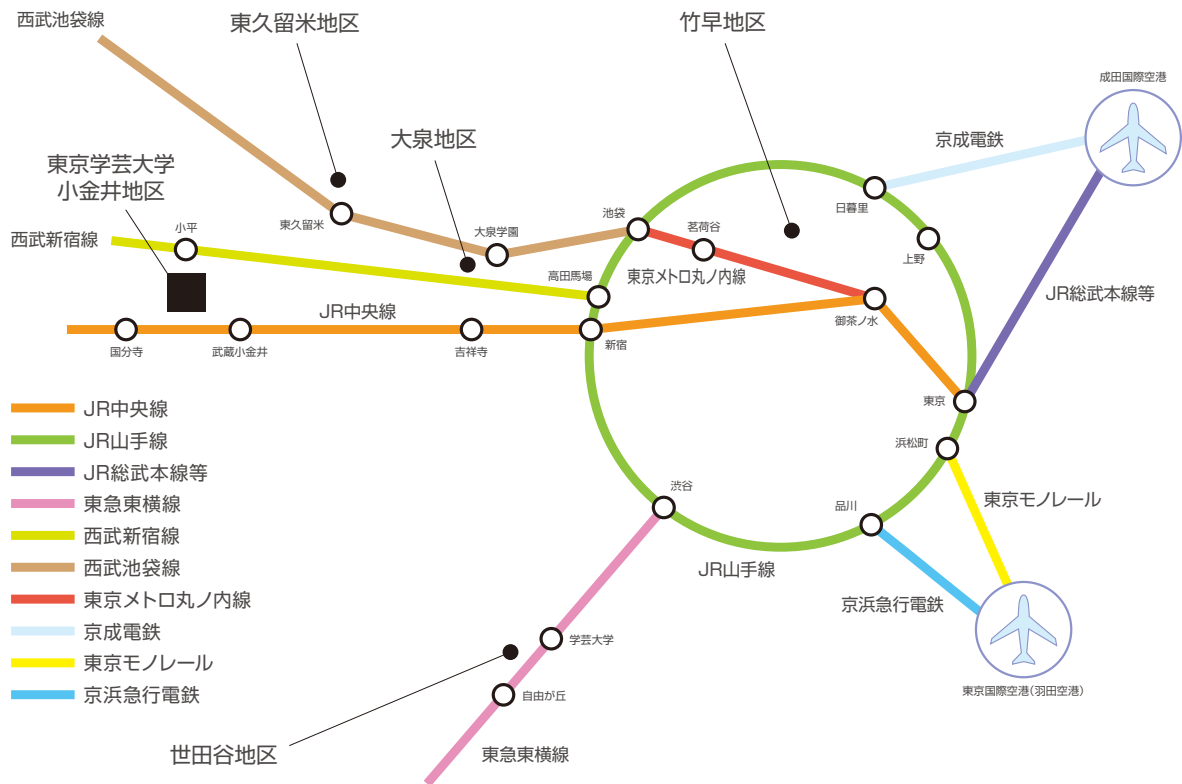
大学までのアクセス



● JR 国分寺駅北口より
徒歩約20分
【銀河鉄道バス】「国分寺駅入口」より
「小平駅南口」行に乗車、約10分
「学芸大学」下車

● 西武新宿線小平駅南口より
【銀河鉄道バス】「国分寺駅入口」行
に乗車、約15分
「学芸大学」下車

● JR 武蔵小金井駅北口より
【京王バス】(5番バス停)「小平団地」行に
乗車、約10分
「学芸大正門」下車
(6番バス停)「中大循環」に乗車、約10分
「学芸大東門」下車
駅から徒歩の場合は約25分



- JR中央線
- JR山手線
- JR総武本線等
- 東急東横線
- 西武新宿線
- 西武池袋線
- 東京メトロ丸ノ内線
- 京成電鉄
- 東京モノレール
- 京浜急行電鉄

学生募集要項等の請求方法

株式会社フロムページが運営するテレメールによるお届けとなります。

1 本学のウェブサイトから請求する場合

- ① 本学のホームページにアクセスしてください。
<http://www.u-gakugei.ac.jp>
- ② 「入試について」>「入試情報」>「学部入試情報サイト」
- ③ 「大学案内及び学生募集要項等の資料請求について」のページからテレメールwebサイトに移動し、請求してください。

2 スマホ・ケータイから請求する場合

右の二次元バーコードを読み取り、希望する資料を選択して請求してください。



3 テレメール(インターネットまたは自動音声応答電話)で請求する場合

- ① インターネット(パソコン・スマホ・ケータイ)
<https://telemail.jp>
・自動音声応答電話(※)
050-8601-0101 (24時間受け付け)
※ IP電話：一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

② 資料請求番号(6桁)を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(含送料)(※)
入学者選抜要項	582020	215円
一般入試学生募集要項	582000	215円
推薦・スーパーアスリート推薦入試学生募集要項	582010	215円
帰国生・私費外国人留学生入試学生募集要項	562030	250円

※料金(含送料)は予定額であり、変更となることがあります。

- ③ ガイダンスに従ってお届け先等を登録してください。
- 資料は発送日からおおむね3~4日でお届けできます。受付時間や地域配達事情によってはお届けに1週間程度要する場合もあります。(発送開始日までの請求は予約受付となります。)
- ご利用になられたパスワード(数字4桁)は、必ず控えておいてください。お支払い方法は「コンビニ支払い」「ゆうちょ銀号・郵便局での払込み」「ケータイ払い」「クレジットカード払い」がご利用いただけます。また、ケータイ払い、クレジット払い、コンビニ払いは、1回分の手数料で、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。
- 料金は、資料に同封されている料金支払い用紙の支払い方法に従いお支払いください。
- 一般入試募集要項は、自動音声応答電話による請求を除き、通常受付終了後も引き続きテレメール速達対応(レターパックプラスによる発送で、ポスト投函ではなく手渡し)で請求受付を行います。
速達対応の料金は、上記②に記載の料金とは異なります。
料金は「一般入試募集要項：600円」
「一般入試募集要項、大学案内：650円」となります。
【通常受付期限】2020年1月30日(木)正午まで
【速達対応受付期限】2020年2月2日(日)正午まで

資料請求方法についてのお問合せ先：
テレメールカスタマーセンター

IP電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)



授業料

※在学中に授業料の改定が行われた場合には改定時より新授業料が適用されます。

2019年度	学部生	大学院生	特別専攻科生	研究生	科目等履修生
授業料	年間 535,800円 (春学期 267,900円) (秋学期 267,900円)	年間 535,800円 (春学期 267,900円) (秋学期 267,900円)	年間 273,900円 (春学期 136,950円) (秋学期 136,950円)	年間 356,400円 (月額 29,700円)	1単位 14,800円
入学料	282,000円	282,000円	58,400円	84,600円	28,200円
検定料	17,000円	30,000円	16,500円	9,800円	9,800円

ノート型パソコンの必携について

●東京学芸大学ではノート型パソコンの必携をお願いしています。



本学ではノート型パソコンを活用した授業があり、各学生は、ノート型パソコンを持参することになっています。また、学生は、シラバス参照、履修登録、成績通知、教育実習の手続、キャリア支援に関する事項等、様々な手続においてパソコンを使用する必要があります。これらを踏まえ本学では、学生がノート型パソコンを必携することになっています。

経済的なご負担は小さくないかもしれませんが、すべての学生は、入学後はノート型パソコンを必ず所有して、大学に持参するという、本学の方針をご理解くださるようお願いいたします。

問い合わせ

●電話での問い合わせは、平日の9:00から17:00まで(12:00から13:00を除く)

東京学芸大学の住所 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

学務部
入試課

入学試験・入学手続き・受験に際して
配慮を必要とする志願者の事前相談

042-329-7204

入学料・授業料免除

042-329-7186

学務部学生課学生生活係

奨学金制度

042-329-7187

学務部学生課学生支援係

障がい学生支援室

人文社会学系研究棟2号棟1階

●TEL・FAX

042-329-7905
(直通)

●MAIL

gsupport@u-gakugei.ac.jp

学生寮について

042-329-7185

学務部学生課課外教育係

ノート型パソコンの必携

042-329-7194

学務部学務課教務第一係

www.u-gakugei.ac.jp

東京学芸 🔍 検索



東京学芸大学 大学案内2020

2019年7月12日発行

【編集】広報戦略推進本部、広報企画課、メディアラボ

【デザイン監修】メディアラボ

【表紙イラスト】清水紗彩(卒業生)

【撮影協力】駒場麻里(卒業生)

【編集協力学生スタッフ】朝妻菜、竹花春香、虫谷涼香

【印刷】サンプロセス

※本大学案内の著作権は東京学芸大学にあります。※内容の無断複写・転載は著作権法で禁じられています。2020©TOKYO GAKUGEI UNIVERSITY

